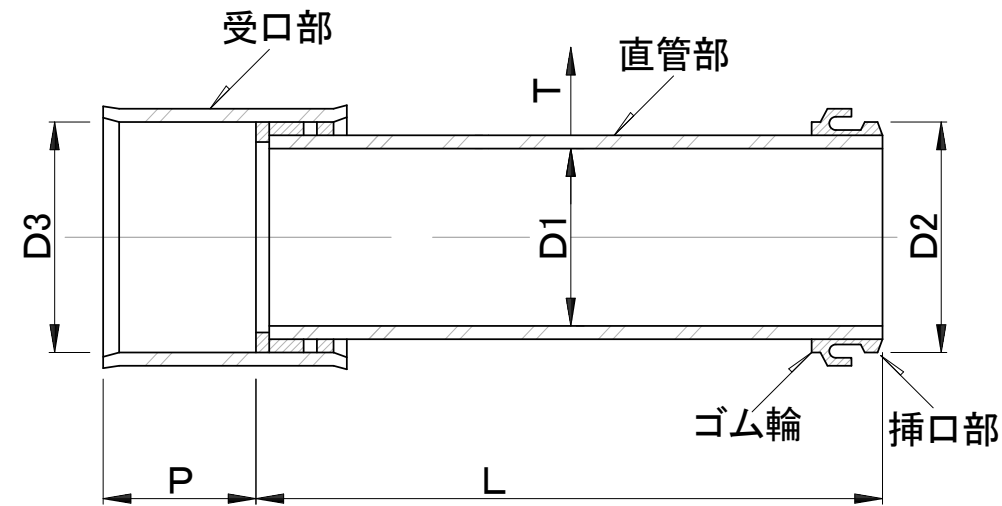


参考図

〔 特殊な条件下で使用する資器材並びに設計・積算の参考となる図面等を掲載しています。参考図に掲載されている資器材等を使用する場合は、規格・仕様・構造計算等を確認してください。 〕

直管(B形)



寸法表

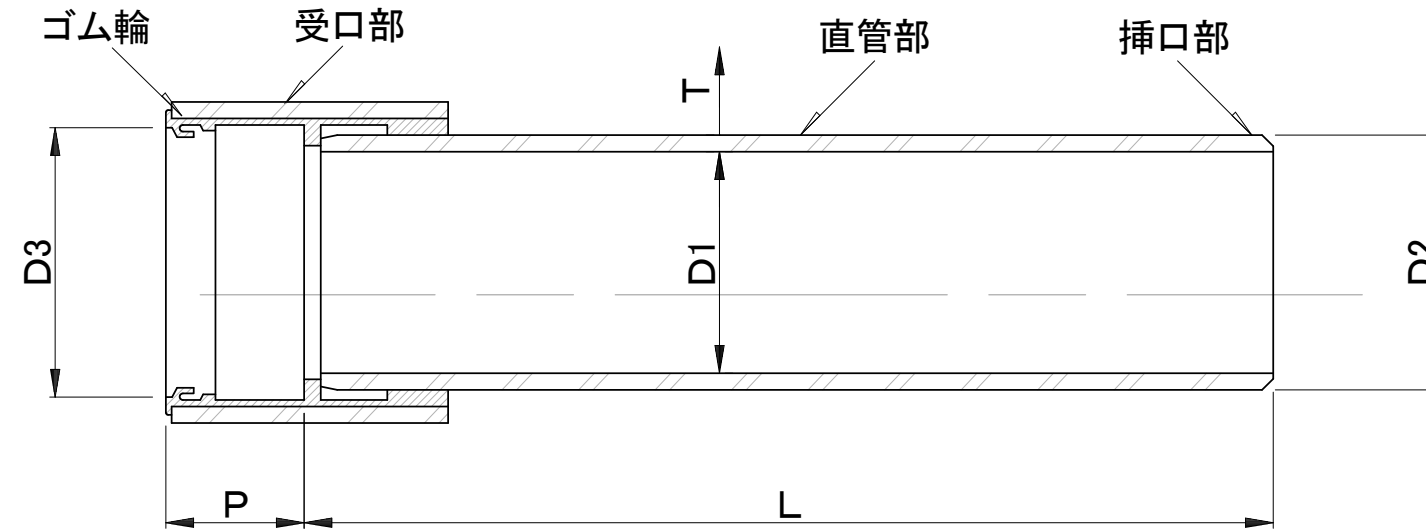
(単位:mm)

呼び径	厚さ		有効長		内径		挿口部 外径		受口部				参考質量 (kg/本)
	T	許容差	L	許容差	D1	許容差	D2	許容差	内径		長さ		
									D3	許容差	P	許容差	
200	7.0	+3 -0	4000	+30 -10	200	±1.5	229	±1.0	230.5	±1.0	140	±5	39
250	7.5				250		280		281.5				
300	8.0				300		331		332.5				
350	8.5				350		382		383.5				
400	9.0				400		434		435.5				
450	9.5				450		485		486.5				
500	10.0	+5 -0			500	541	542.5	±1.5	200	±10	140		
600	12.0				600	645	646.5				202		

- 特記事項
- 有効長(L)は、4000mm以下の他の長さとする事ができる。
 - 内径(D1)及び受口部内径(D3)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。
 - 挿口部外径(D2)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円周長を円周率3.1416で除した値とする。

下水道用強化プラスチック複合管
規格図(内径200mm~600mm)
(JSWAS K-2)(1)

直管(C形)



寸法表

(単位:mm)

呼び径	厚さ		有効長		内径		挿口部 外径		受口部				参考質量 (kg/本)
	T	許容差	L	許容差	D1	許容差	D2	許容差	内径		長さ		
									D3	許容差	P	許容差	
200	7.0	±3 0	4000	±30 10	200	±1.5	217	±1.0	218.5	±1.0	140	±5	39
250	7.5				250		268		269.5				
300	8.0				300		319		320.5				
350	8.5				350		370		371.5		150		
400	9.0				400		421		422.5				
450	9.5				450		472		473.5		160		
500	10.0	±5 0	4000	±30 10	500	±3.0	523	±1.5	524.5	±1.5	200	±10	140
600	12.0				600		627		628.5		202		

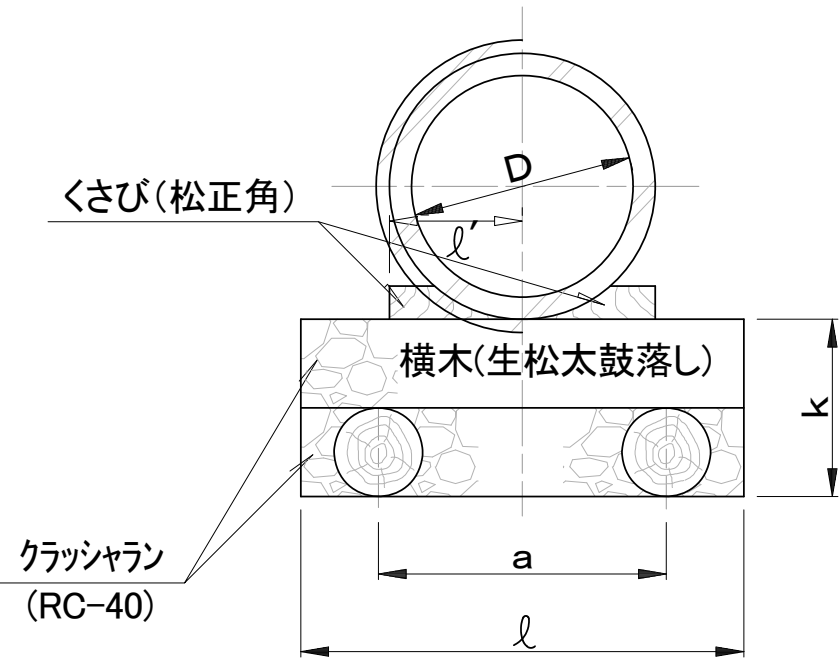
特記事項

1. ゴム輪は、分割形であってもよい。
2. 有効長(L)は、4000mm以下の他の長さとしてすることができる。
3. 内径(D1)及び受口部内径(D3)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。
4. 挿口部外径(D2)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円周長を円周率3.1416で除した値とする。

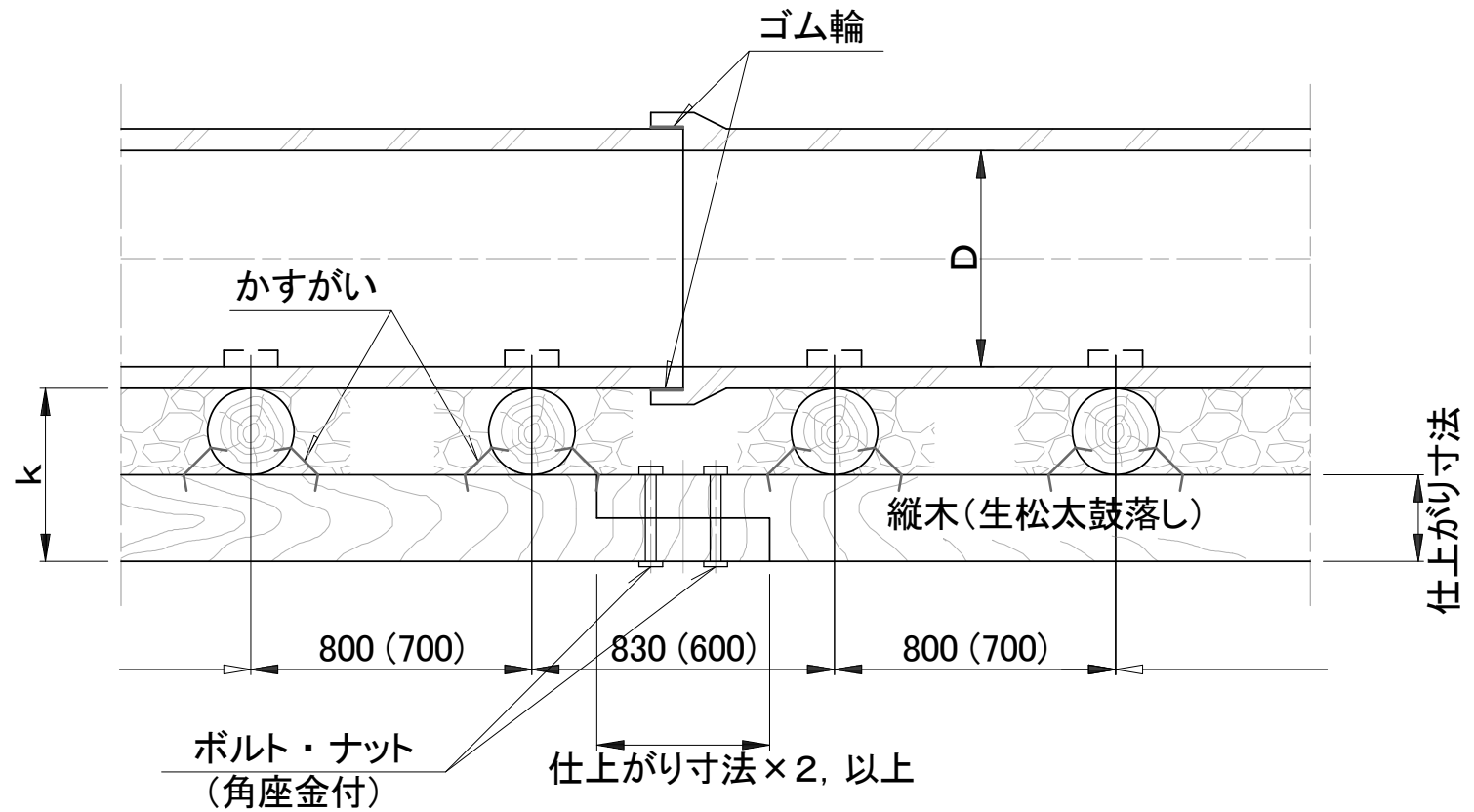
下水道用強化プラスチック複合管
規格図(内径200mm~600mm)
(JSWAS K-2)(2)

寸法表

(単位:mm)



内径 D	縦木 間隔 a	基礎巾 l	基礎厚 k	くさび 長さ l'	材 料 寸 法			
					参 考 値			ボルト・ナット (角座金付)
					横木材 末口×仕上げ	縦木材 末口×仕上げ	くさび材	
250~350	300	450	165	150	105×75	120×90	60×60	φ9.l=125
400	300	450	165	150	120×90	120×90	60×60	φ9.l=125
450~600	400	600	180	200	120×90	120×90	60×60	φ9.l=125
700~1000	600	900	240	300	150×120	150×120	75×75	φ9.l=150
1100, 1200	800	1200	240	400	150×120	150×120	75×75	φ9.l=150
1350	1000	1500	240	400	150×120	150×120	75×75	φ9.l=150
1500	1000	1500	300	400	180×150	180×150	90×90	φ13.l=210
1650, 1800	1200	1800	300	400	180×150	180×150	90×90	φ13.l=210



注) ()は l=2000mm ヒューム管使用時の数値。

材 料 表 (100m当り)

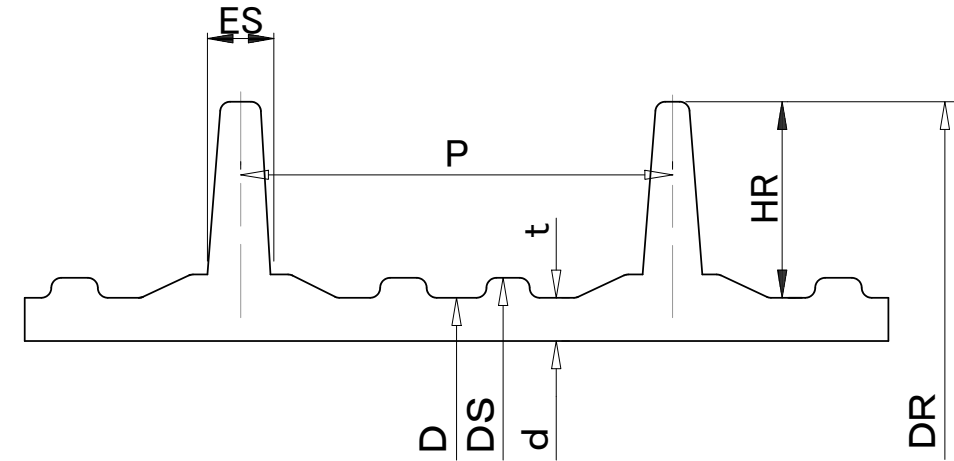
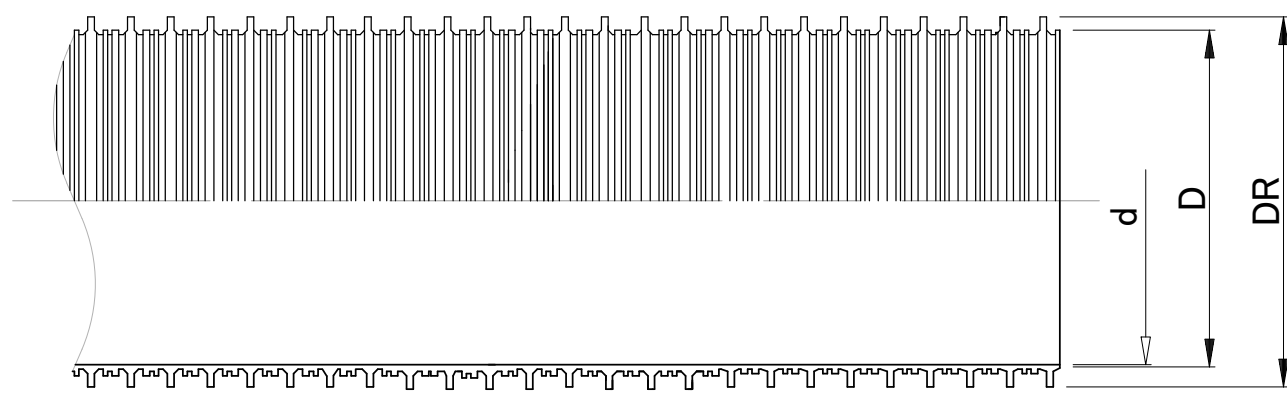
内 径 D	参 考 値			クラッシュラン (RC-40) (m ³)	ボルト・ナット (角座金付) (本)
	横木材	縦木材	くさび材		
	(m ³)	(生松) (m ³)	(松正角) (m ³)		
250~350	0.75	3.04	0.14	4.300	104.7
400	0.80	3.04	0.12	5.200	104.7
450~600	1.07	3.04	0.16	8.000	104.7
700~1000	2.53	4.79	0.40	17.200	106.4
1100~1200	3.70	4.79	0.56	24.400	106.4
1350	4.20	4.79	0.56	32.400	106.4
1500	5.99	7.03	0.80	38.400	108.1
1650~1800	7.16	7.03	0.80	47.800	108.1

特
記
事
項

はしご胴木基礎の材料寸法や材料表は「下水道用設計標準歩掛表」による。

下水道用鉄筋コンクリート管
B形・NB形・NC形
はしご胴木基礎布設図
(内径250mm~1800mm)

直管部共通寸法

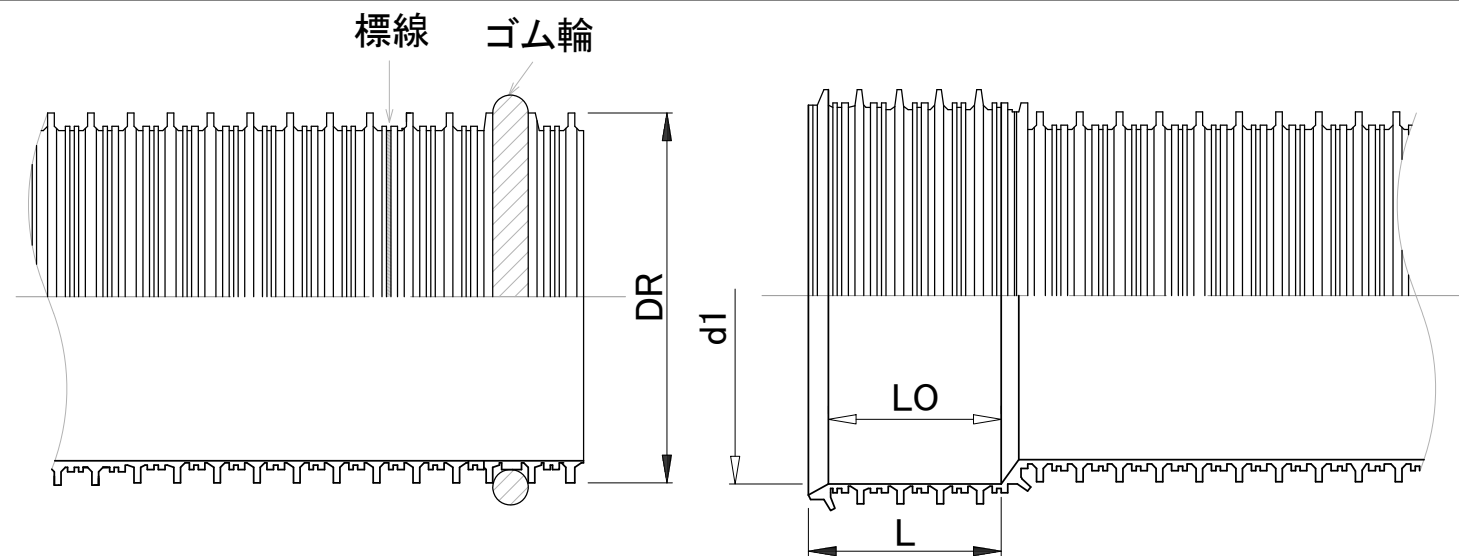


(単位:mm)

呼び径	シール部外径 DS		厚さ t		リブ間隔 P		標準値				参考	
	基準寸法	許容差	最小	許容差	基準寸法	許容差	外径D	リブ外径 DR	リブ高さ HR	リブ幅 ES	近似内径 d	1m当りの 質量(kg)
150	157.5	±0.6	2.4	+0.8 0	19.1	±0.6	155.5	171.0	7.7	3.1	150	3.000
200	207.7	±0.7	2.4		25.4	±0.8	205.5	228.8	11.6	3.6	200	4.350
250	258.5	±0.9	2.7		30.5	±0.9	256.1	286.2	15.0	4.4	250	6.380
300	309.7	±1.0	3.0	+1.2 0	38.1	±1.1	307.1	343.6	18.2	5.4	300	9.020
350	360.2	±1.1	3.1		38.1	±1.1	357.4	400.6	21.6	5.9	350	12.030
400	411.0	±1.3	3.3	+1.4 0	38.1	±1.1	407.6	448.4	20.4	5.8	400	13.860
450	461.8	±1.4	3.5		38.1	±1.1	457.8	502.0	22.1	6.8	450	17.360

特記事項
 注) 1. 外径及びリブ外径は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値及びリブ外径測定値の平均値をいう。
 2. 表中1m当りの質量は、密度1.43g/cm³で測定したものである。
 3. リブ根元部分の詳細形状については、規定しない。

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管
 規格図(1) <直管>
 (JSWAS K-13)

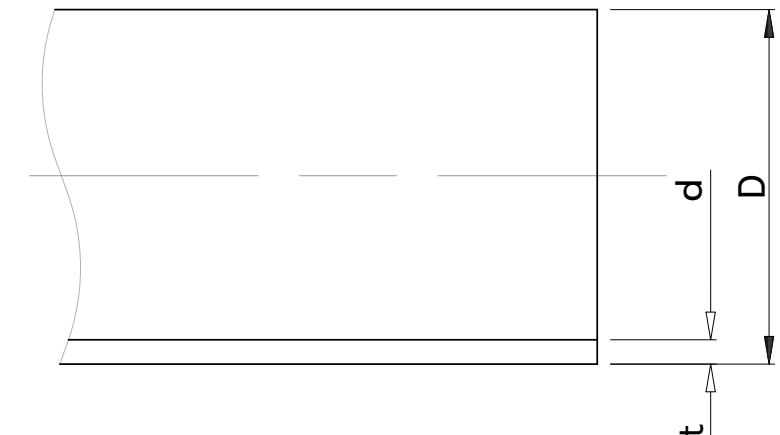


直管、異形管受口及びゴム輪差し口共通寸法

(単位:mm)

呼び径	差し口部	受口部			
	リブ外径 DR (標準値)	受口内径 d1 (最小)	平行部長さ Lo (最小)	受口長さ L (標準値)	接合長さ e (最小)
150	171.0	171.7	90	100	61.3
200	228.8	229.7	100	115	61.9
250	286.2	287.3	115	140	69.2
300	343.6	344.9	135	170	77.8
350	400.6	402.1	135	170	77.8
400	448.4	450.2	135	170	77.8
450	502.0	504.0	135	170	77.8

- 注) 1. 受口部内径 d1 は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。
 2. ゴム輪の形状は、規定しない。
 3. ゴム輪差し口でのゴム輪取付け位置は、管端より第2番目と3番目のリブの間とする。
 4. 標線位置は、呼び径150の場合は管端より第6番目と第7番目のリブの間、呼び径200以上の場合は第5番目と第6番目のリブの間とする。
 5. 接合長さ e は、平均部長さ Lo (最小) - (1.5 × リブ間隔 P) として算出したものである。



副管用90度支管直管部共通寸法

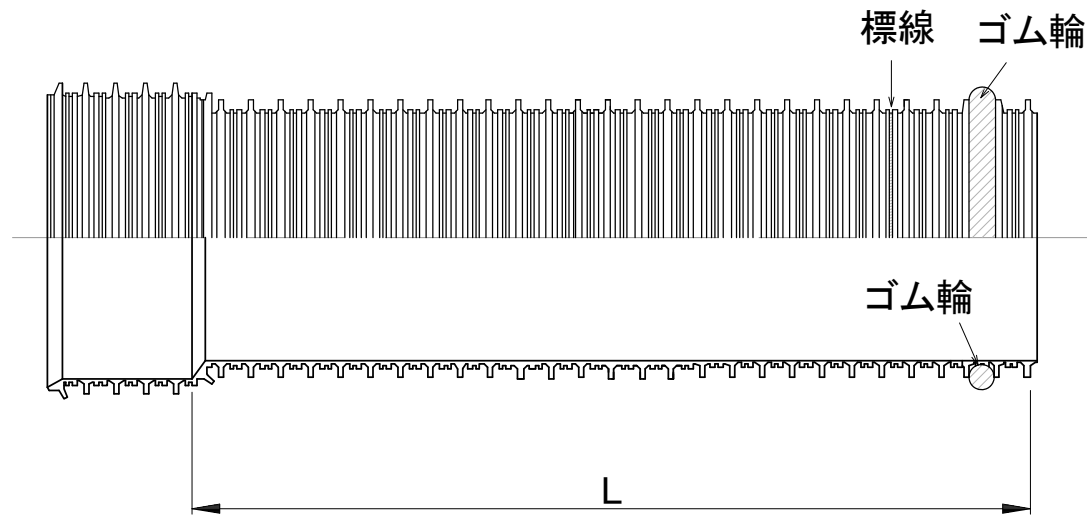
(単位:mm)

呼び径	外径 D		厚さ t		参考	
	基準寸法	許容差	最小	許容差	内径d	1m当りの質量 (kg)
150	165.0	±0.6	5.1	+0.8	154.0	3.941
200	216.0	±0.7	6.5	+1.0	202.0	6.572
250	267.0	±0.9	7.8	+1.2	250.2	9.758
300	318.0	±1.0	9.2	+1.4	298.2	13.701
350	370.0	±1.2	10.5	+1.4	347.6	18.051
400	420.0	±1.3	11.8	+1.6	394.8	23.059
450	470.0	±1.5	13.2	+1.8	441.8	28.875

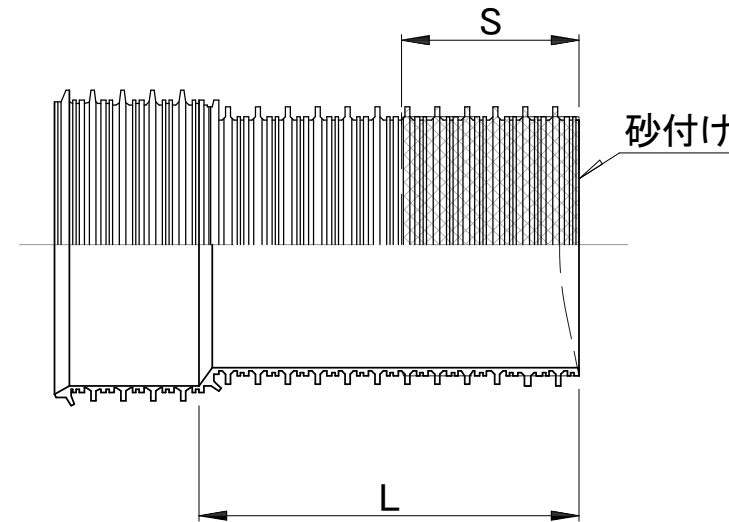
- 注) 1. 外径 D とは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の平均値をいう。
 2. 表中1m当りの質量は、密度1.43g/cm³で計算したものである。
 3. 本表は、JIS K 6741 の管(呼び径100~450)と同一である。

特記事項		下水道用リブ付硬質塩化ビニル管 規格図(2) (JSWAS K-13)
------	--	---

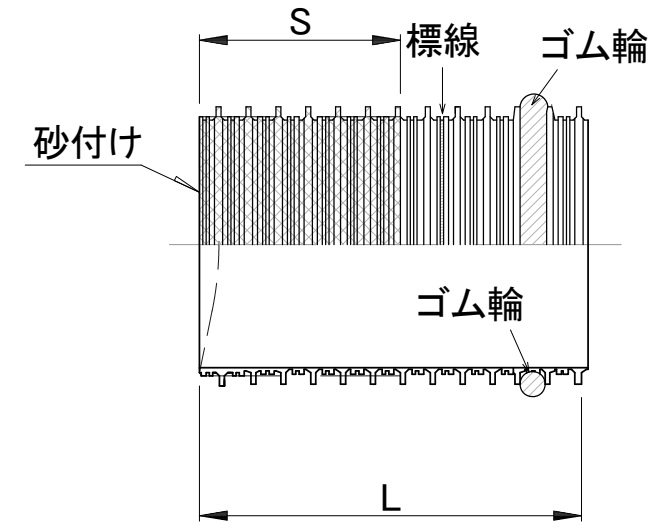
片受け直管(略号PRP)



上流用マンホール継手(略号MR-PRP)
及び副管分岐用マンホール継手
(略号MRL-PRP)



下流用マンホール継手
(略号MSA-PRP)



片受け直管寸法表

(単位:mm)

呼び径	L
150	4000 ⁺³⁰ ₋₁₀
200	
250	
300	4000 ⁺⁴⁰ ₋₁₀
350	
400	
450	

上流用マンホール継手
及び副管分岐用マンホール継手寸法表

(単位:mm)

呼び径	L		S (参考)
	MR-PRP	MRL-PRP	
150	500 ⁺³⁰ ₋₁₀	1000 ⁺³⁰ ₋₁₀	250
200			
250			
300	500 ⁺⁴⁰ ₋₁₀	1000 ⁺⁴⁰ ₋₁₀	
350			
400			
450			

下流用マンホール継手寸法表

(単位:mm)

呼び径	L	S (参考)
150	500 ⁺³⁰ ₋₁₀	250
200		
250		
300	500 ⁺⁴⁰ ₋₁₀	
350		
400		
450		

特記事項

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管
規格図(3)
(JSWAS K-13)

副管用90度支管寸法表

(単位:mm)

呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R
200-150	163	255	4.6	4	104
250-150	166	250	5.0		129
250-200	201	310	5.5		155
300-150	170	300	5.8		180
300-200	205	315	6.5		206
350-150	173	285	6.7		231
350-200	208	315			
400-200	211	315			
450-200	214	315			

- 注) 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
 2. Zの許容差は、±10mmとする。
 3. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。
 4. サドルと短管の接合部の詳細は、規定しない。

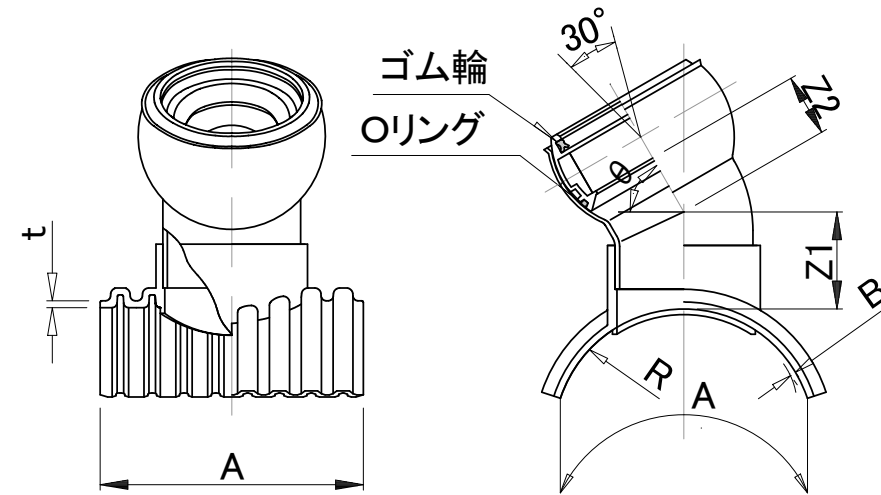
90度、60度、45度自在支管寸法表

(単位:mm)

呼び径	自在支管					A (最小)	R (標準)	B (最大)	t (最小)
	90度	60度θ		45度θ					
	Z (最小)	Z1 (最小)	Z2 (最小)	Z1 (最小)	Z2 (最小)				
200-150	65	62	50	75	68	255	104	4.6	4
250-150	70	65	50	78	68	250	129	5.0	
250-200	75	70	86	88	93	310	155	5.5	
300-150	75	68	50	82	68	300	180	5.8	
300-200	80	73	86	92	93	315	206	6.5	
350-150	75	71	50	85	68	285	231	6.7	
350-200	80	76	86	95	93	315			
400-150	80	74	50	83	98	285			
400-200	85	79	86	90	123	315			
450-150	80	77	50	86	101	285			
450-200	85	82	86	93	126	315			

- 注) 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
 2. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。
 3. ゴム輪の形状及びサドルと短管の接合部の詳細は、規定しない。

リブ60度自在支管(略号60SVRF-PRP)
 リブ45度自在支管(略号45SVRF-PRP)



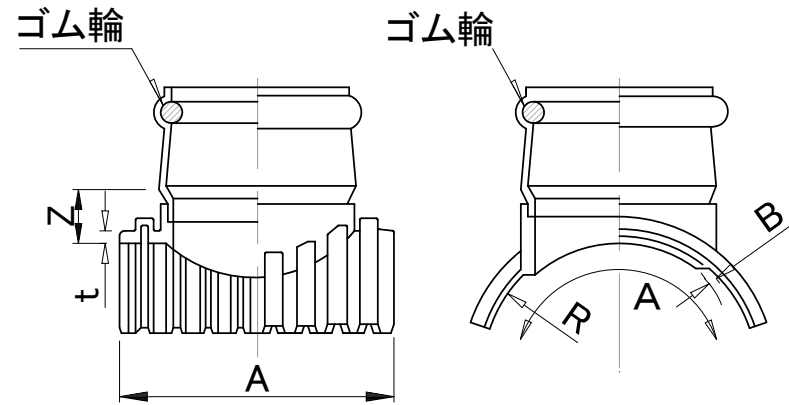
90度支管(取付管用)寸法表

(単位:mm)

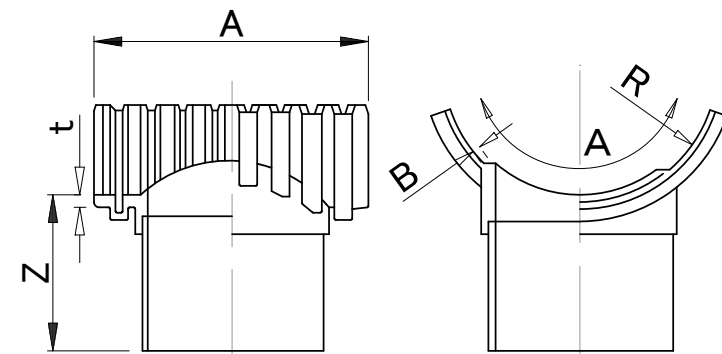
呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R
200-150	73	255	4.6	4	104
250-150	76	250	5.0		129
250-200	91	310	5.5		155
300-150	80	300	5.8		180
300-200	95	315	6.5		206
350-150	83	285	6.7		231
350-200	98	315			
400-150	86	285			
400-200	101	315			
450-150	89	285			
450-200	104	315			

- 注) 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
 2. Zの許容差は、±15mmとする。
 3. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。
 4. ゴム輪の形状及びサドルと短管の接合部の詳細は規定しない。

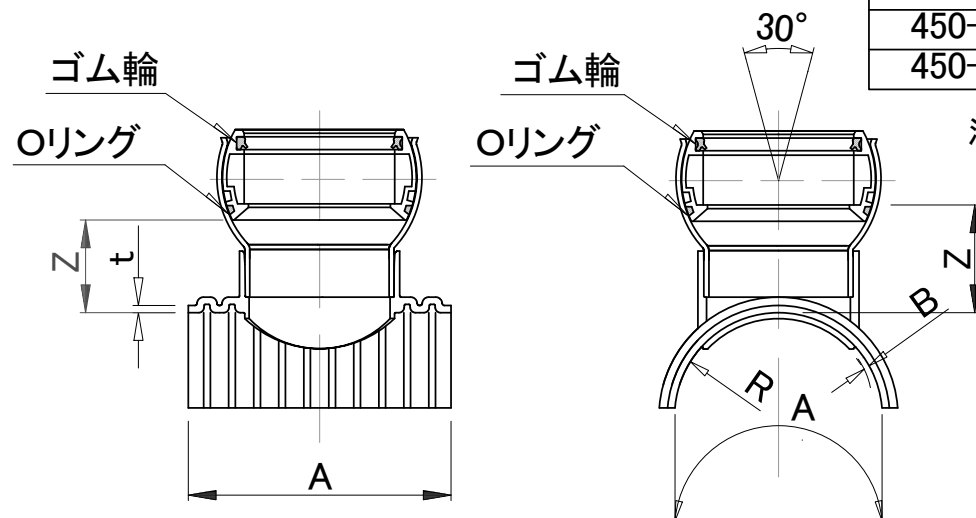
90度支管(取付管用)(略号90SVR-PRP)



副管用90度支管(略号VS-PRP)



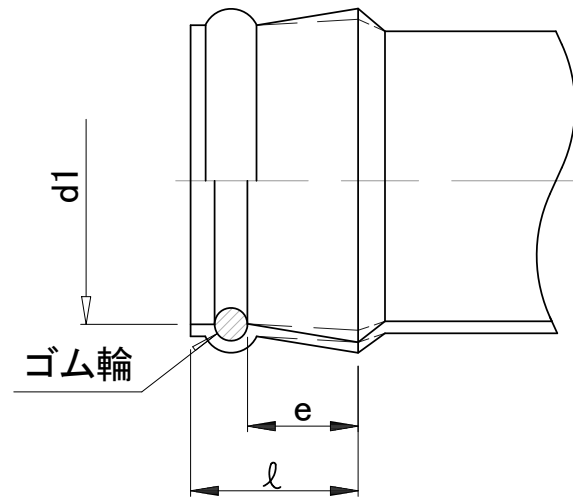
リブ90度自在支管(取付管用)
 (略号90SVRF-PRP)



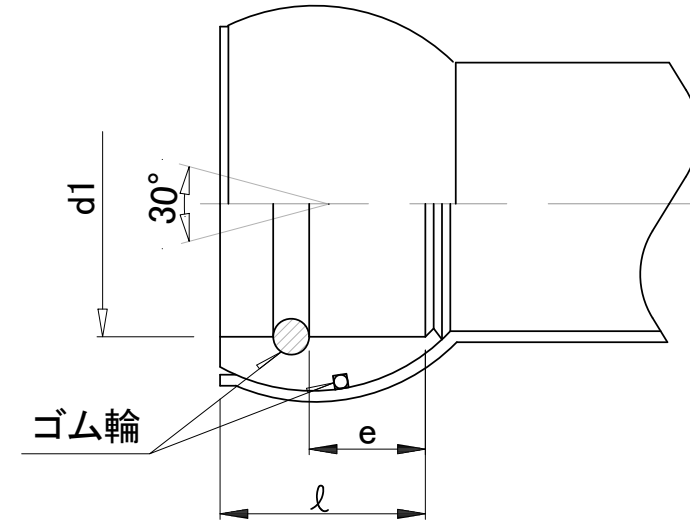
特記事項

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管
 規格図(4)〈支管〉
 (JSWAS K-13)

取付管形



取付管形(自在)



90度支管、自在支管ゴム輪受口共通寸法

(単位:mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
150	166.0	58	108
200	218.0	69	126

- 注) 1. 破線で示す形状にすることもできる。
 2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。
 3. 受口内径 d1 は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。

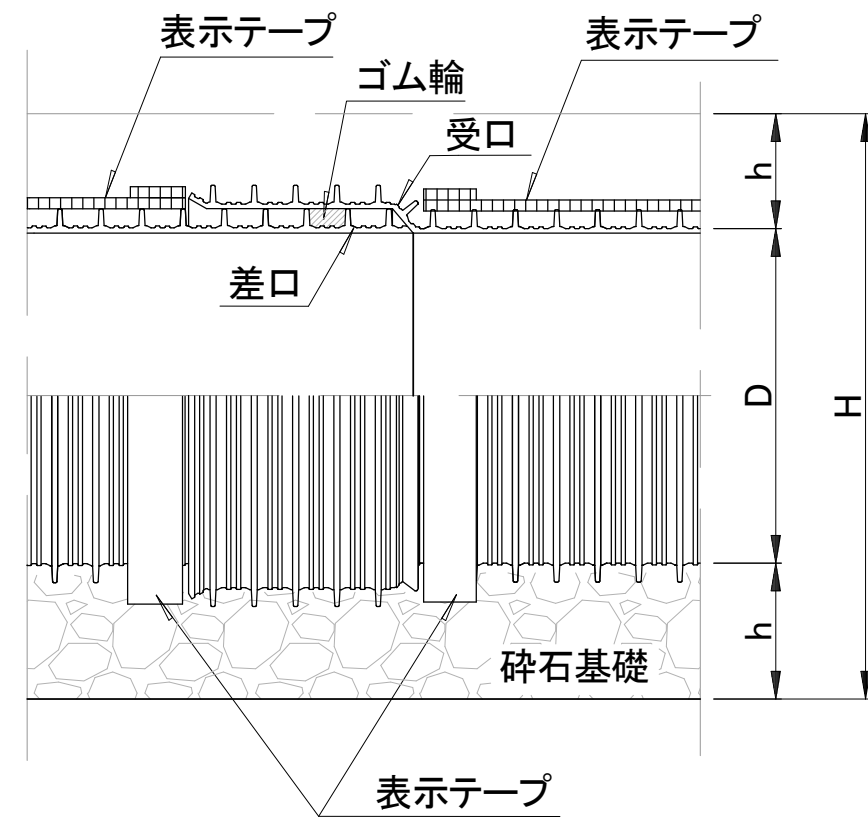
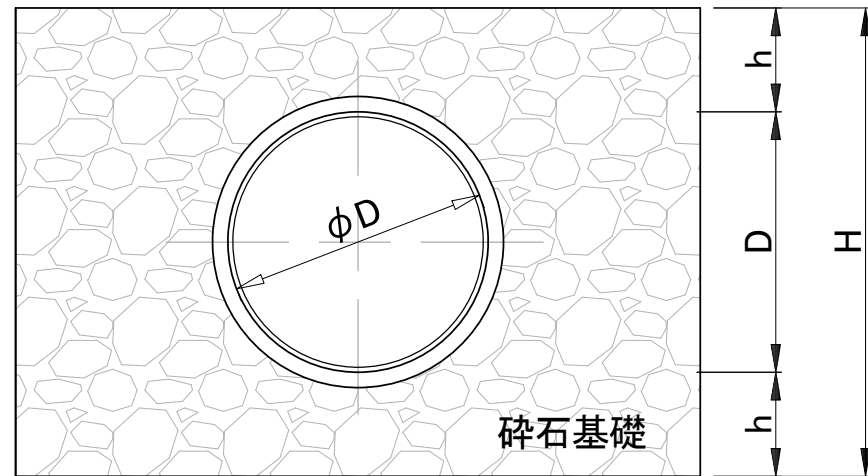
(単位:mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
150	165.7	58	120
200	216.9	69	145

- 注) 1. ゴム輪の形状、ゴム周辺部の形状及び摺動部周辺の形状については、規定しない。
 2. 受口内径 d1 は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。

特記事項

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管
規格図(5)〈受口〉
(JSWAS K-13)



寸法及び材料表

(100m当たり)

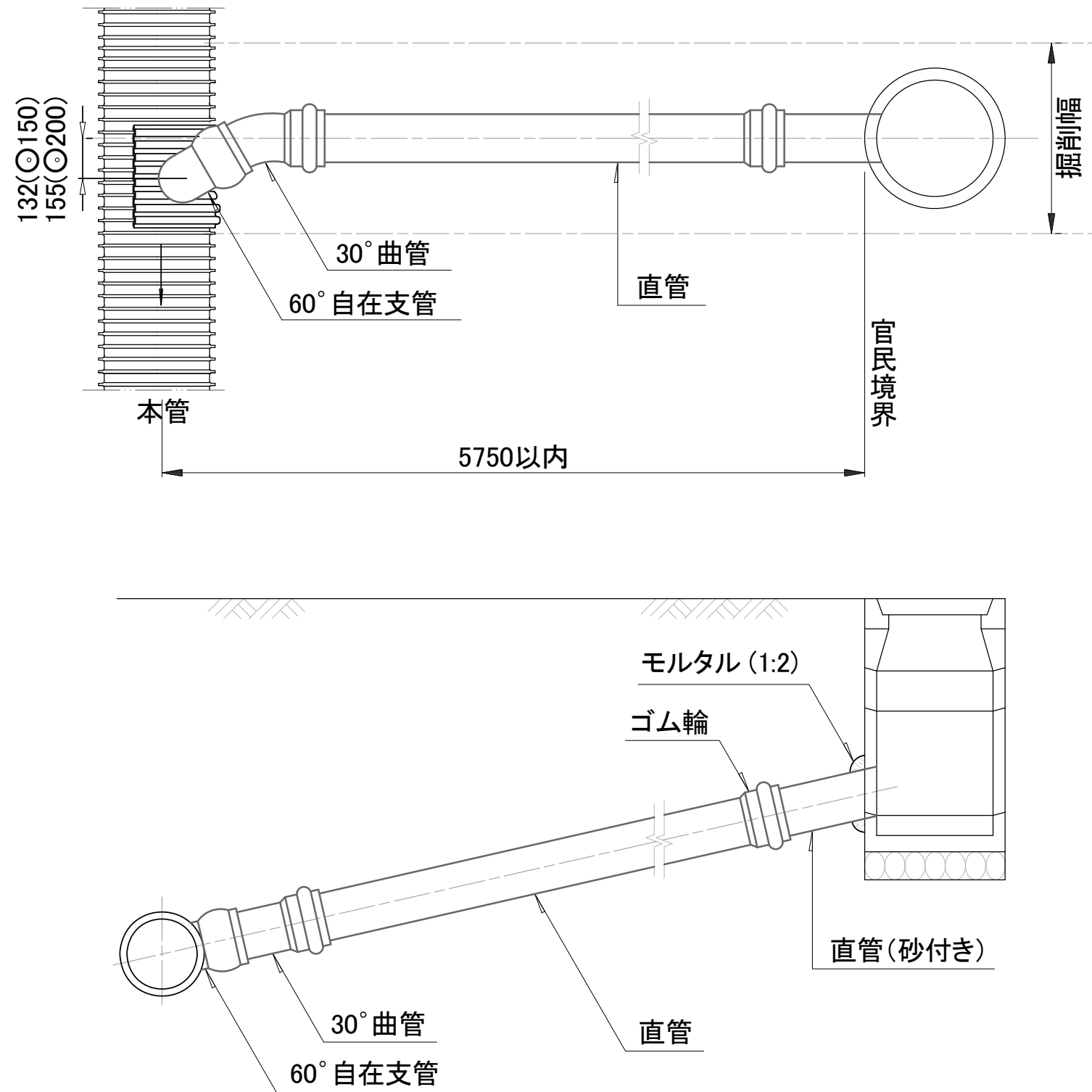
種類	呼び径	管厚 t (mm)	外径 D(参考) (mm)	h (mm)	H (mm)	掘削幅 B (mm)	碎石基礎 (m ³)
下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	150	2.4 ^{+0.8} / ₋₀	155.5	100	355.5	(750)	24.8
	200	2.4 ^{+0.8} / ₋₀	205.5	100	405.5	800	29.1
	250	2.7 ^{+0.8} / ₋₀	256.1	100	456.1	850	33.6
	300	3.0 ^{+1.2} / ₋₀	307.1	100	507.1	900	38.2
	350	3.1 ^{+1.2} / ₋₀	357.4	100	557.4	950	42.9
	400	3.3 ^{+1.4} / ₋₀	407.6	100	607.6	1000	47.7
	450	3.5 ^{+1.4} / ₋₀	457.8	100	657.8	1050	52.6

特記事項

注1) φ150mm、φ200mmは原則として使用しない。
注2) 基礎形状は碎石を基本とする。

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管
布設図
(呼び径150mm～450mm)

本管(リブ付硬質塩化ビニル) - 取付管(硬質塩化ビニル)



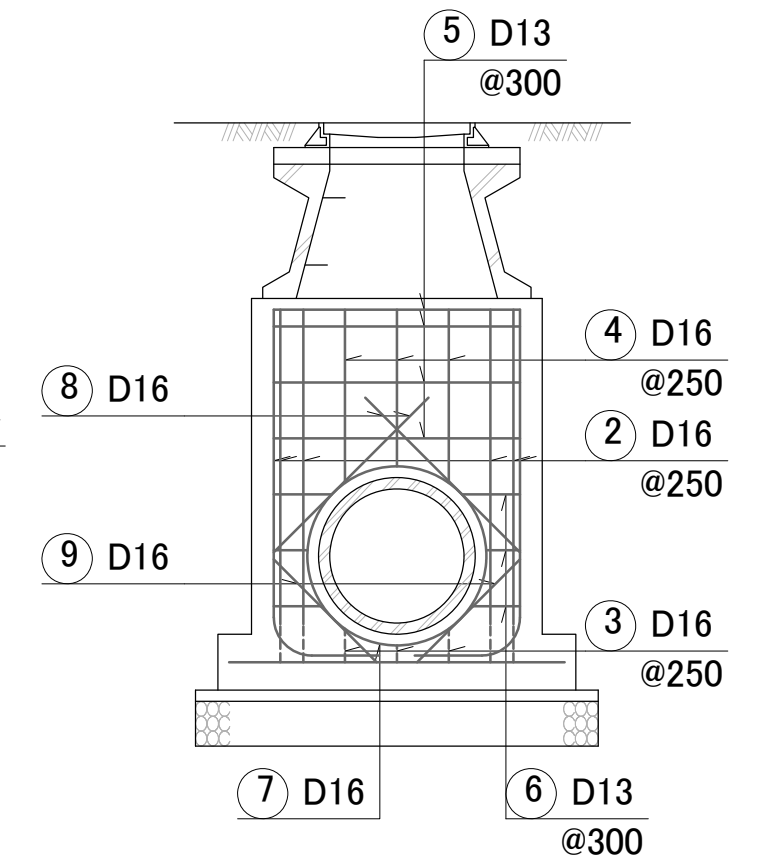
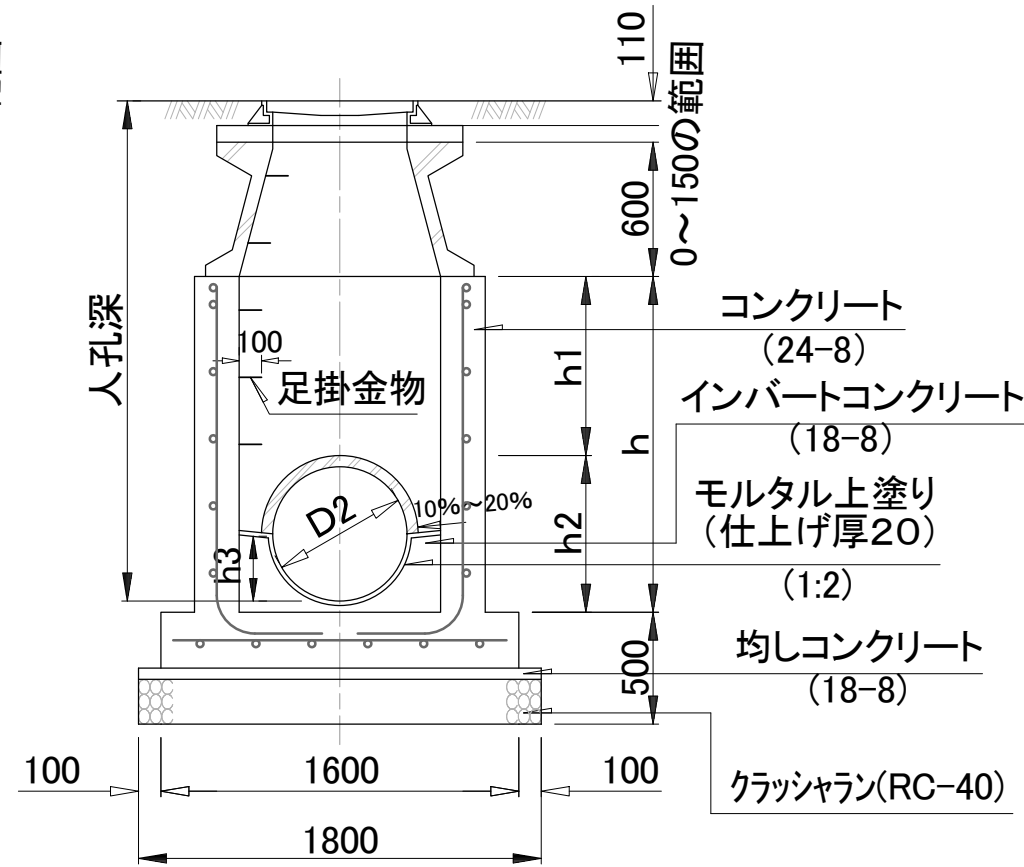
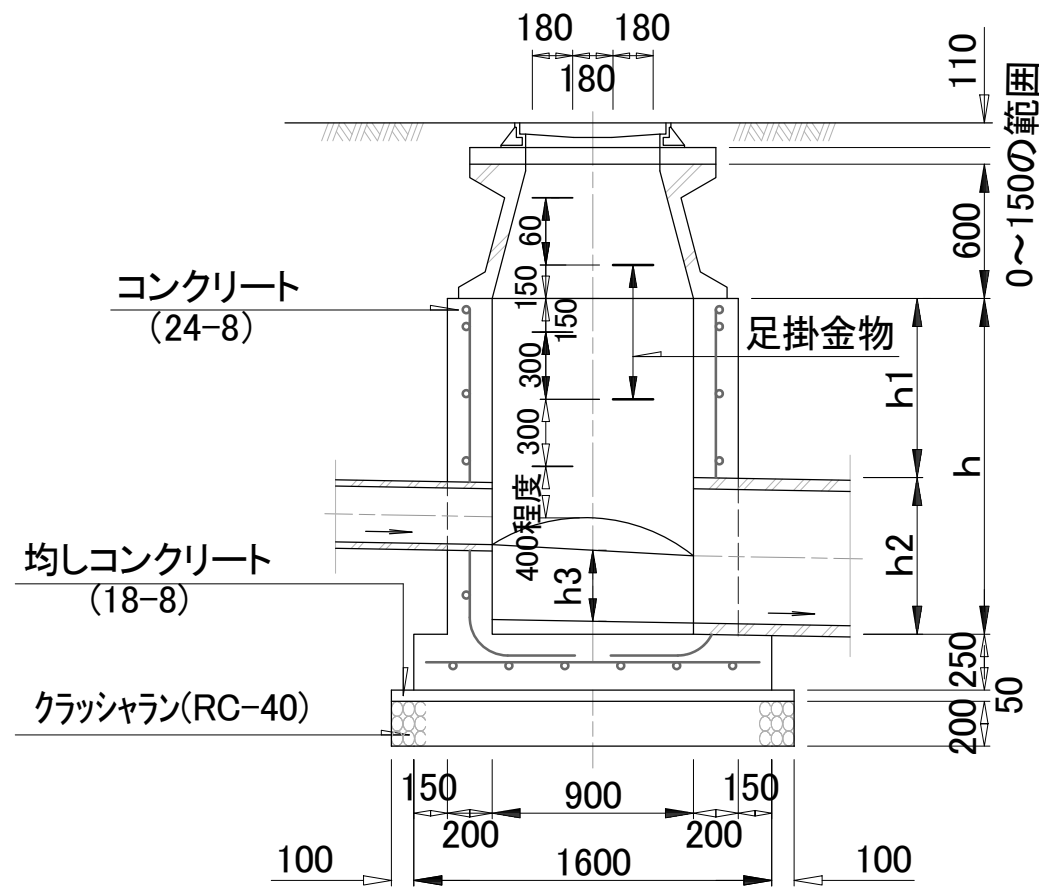
特記事項

注)雨水枡取付管布設についても上図に準ずる。

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管
取付管布設図

縦断面図

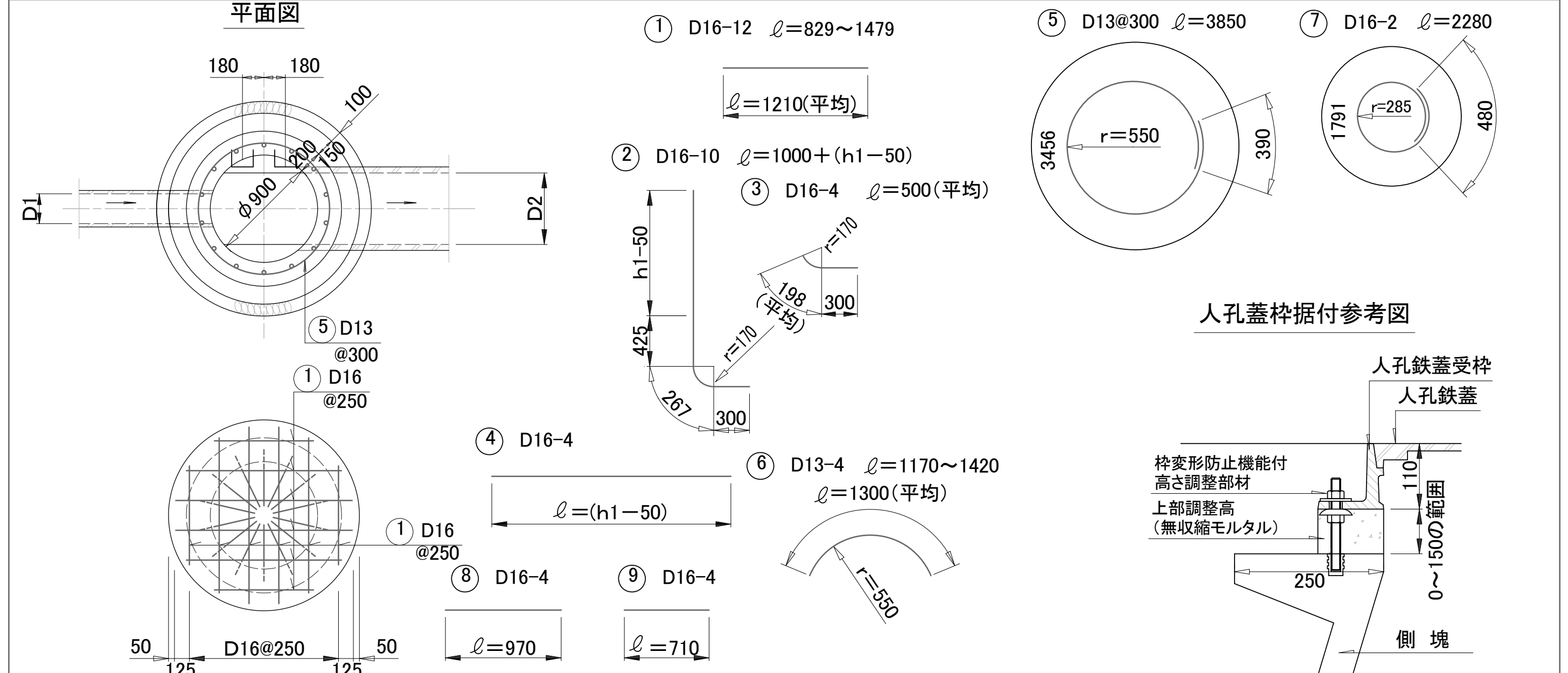
横断面図



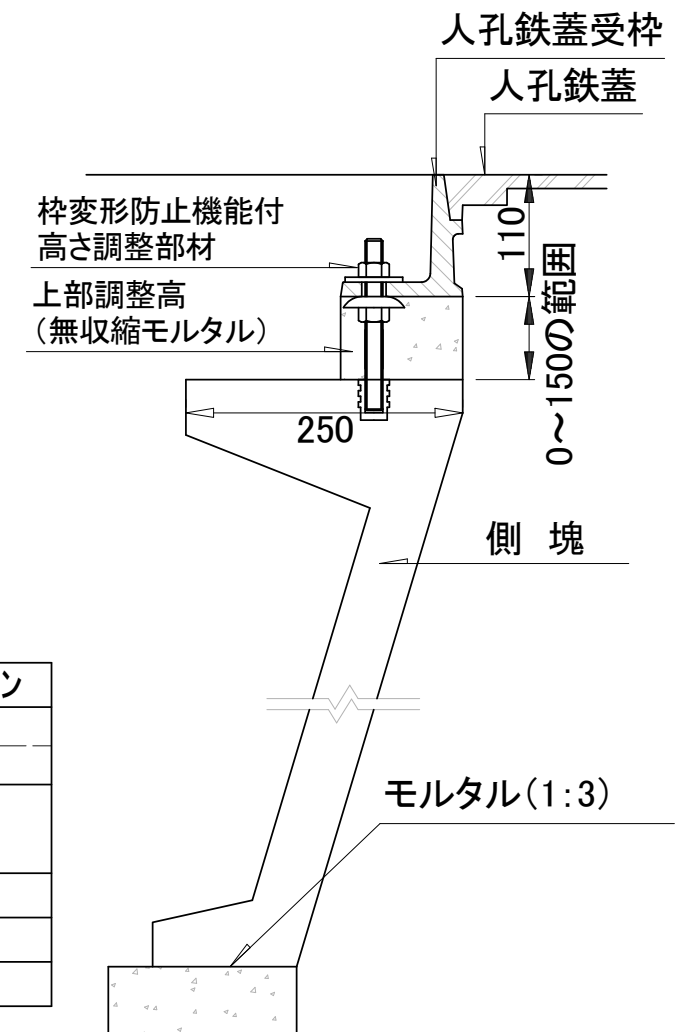
特記事項

足掛金物とインバート上部との間隔が40cm以内の場合、足掛金物は設けなくてよい。
 h3(インバート高さ)は下流管管径の1/2とする。
 ・ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第1種人孔構造図(1)



人孔蓋枠据付参考図



材 料 表

位 置	コンクリート		型 枠	上塗モルタル	鉄 筋		クラッシュラン
	24-8 m ³	18-8 m ³			1:2 m ²	D13 kg	
底 版	0.50	—	1.26	—	—	22.7	0.51
インバート	—	0.08	0.55	0.84	—	—	
h1	0.69	—	6.91	—	12.6	20.8	—
h2	0.25	—	2.89	—	5.2	36.3	—
均しコンクリート	—	0.13	0.28	—	—	—	—

※上部調整高で使用する無収縮モルタル1m³当たりの使用量は、1,875kgとする。

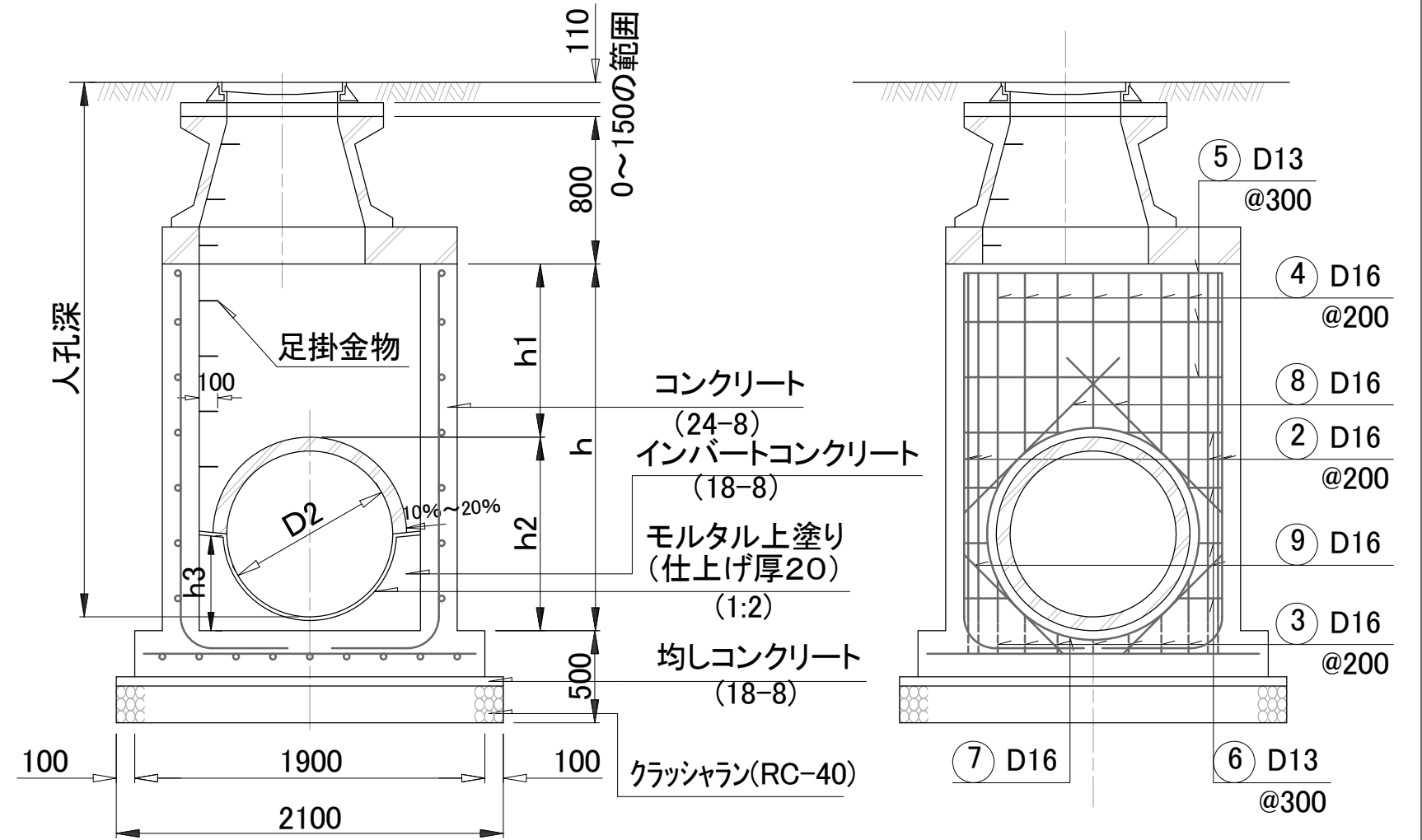
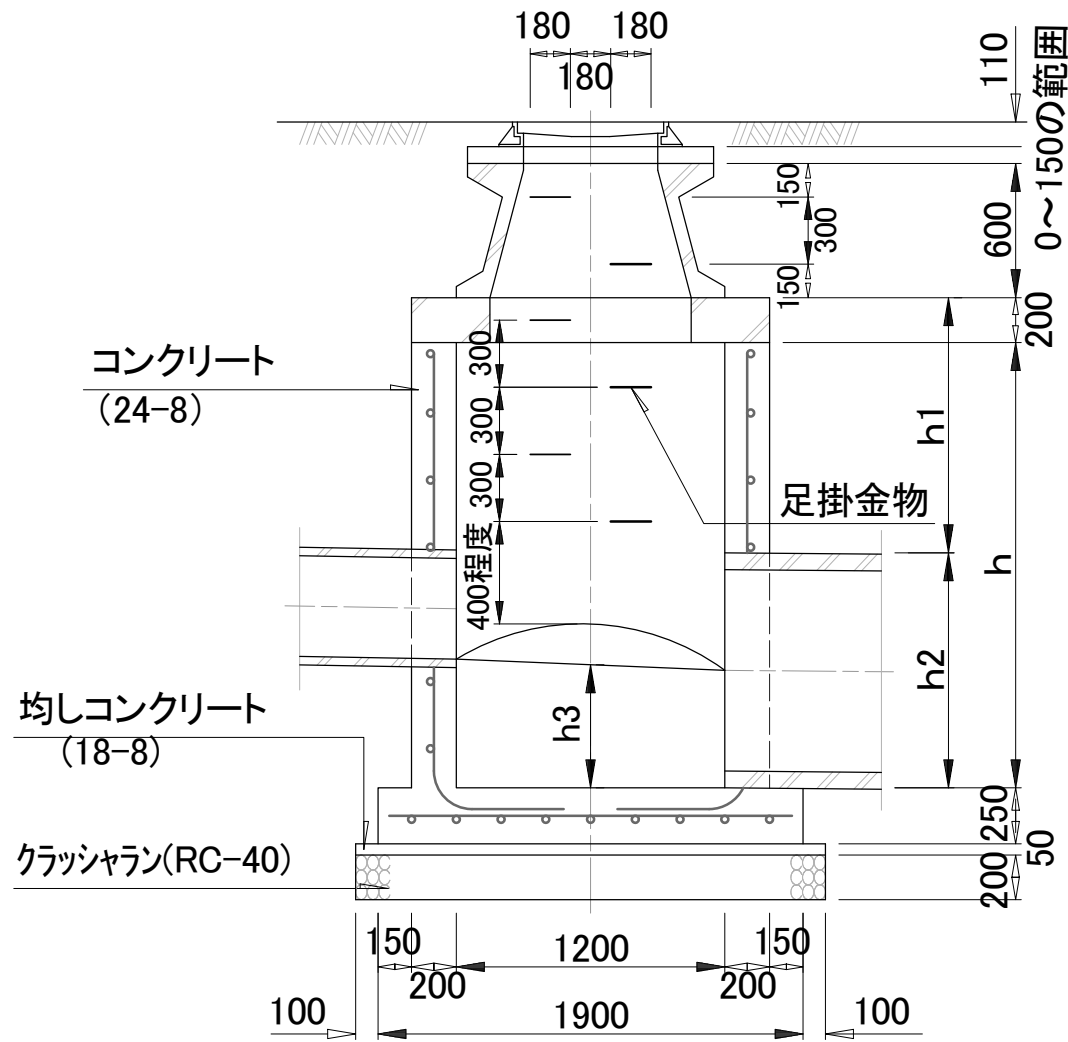
特
記
事
項

- ・材料表は、 $\phi 400\text{mm}$ の場合とする。
- ・コンクリート量は管の部分を除いた量とする。
- ・底版の鉄筋量は①のみとし、それ以外はh1、h2とする。
- ・無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。
- ・ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第1種人孔構造図(2)

縦断面図

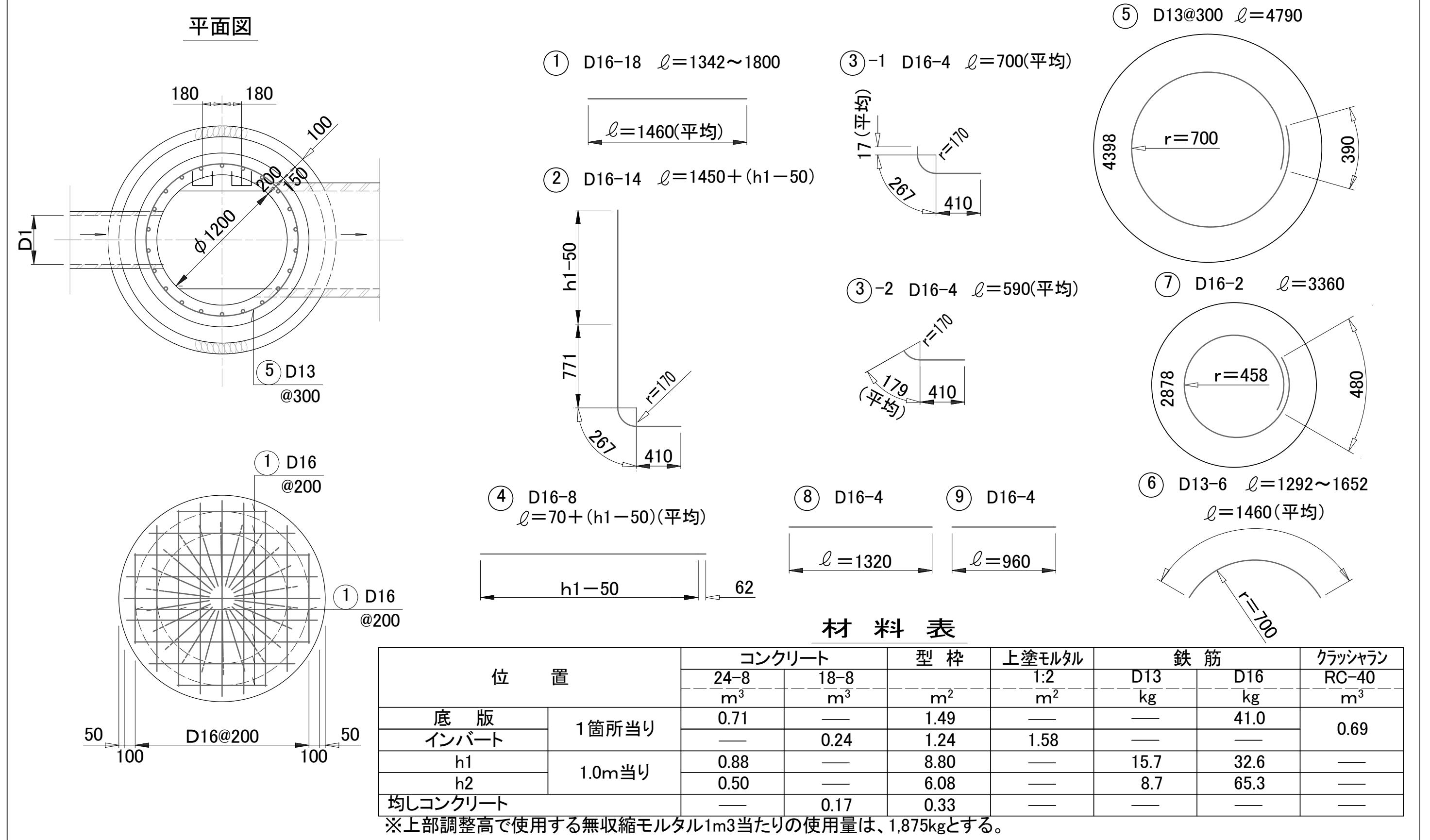
横断面図



特記事項

足掛金物とインバート上部との間隔が40cm以内の場合、足掛金物は設けない。
 h3(インバート高さ)は下流管管径の1/2とする。
 ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

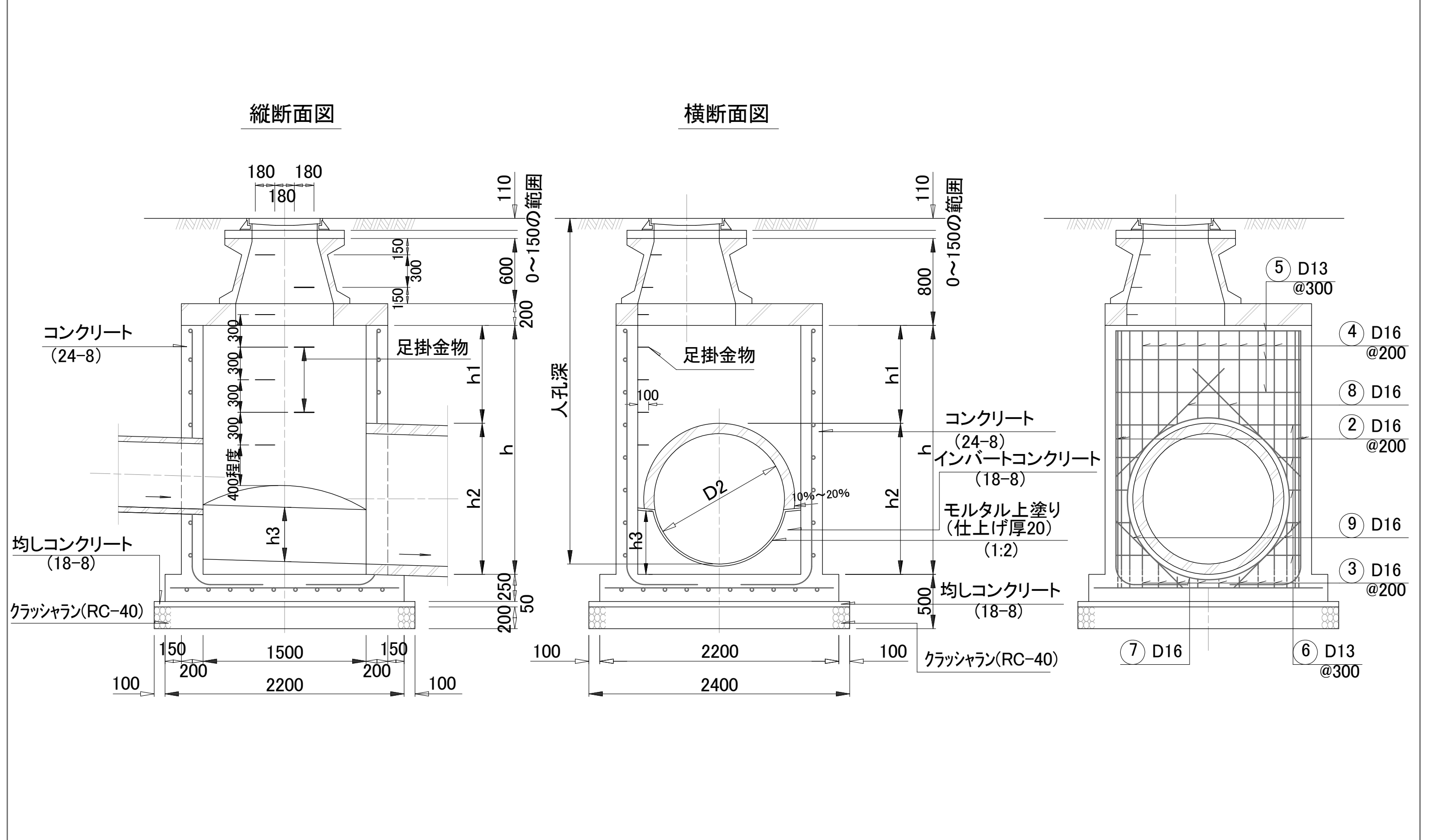
第2種人孔構造図(1)



特記事項

- ・材料表は、φ700mmの場合とする。
- ・コンクリート量は管の部分を除いた量とする。
- ・底版の鉄筋量は①のみとし、それ以外はh1、h2とする。
- ・無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。
- ・ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

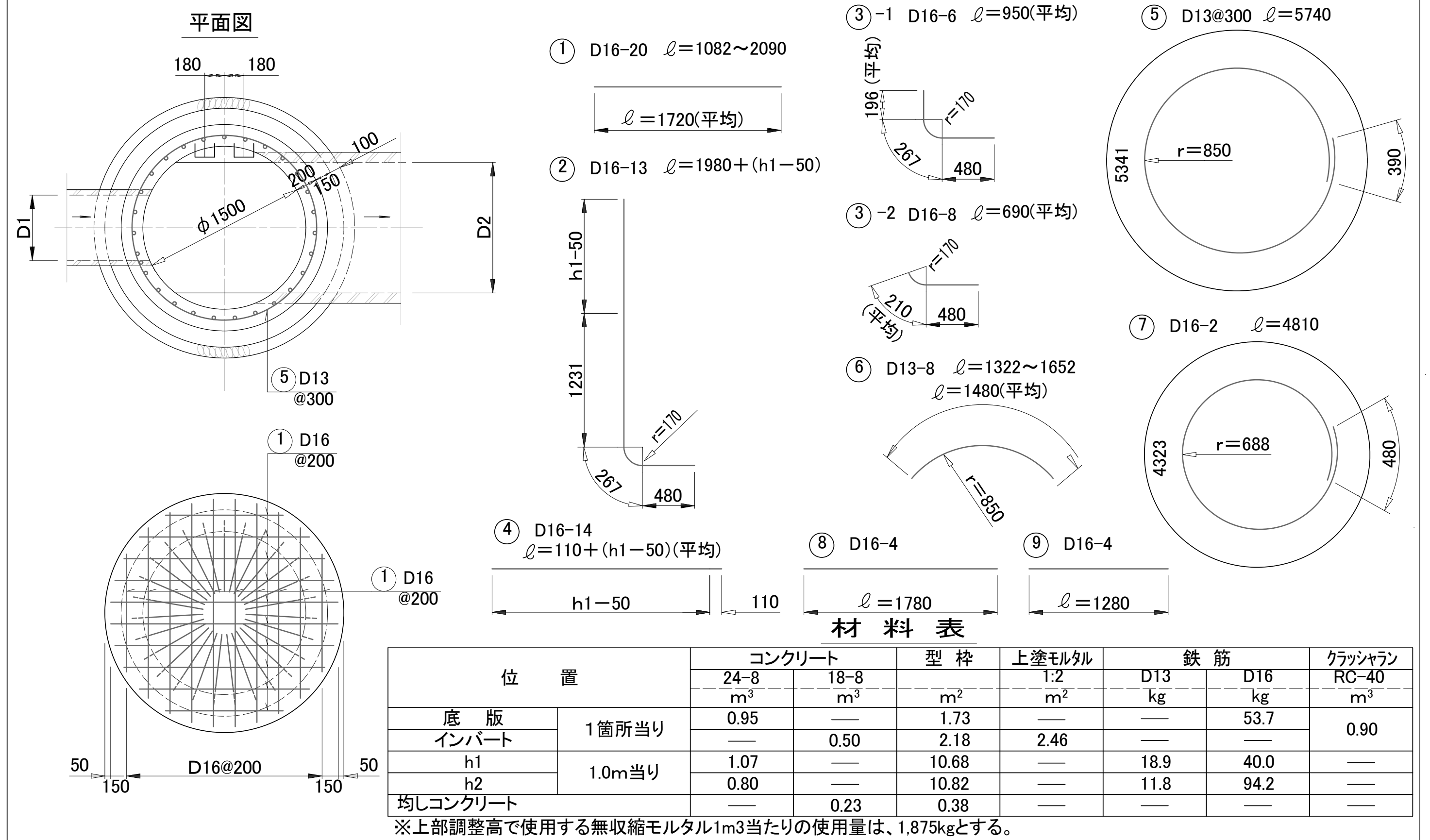
第2種人孔構造図(2)



特記事項
 足掛金物とインバート上部との間隔が40cm以内の場合、足掛金物は設けなくてよい。
 h3(インバート高さ)は下流管管径の1/2かつ500mm以内とする。
 ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第3種人孔構造図(1)

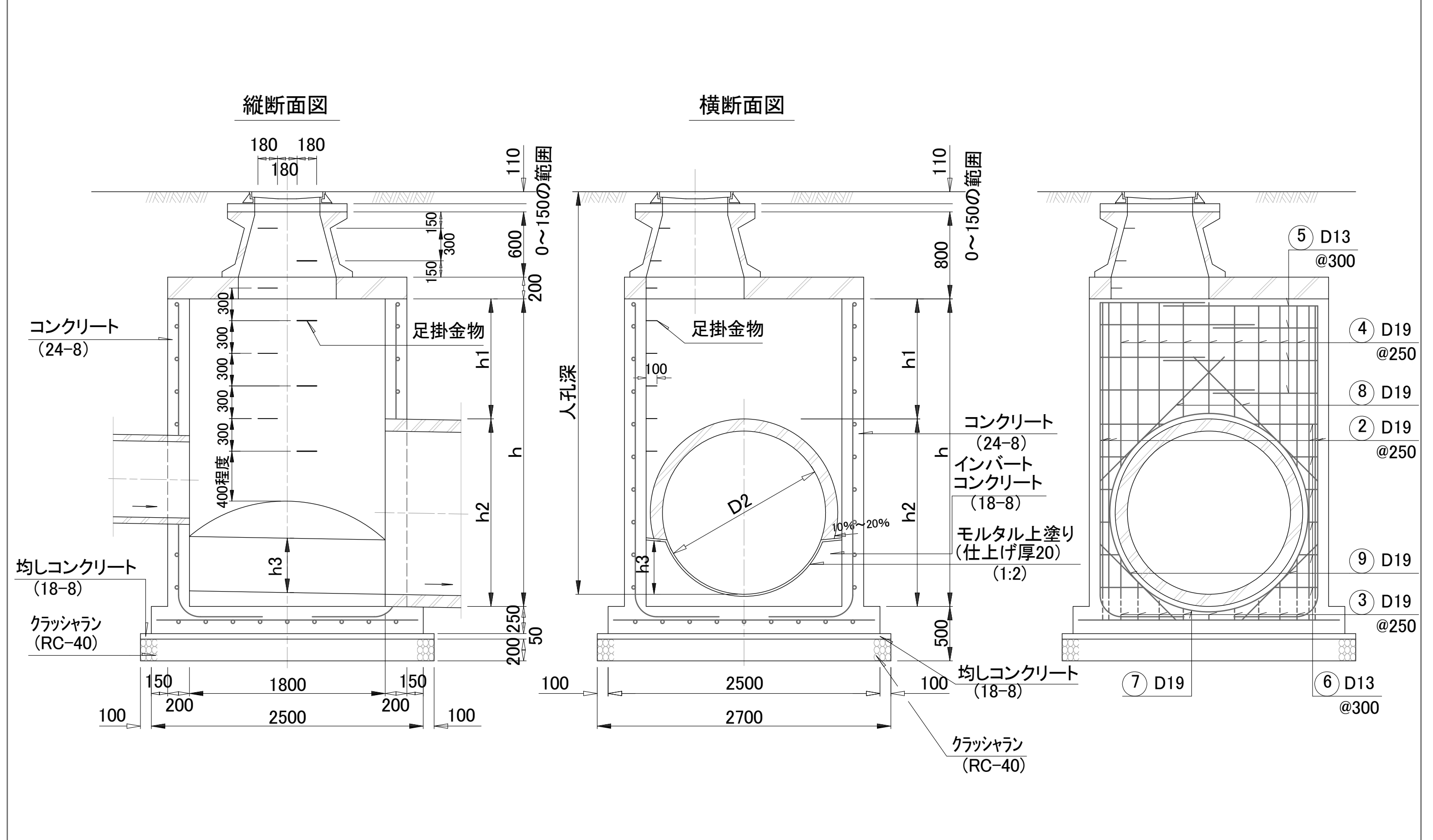
参考図2-5



特記事項

- ・材料表は、φ1100mmの場合とする。
- ・コンクリート量は管の部分を控除した量とする。
- ・底版の鉄筋量は①のみとし、それ以外はh1、h2とする。
- ・無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。
- ・ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

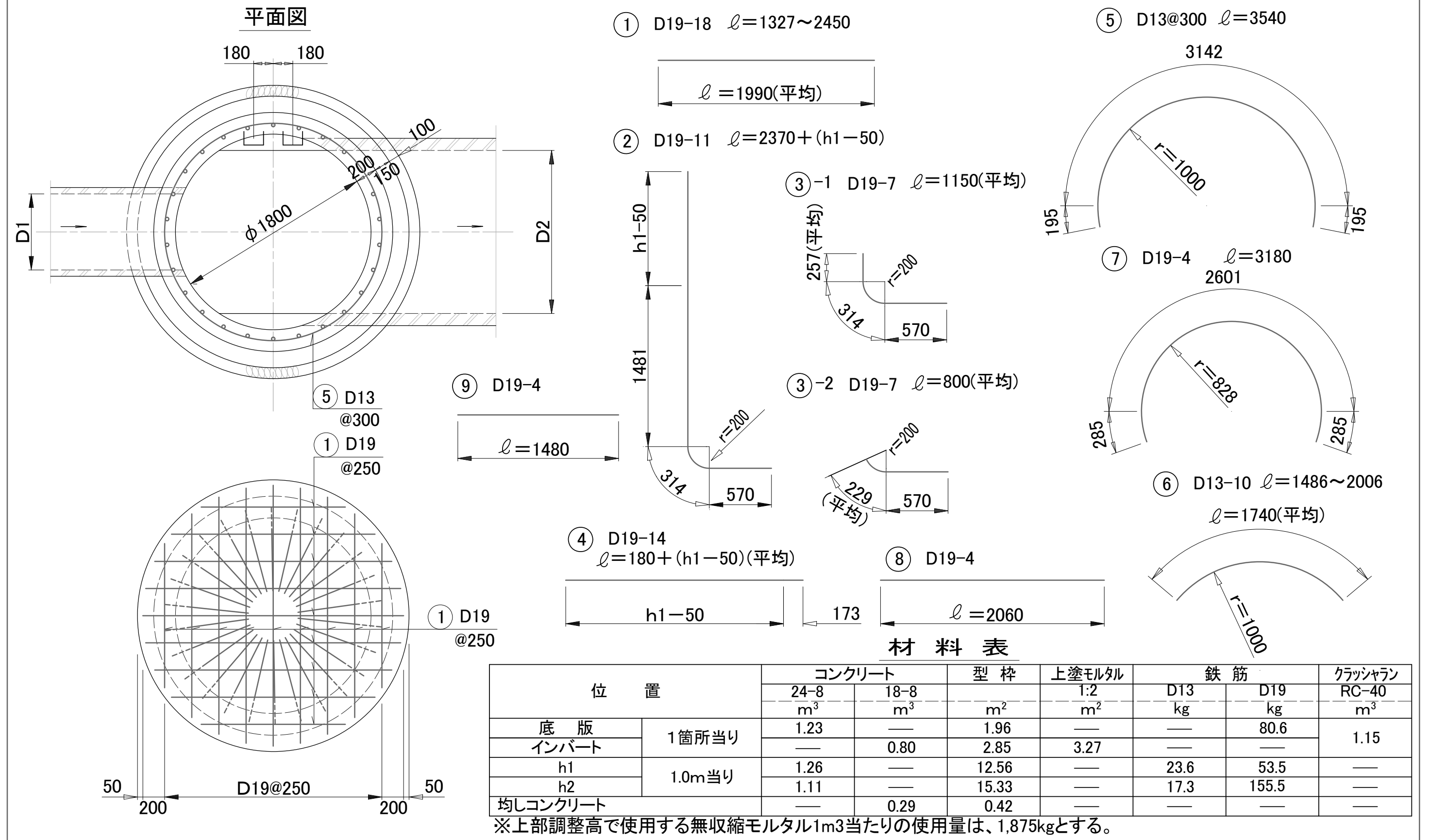
第3種人孔構造図(2)



特記事項
 足掛金物とインバート上部との間隔が40cm以内の場合、足掛金物は設けなくてよい。
 h3(インバート高さ)は下流管管径の1/2かつ500mm以内とする。
 ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第4種人孔構造図(1)

参考図2-7

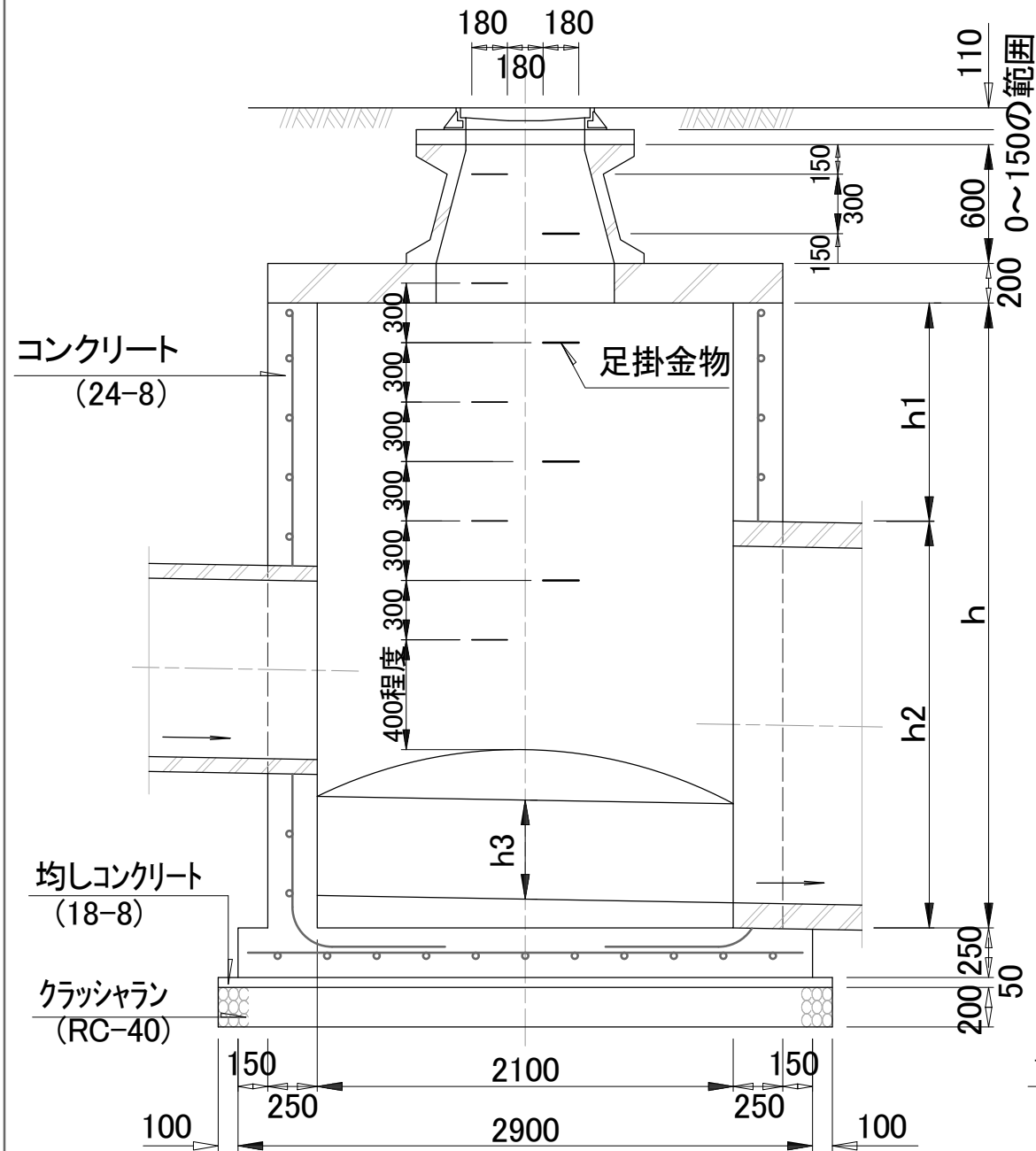


特記事項

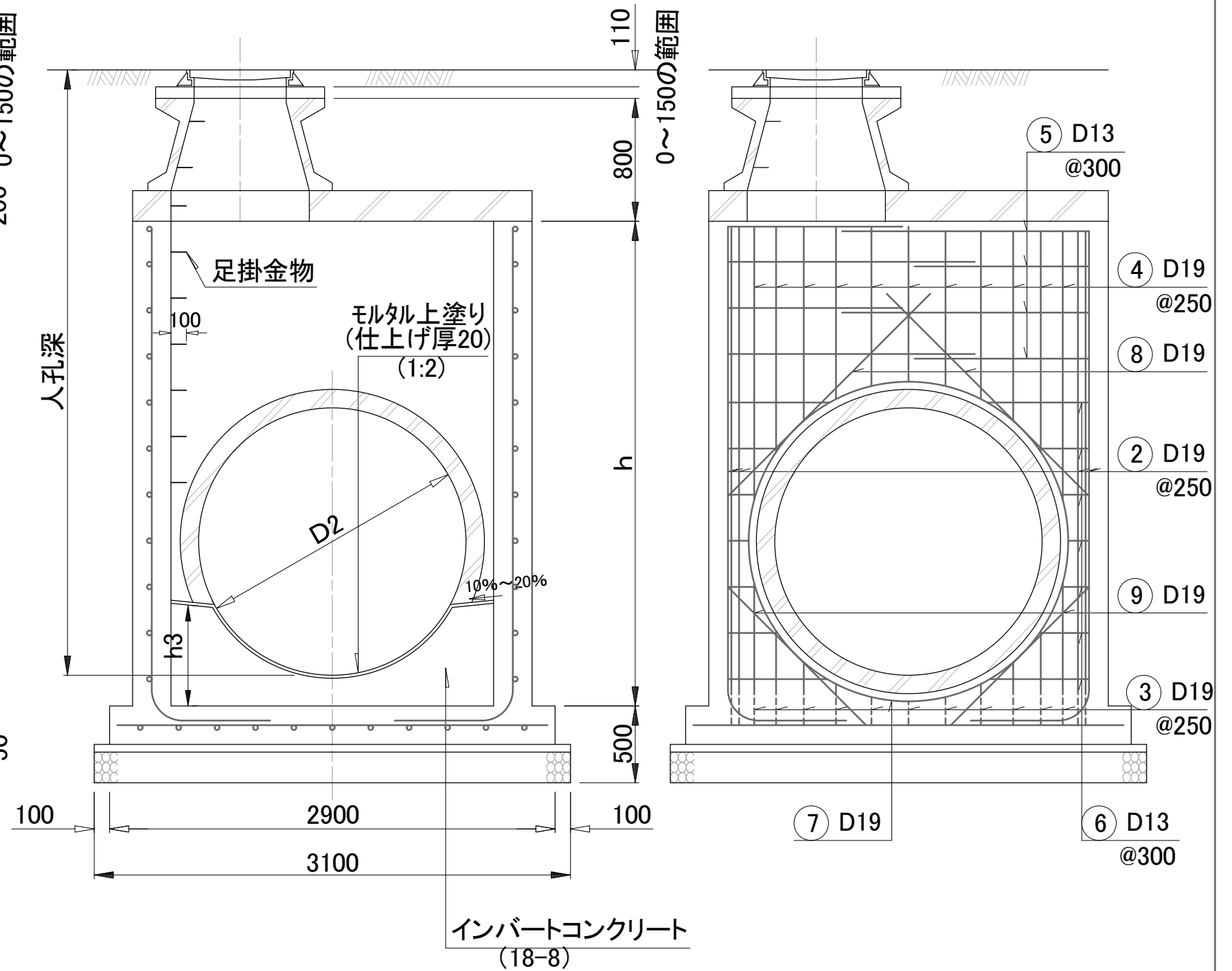
- ・材料表は、 $\phi 1350$ mmの場合とする。
- ・コンクリート量は管の部分を除いた量とする。
- ・底板の鉄筋量は①のみとし、それ以外はh1、h2とする。
- ・無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。
- ・ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第4種人孔構造図(2)

縦断面図



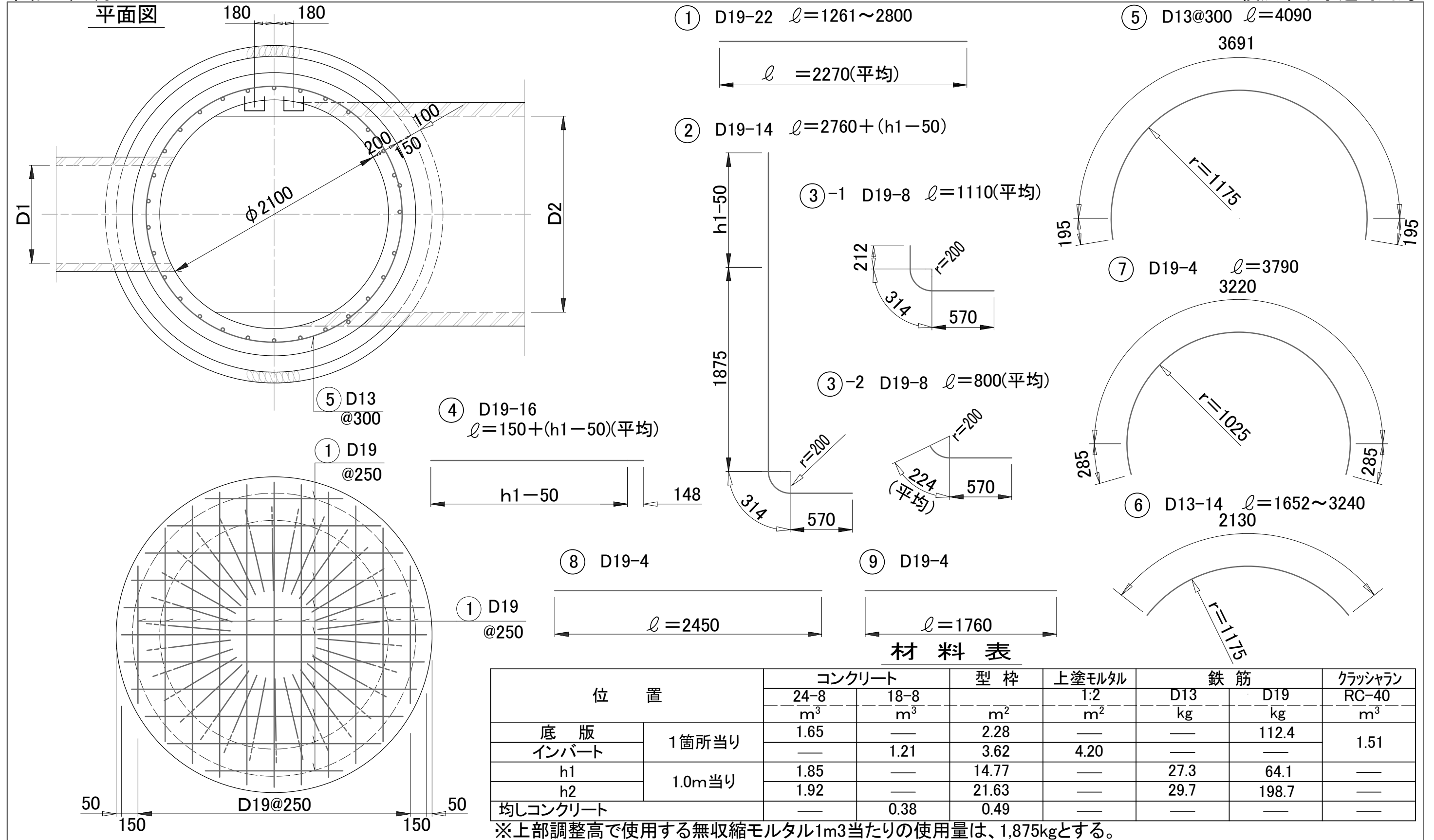
横断面図



特記事項

足掛金物とインバート上部との間隔が40cm以内の場合、足掛金物は設けなくてよい。
 h3(インバート高さ)は下流管管径の1/2かつ500mm以内とする。
 ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第5種人孔構造図(1)

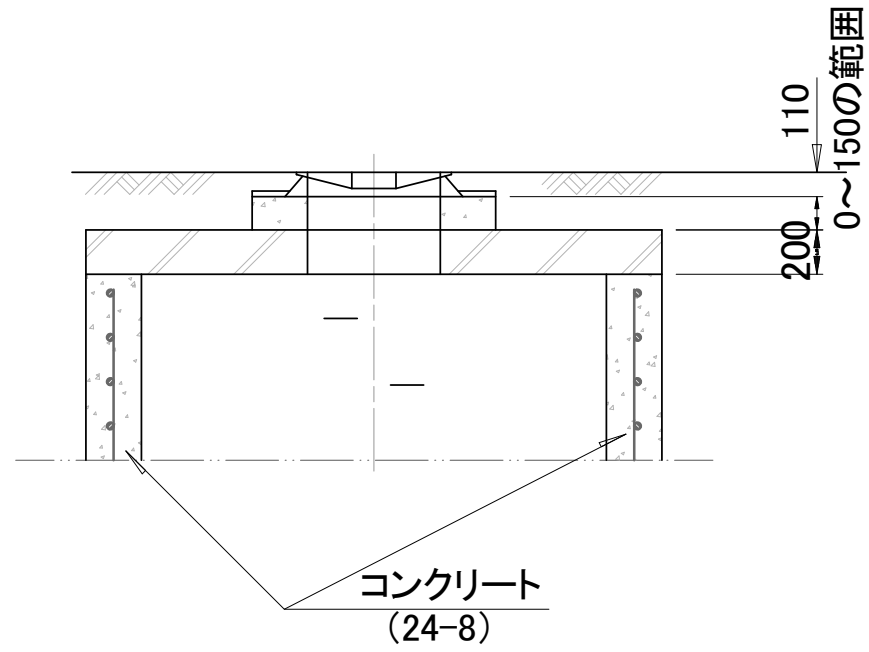


特記事項

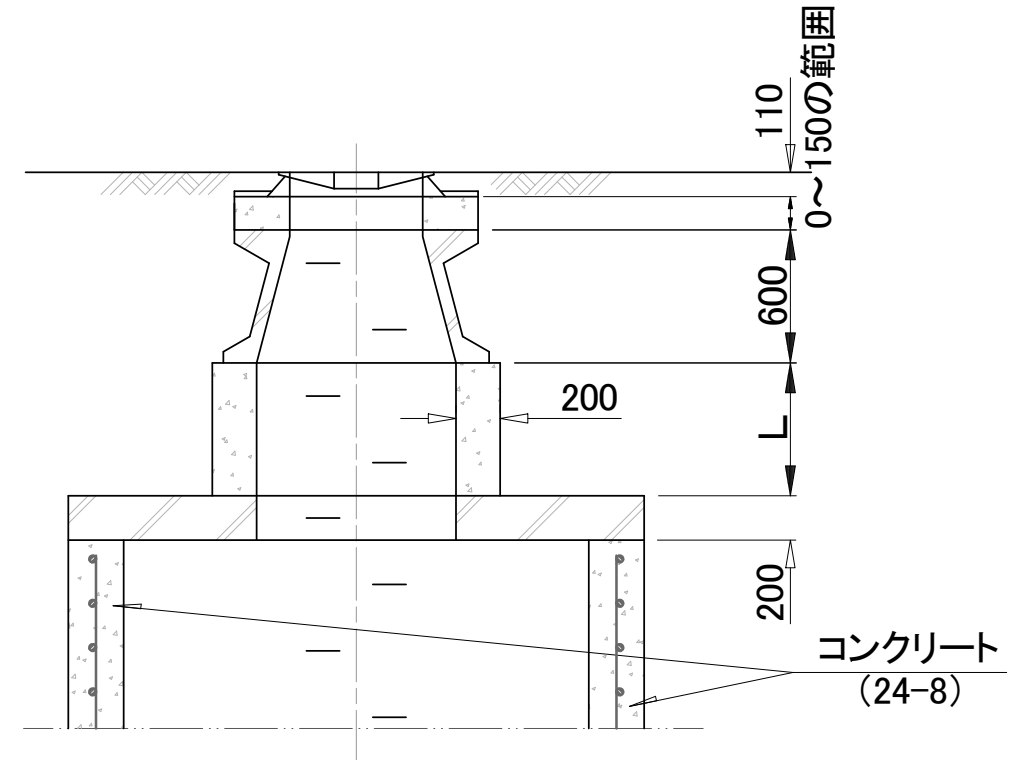
- ・材料表は、φ1650mmの場合とする。
- ・コンクリート量は管の部分を控除した量とする。
- ・底板の鉄筋量は①のみとし、それ以外はh1、h2とする。
- ・無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。
- ・ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第5種人孔構造図(2)

第1種B型～第5種B型人孔



第2種C型～第5種C型人孔



材料表

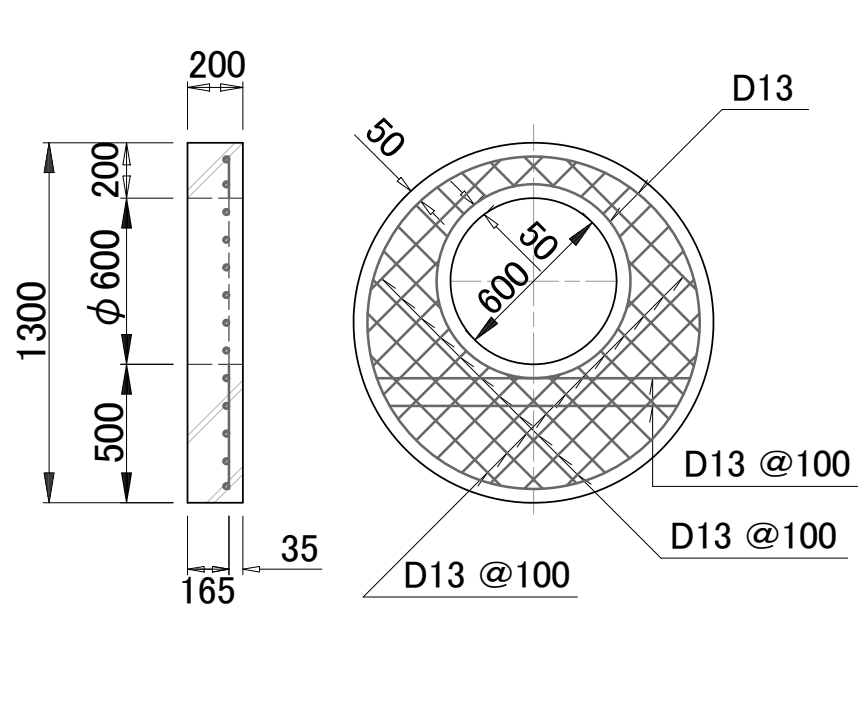
(L部1.0m当り)

種類	材料	コンクリート 18-8 (m ³ /m)	型枠 (m ² /m)
	第2種C型～第5種C型人孔		0.69

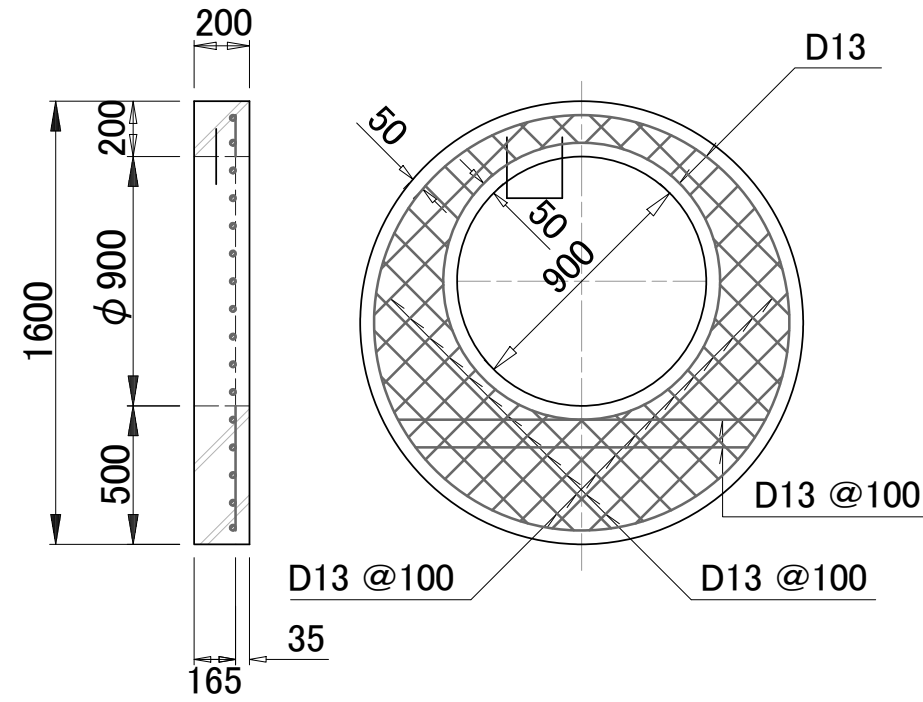
特記事項

B型・C型人孔構造図

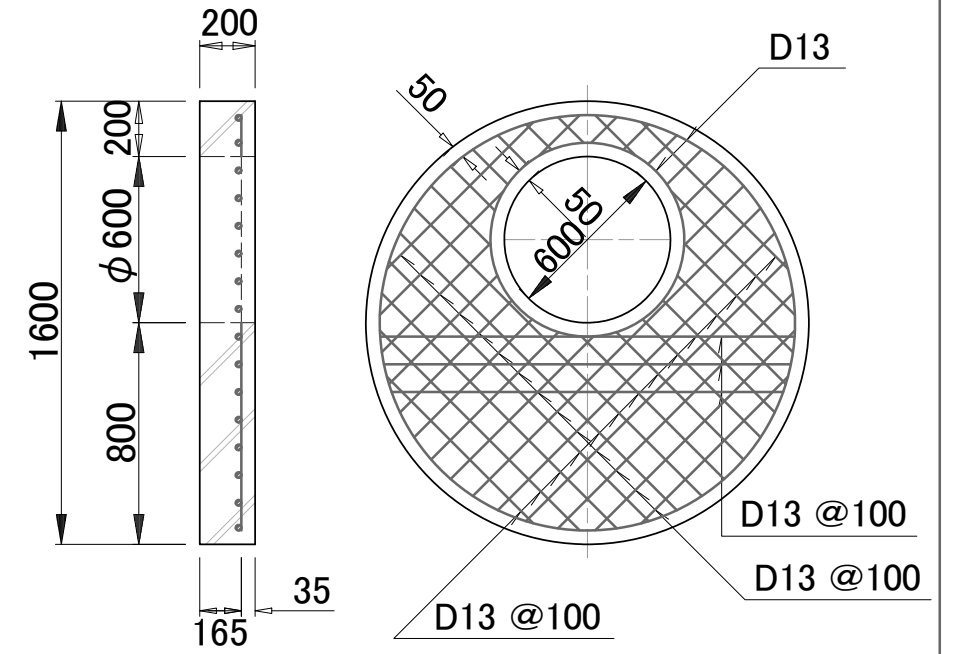
第1種B型



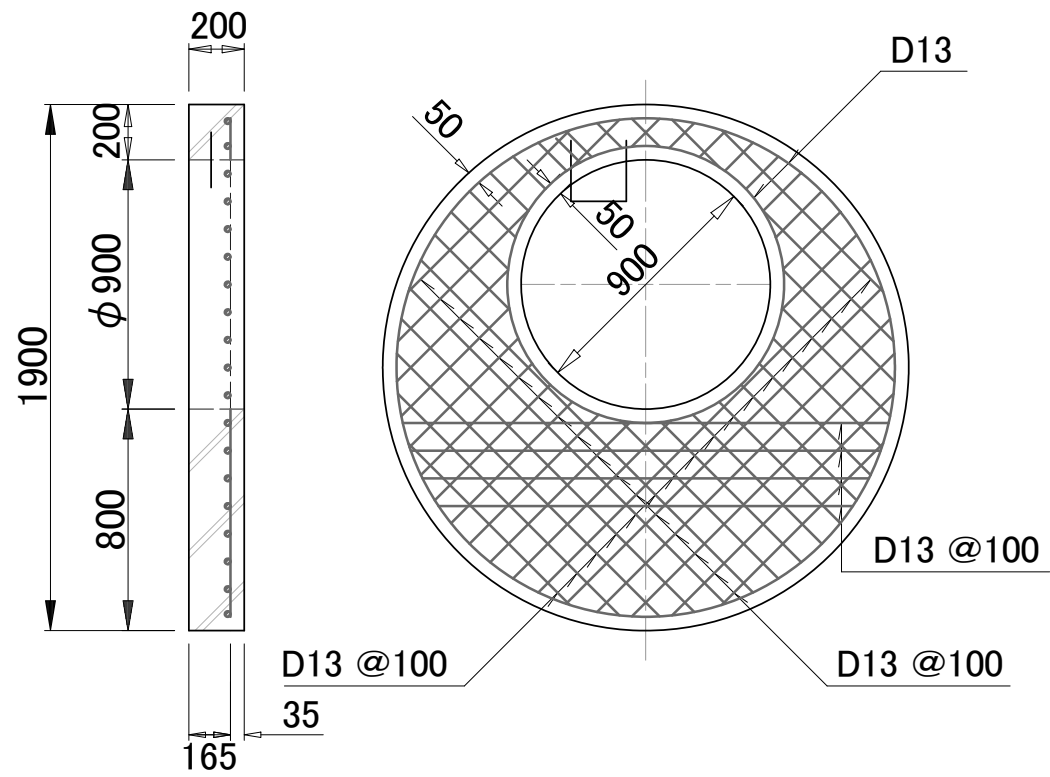
第2種



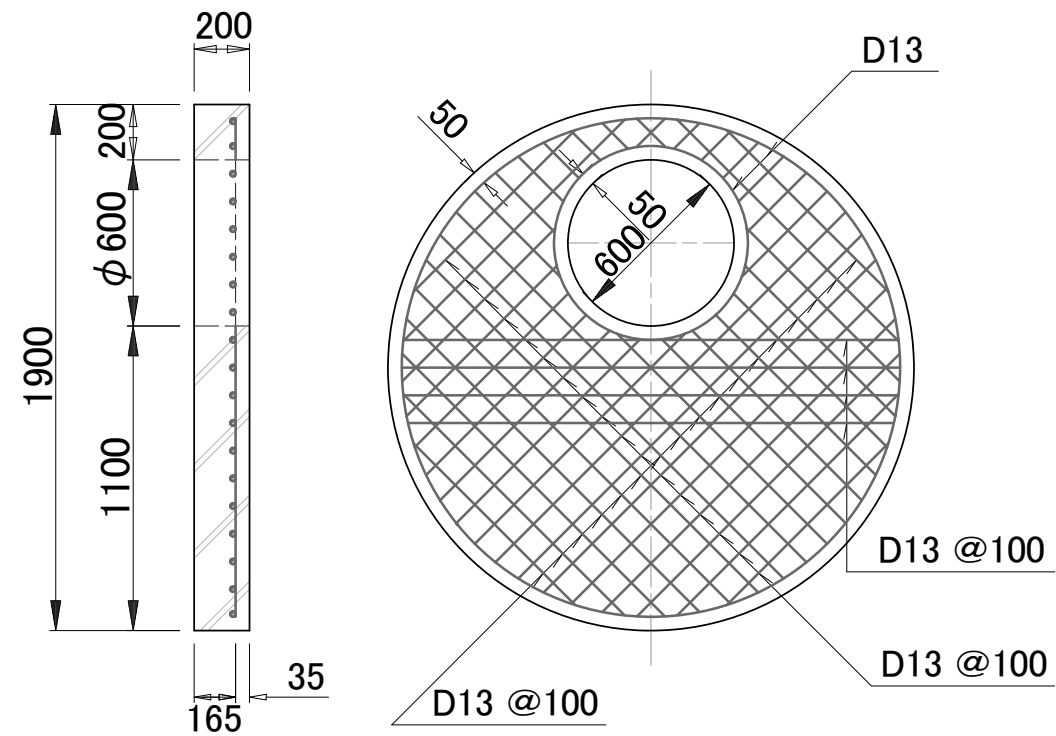
第2種B型



第3種

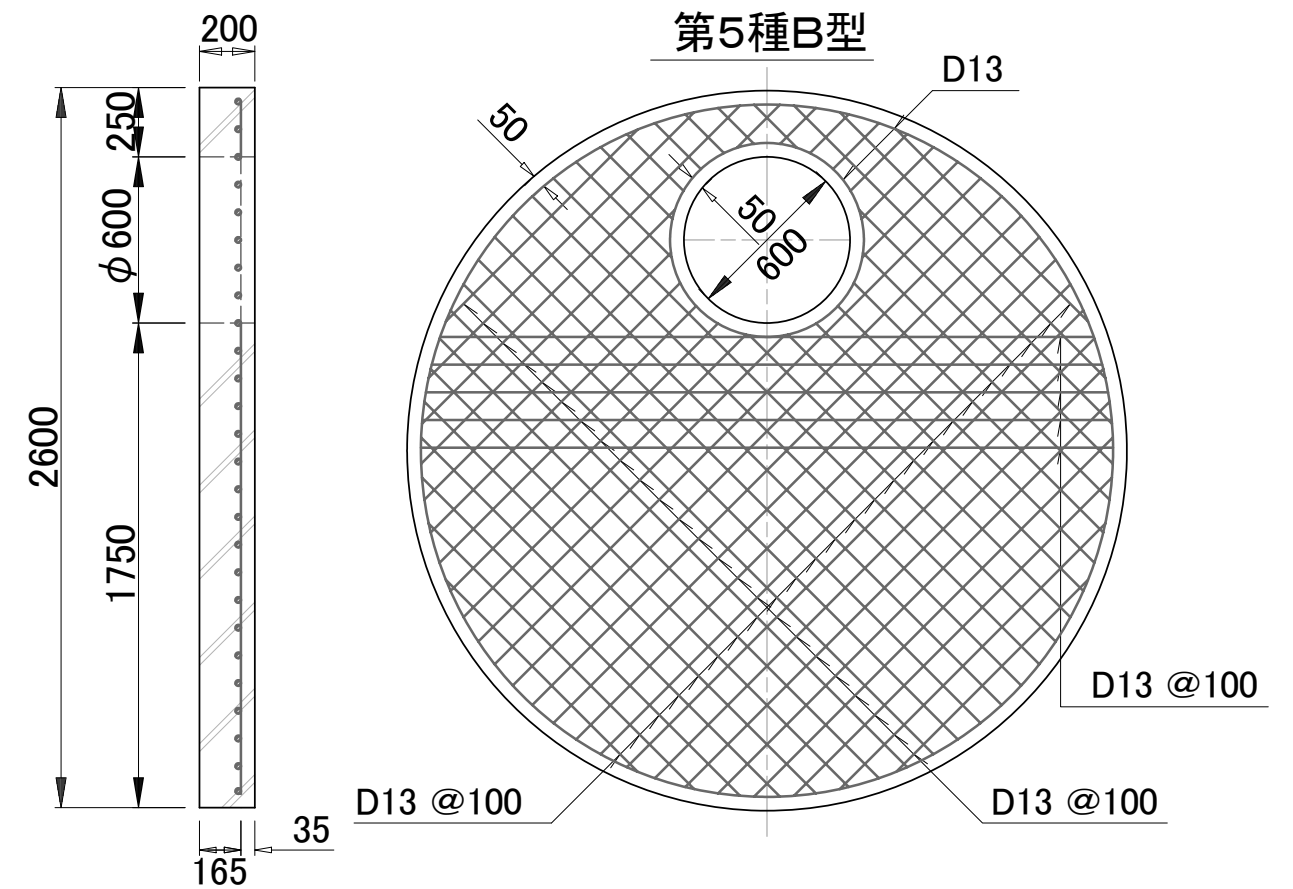
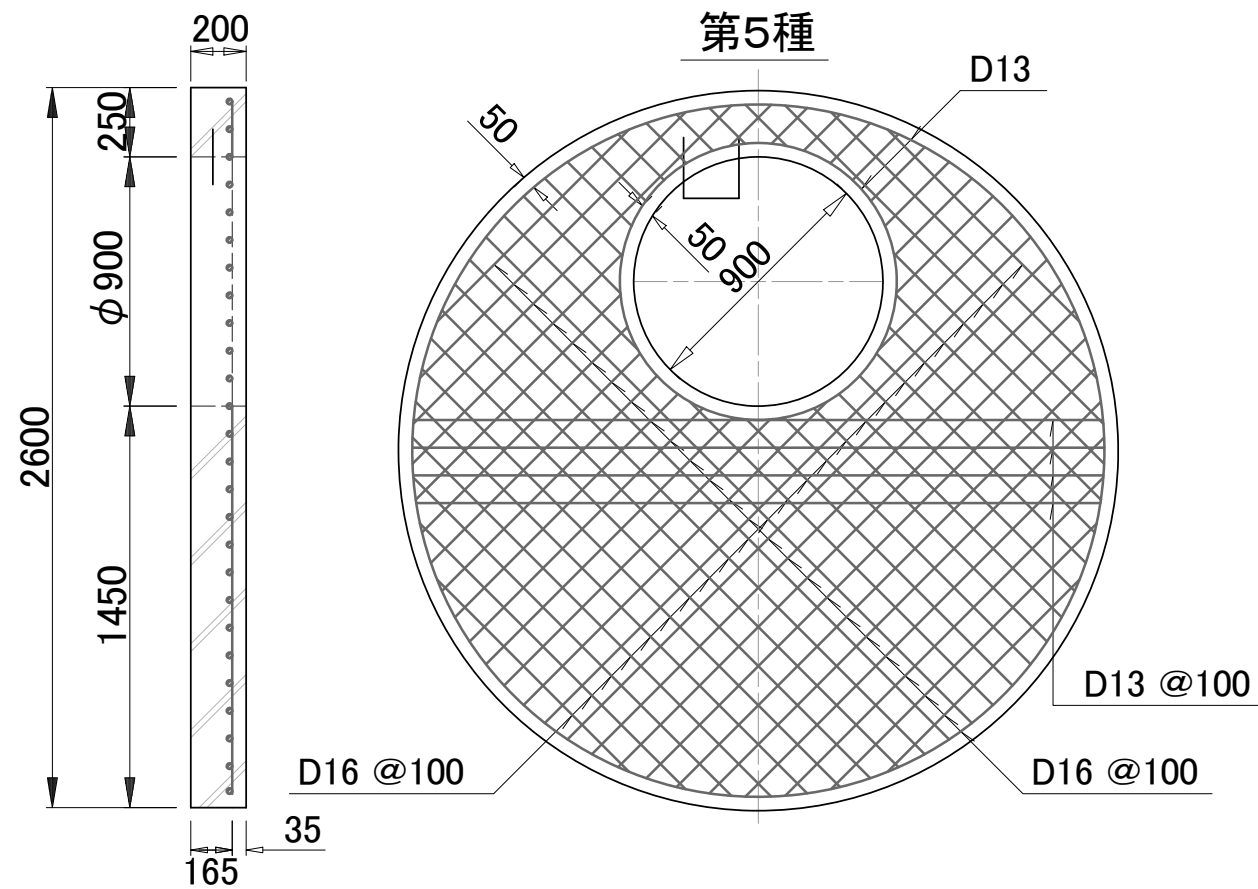
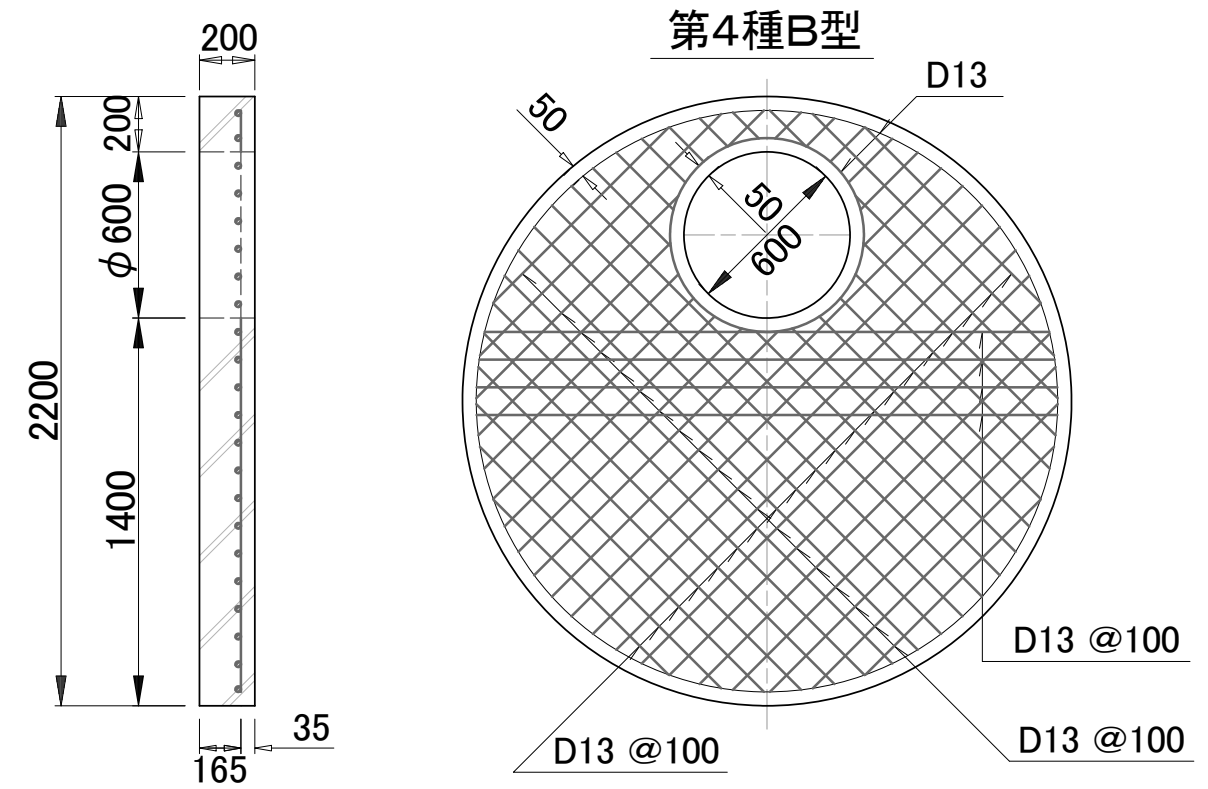
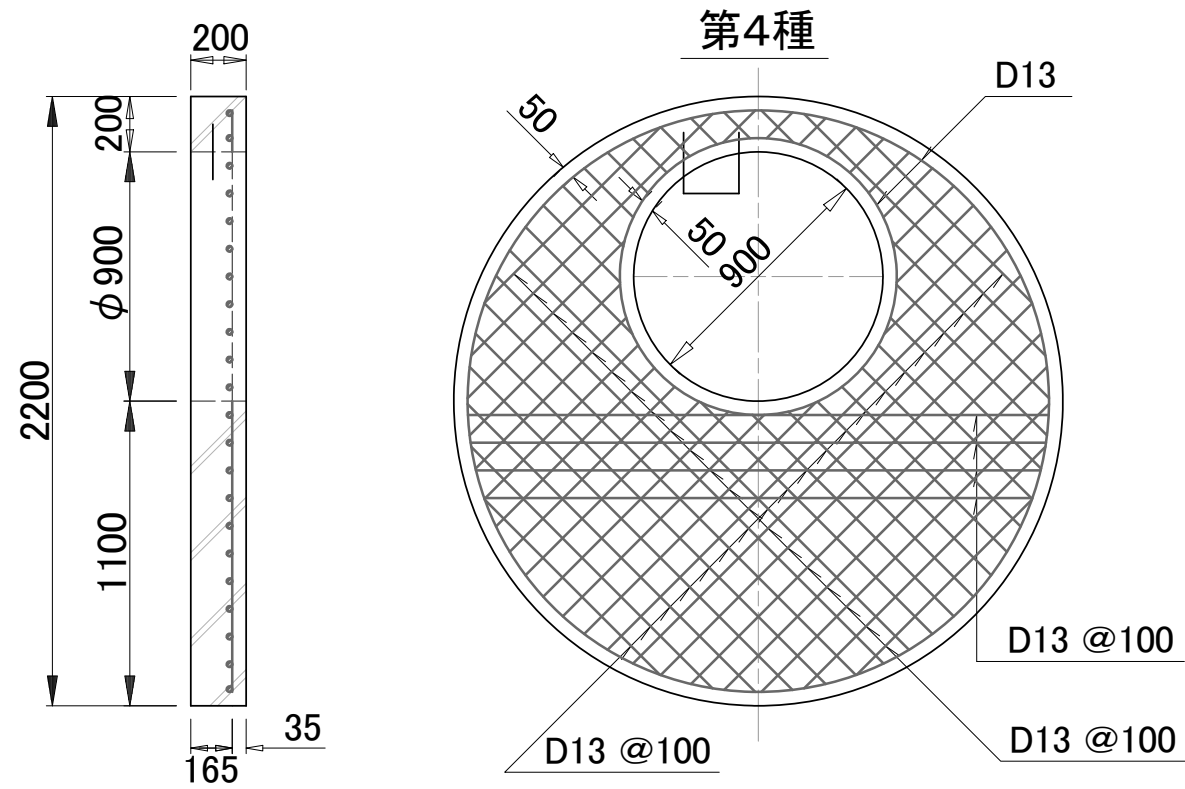


第3種B型



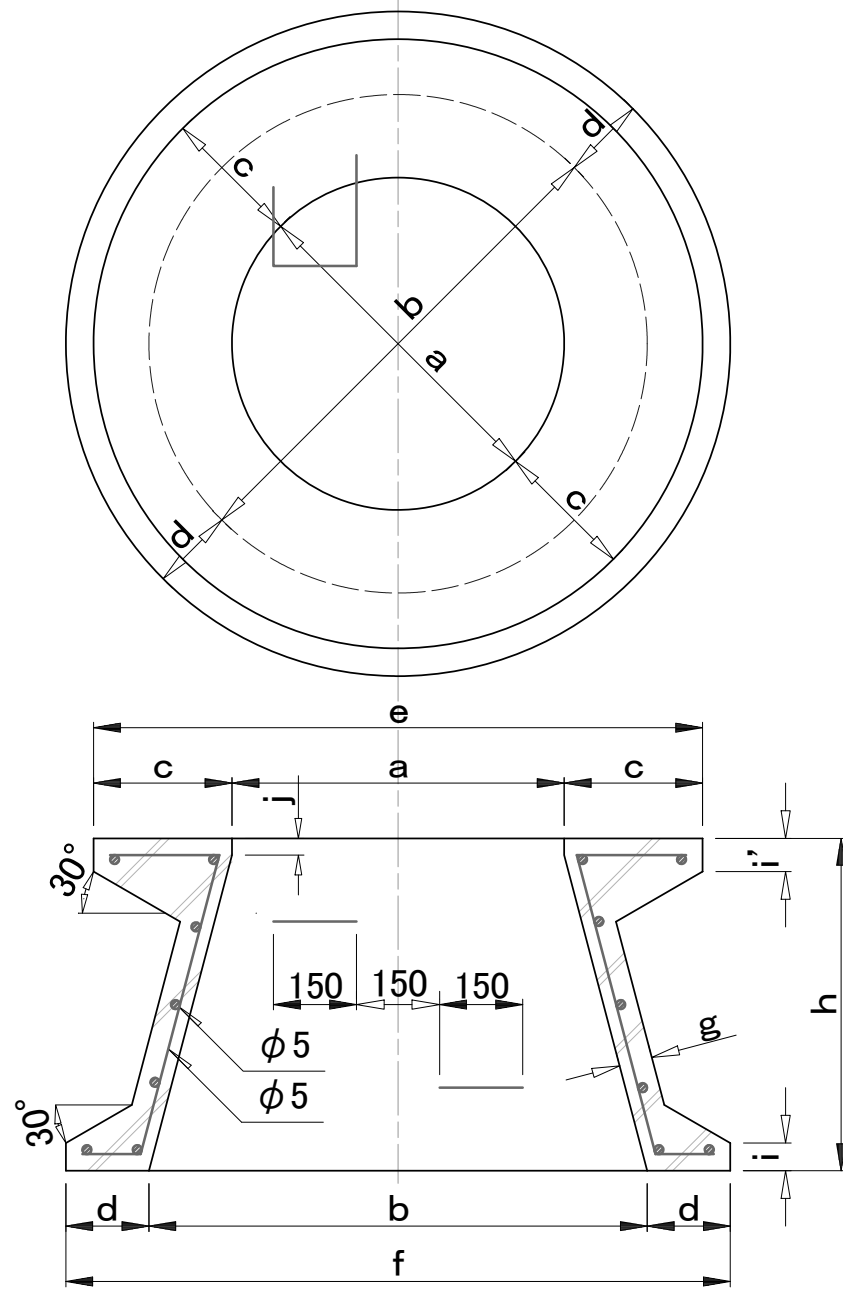
特記事項

人孔頂版構造詳細及び配筋図(1)



特記事項

人孔頂版構造詳細及び配筋図(2)



寸法および材料表

種 別	寸 法 (mm)											配 筋			
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	i'	j	らせん鉄筋		縦鉄筋	
												径(mm)	巻数	径(mm)	数
600A	600	900	250	150	1100	1200	60	300	50	60	30	5.0	6	5.0	20
600B	600	900	250	150	1100	1200	60	450	50	60	30	5.0	7	5.0	20
600C	600	900	250	150	1100	1200	60	600	50	60	30	5.0	9	5.0	20

特記事項

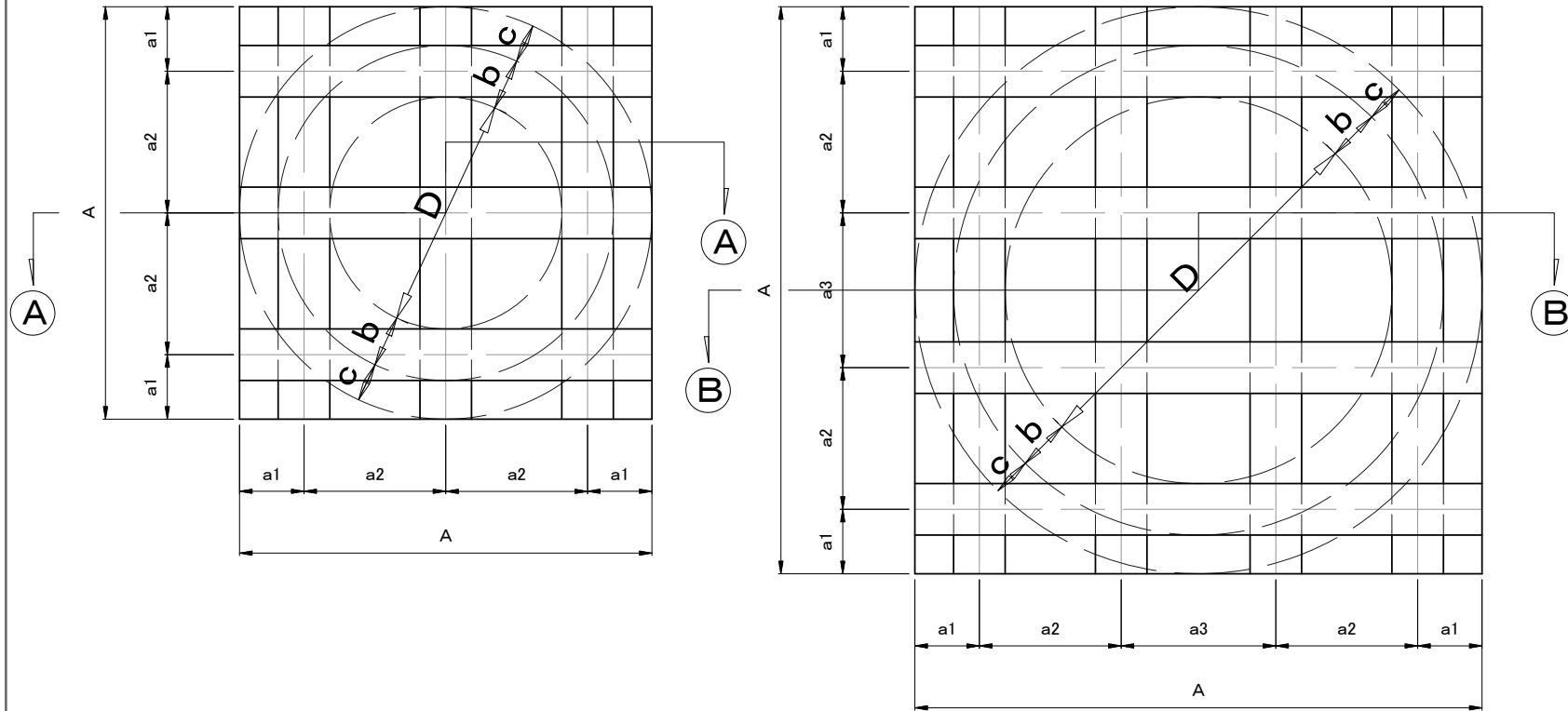
人孔側塊構造図
(JIS A 5372)

第1種, 第2種人孔

第3種~第5種人孔

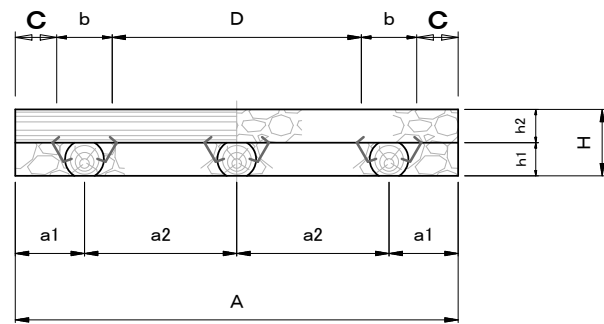
寸法表

(単位: mm)

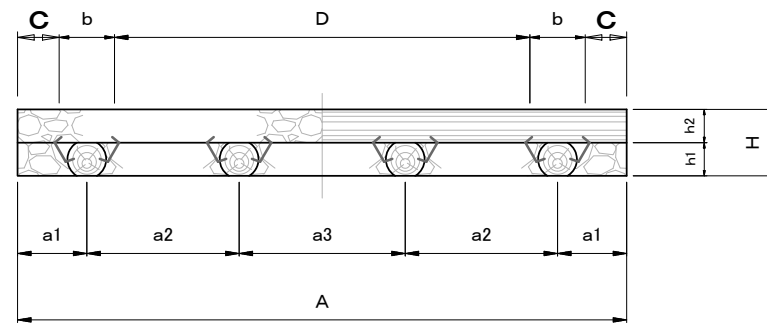


種別	第1種	第2種	第3種	第4種	第5種
D	900	1200	1500	1800	2100
b	200	200	200	200	250
c	150	150	150	150	150
A	1600	1900	2200	2500	2900
a1	250	250	250	250	250
a2	550	700	550	660	800
a3	---	---	600	680	800
H	240	240	240	240	240
h1	120	120	120	120	120
h2	120	120	120	120	120

Ⓐ-Ⓐ断面



Ⓑ-Ⓑ断面



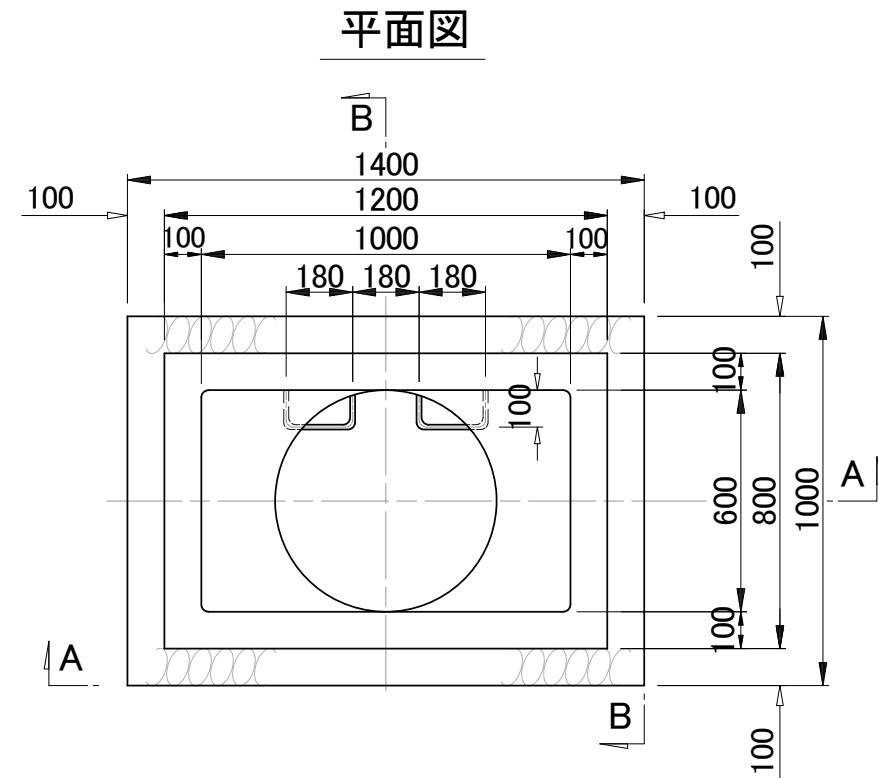
材料表

種別	第1種	第2種	第3種	第4種	第5種
井桁 (m ³)	0.31	0.37	0.57	0.65	0.75
かすがい φ12,L=180 (個)	18	18	32	32	32
クラッシュラン (RC-40) (m ³)	0.30	0.50	0.59	0.85	1.27

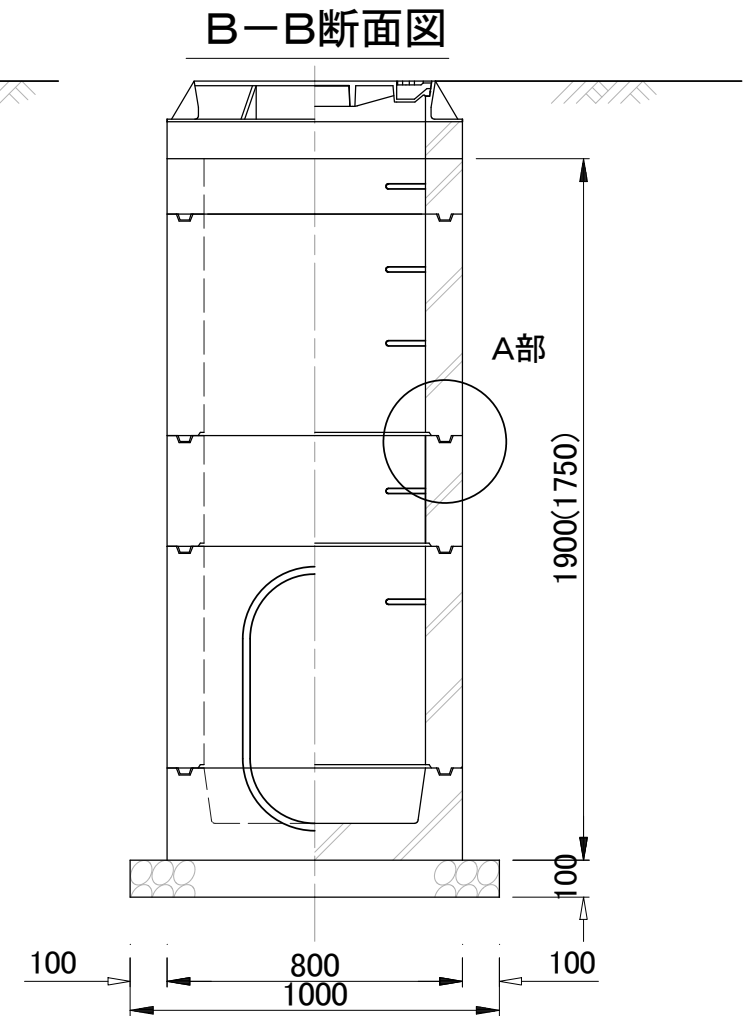
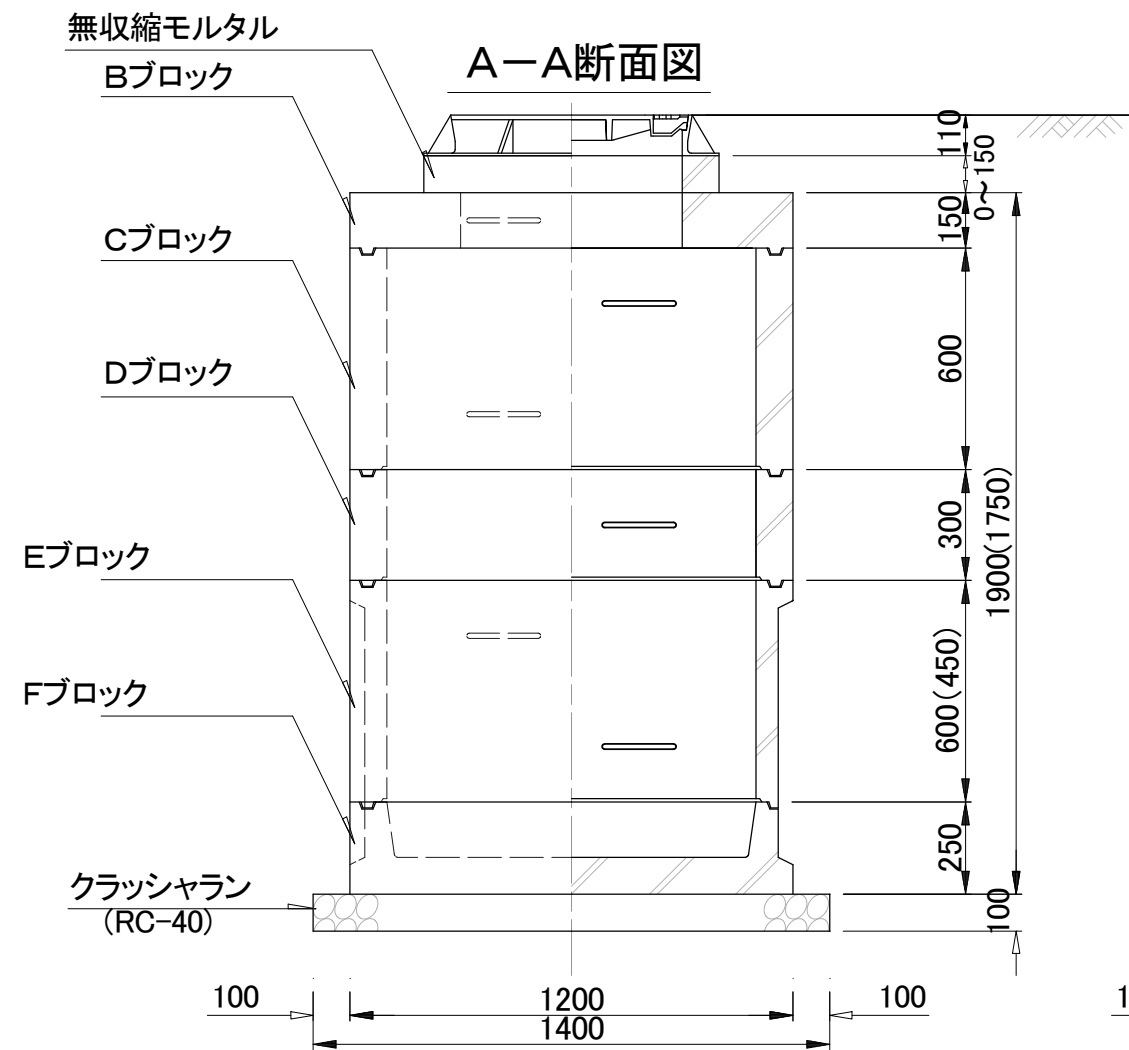
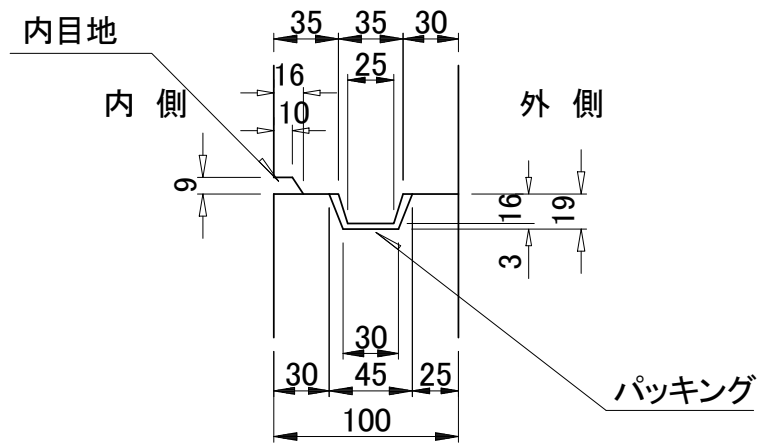
特記事項

組立人孔については別途考慮すること。
はしご胴木基礎の延長として使用する。

人孔井桁基礎構造図



A部ジョイント詳細図

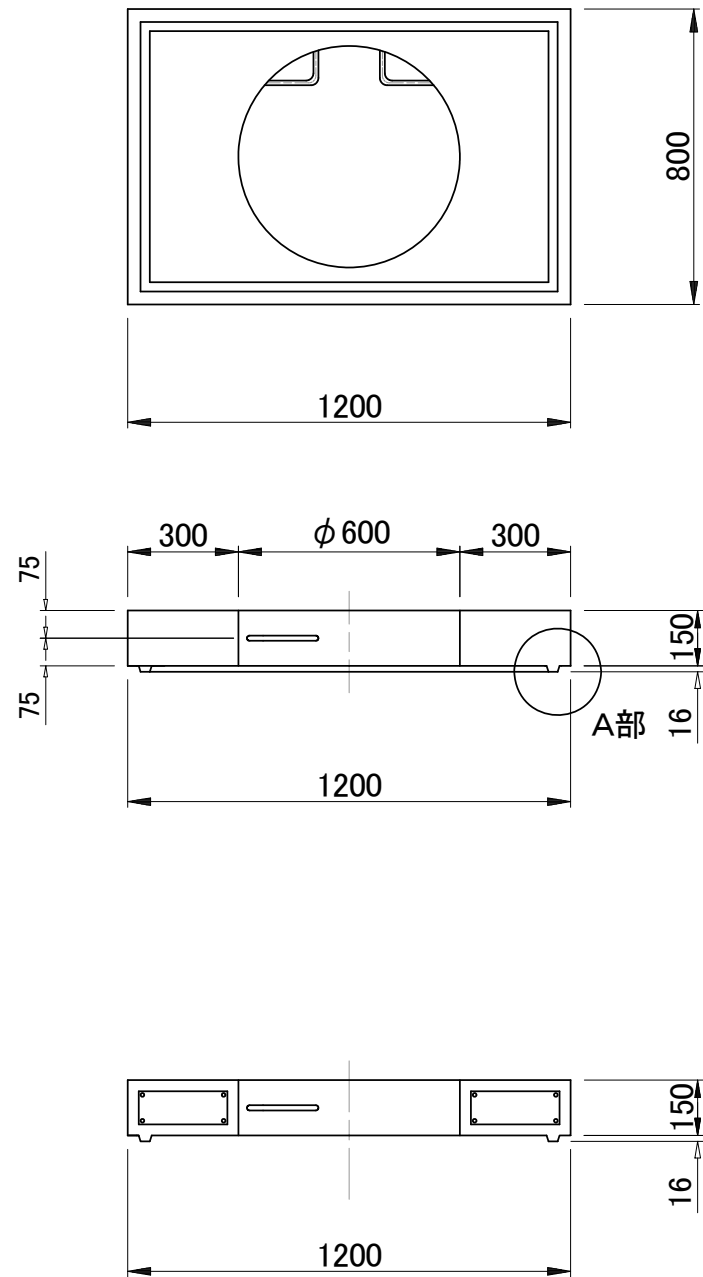


特記事項

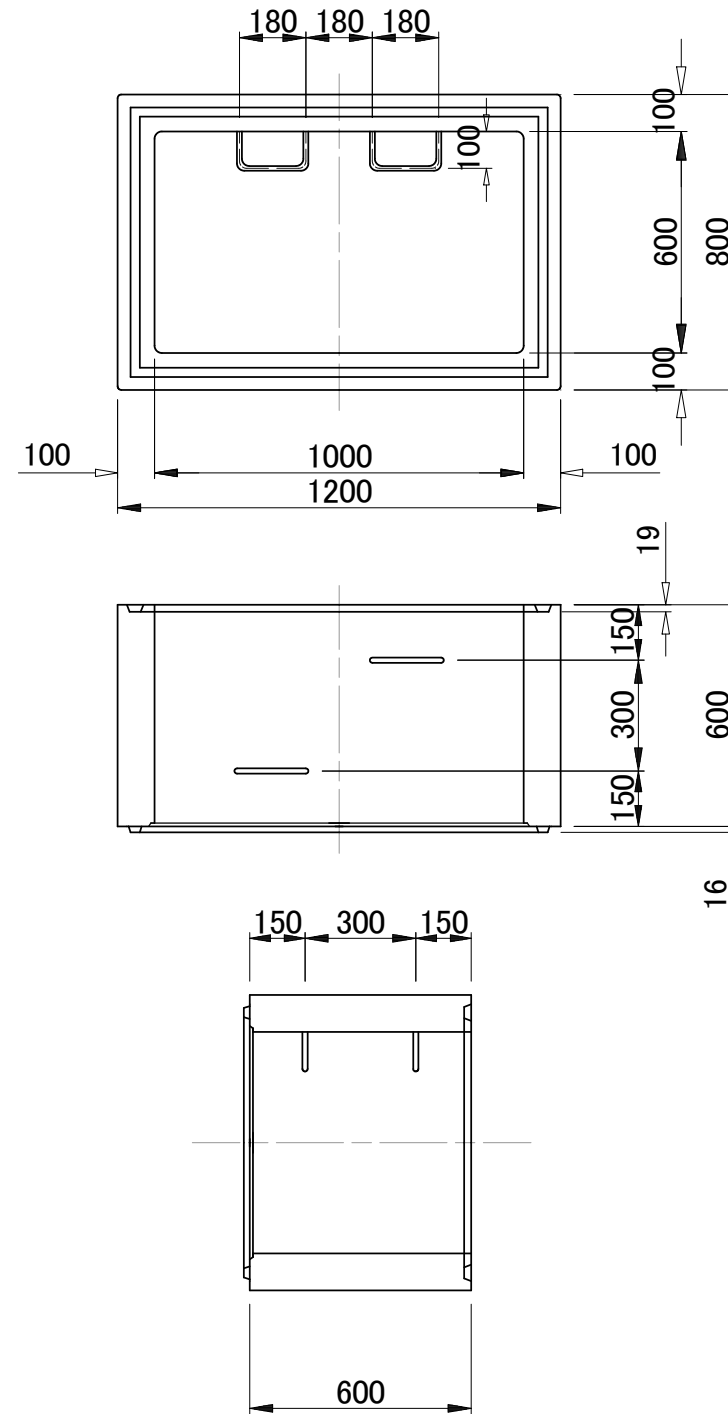
無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。

角型組立人孔構造図
(1000mm × 600mm) (1)

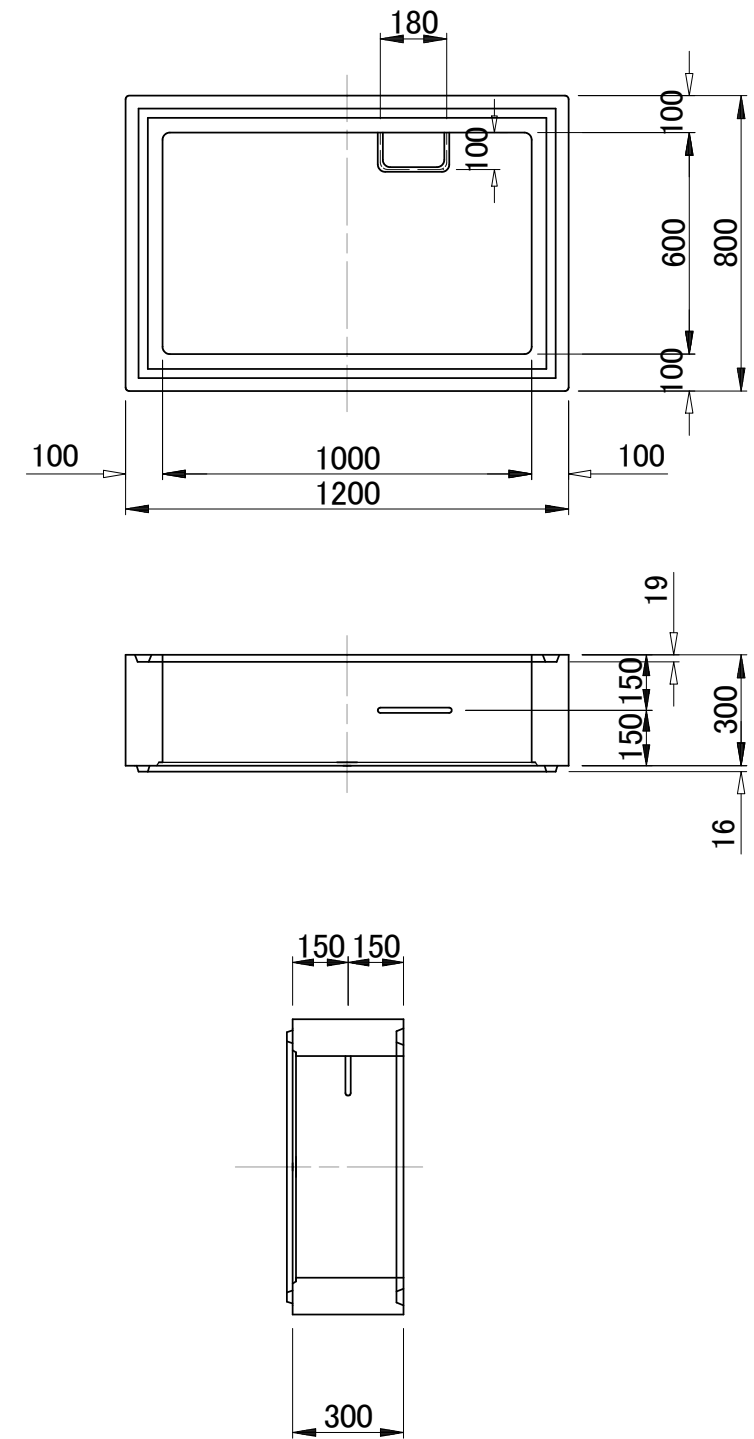
Bブロック構造図



Cブロック構造図



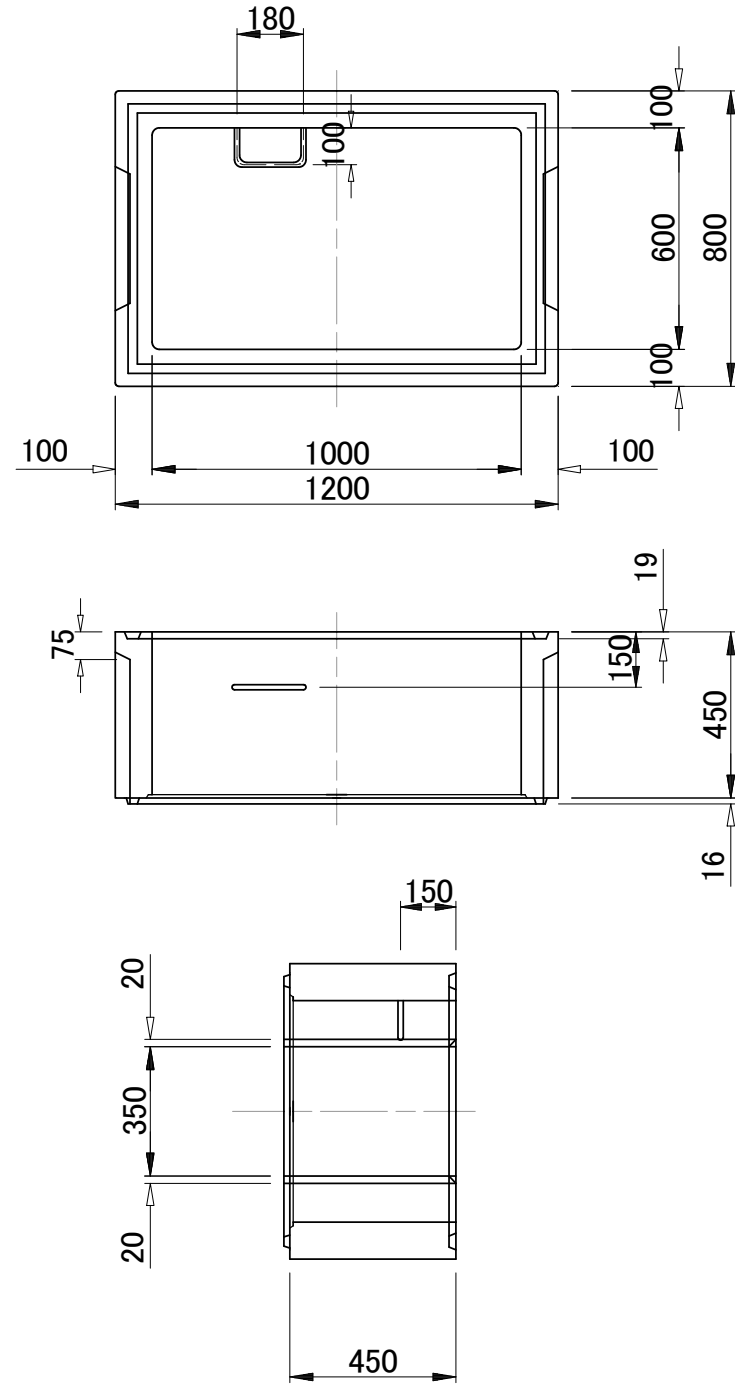
Dブロック構造図



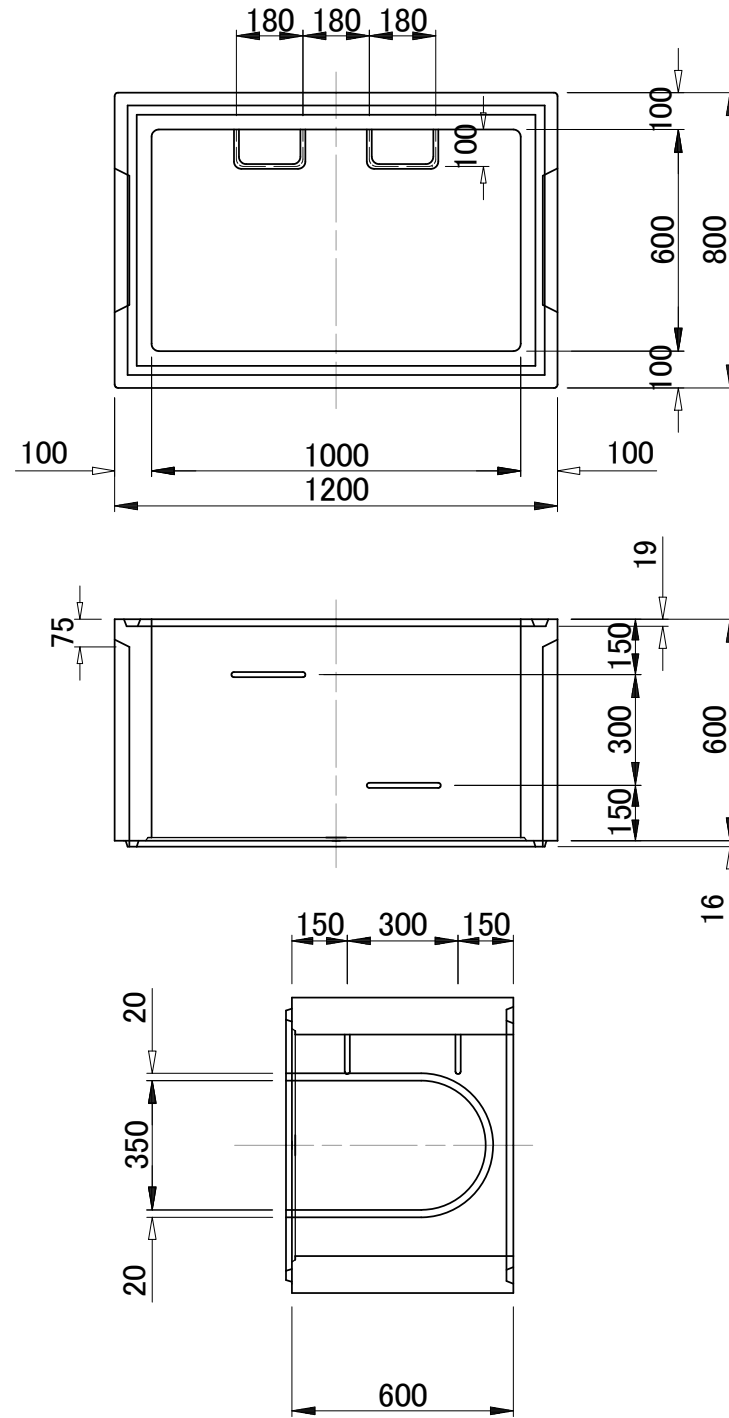
特記事項

角型組立人孔構造図
(1000mm × 600mm) (2)

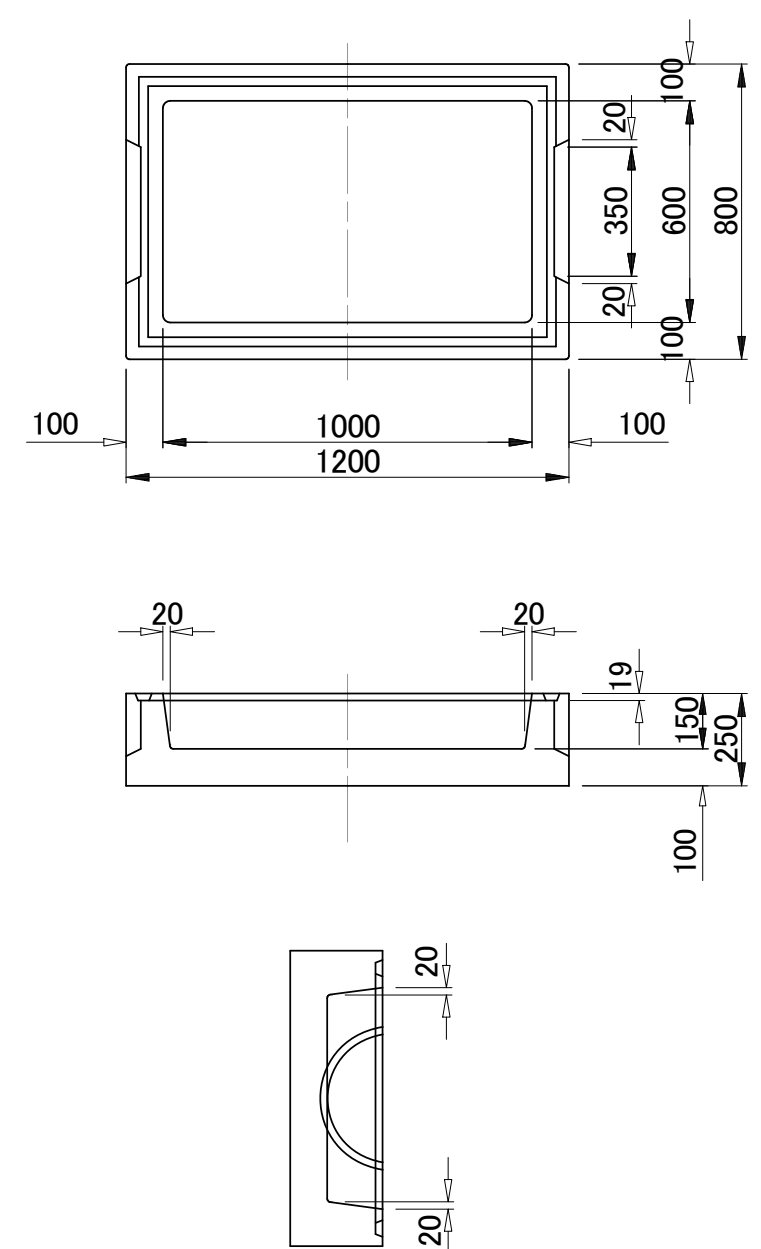
Eブロック構造図 H=450



Eブロック構造図 H=600

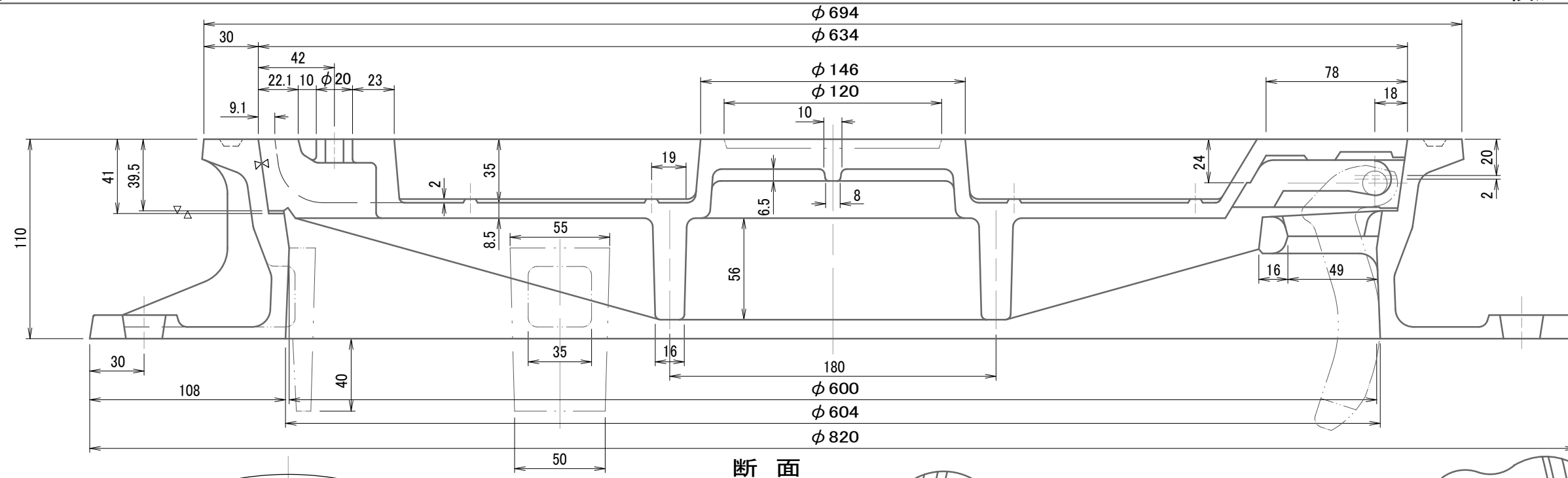


Fブロック構造図

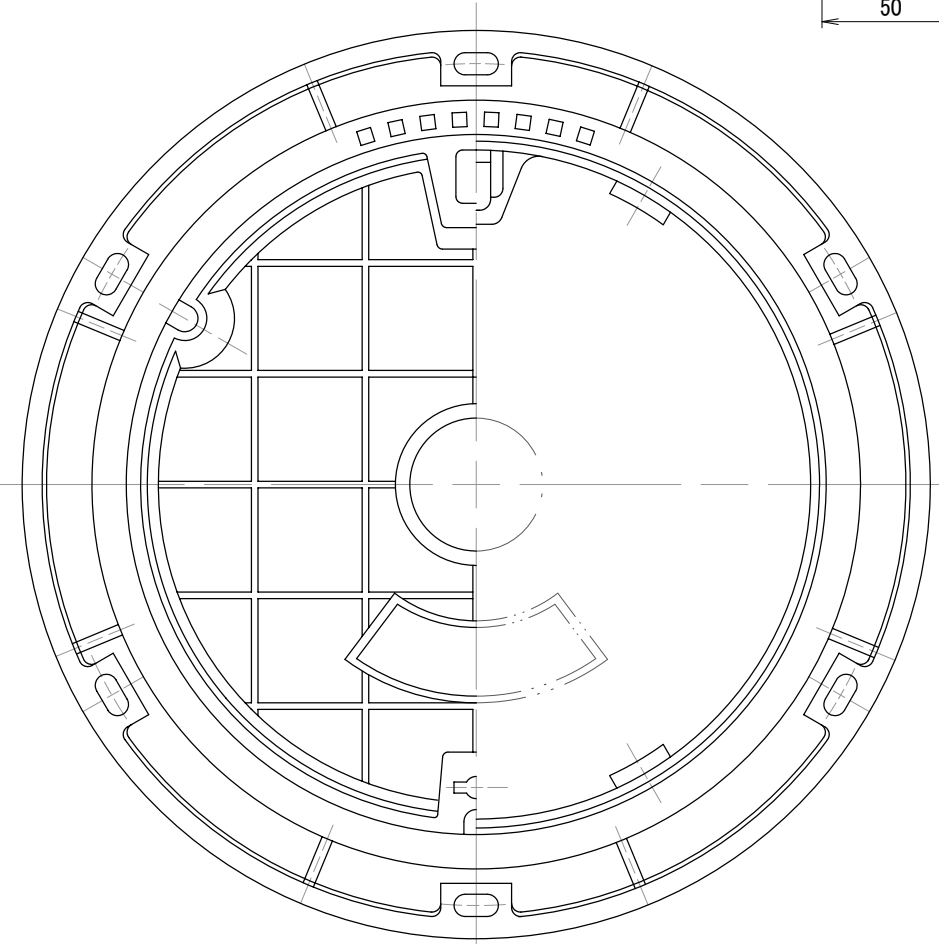


特記事項

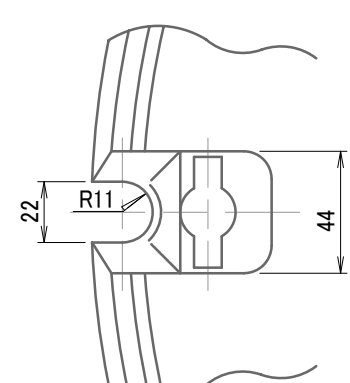
角型組立人孔構造図
(1000mm × 600mm) (3)



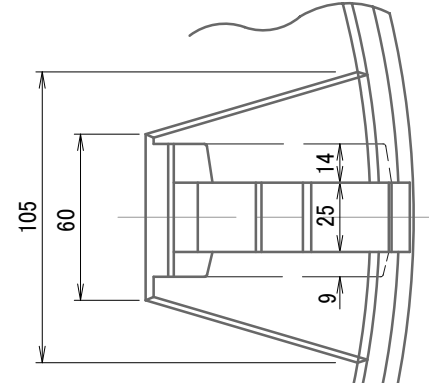
断面



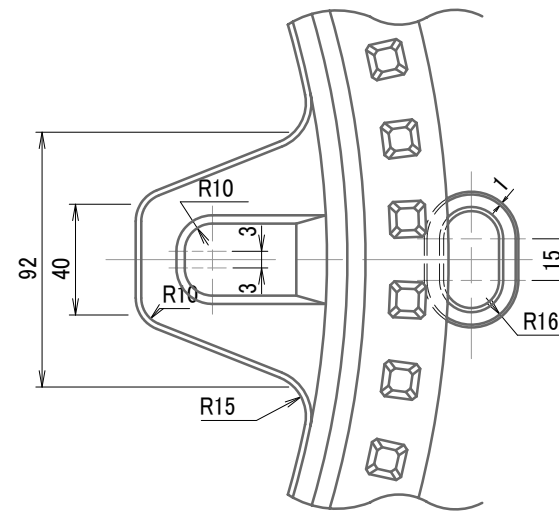
平面



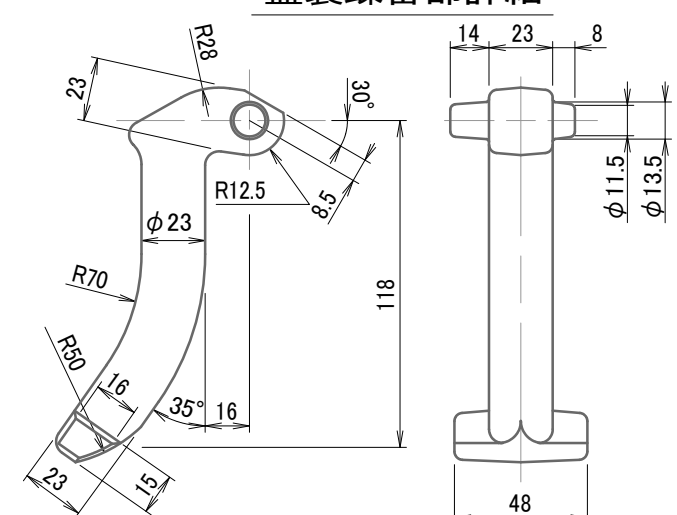
蓋裏ボール穴鍵穴部詳細



蓋裏蝶番部詳細



受枠蝶番部詳細

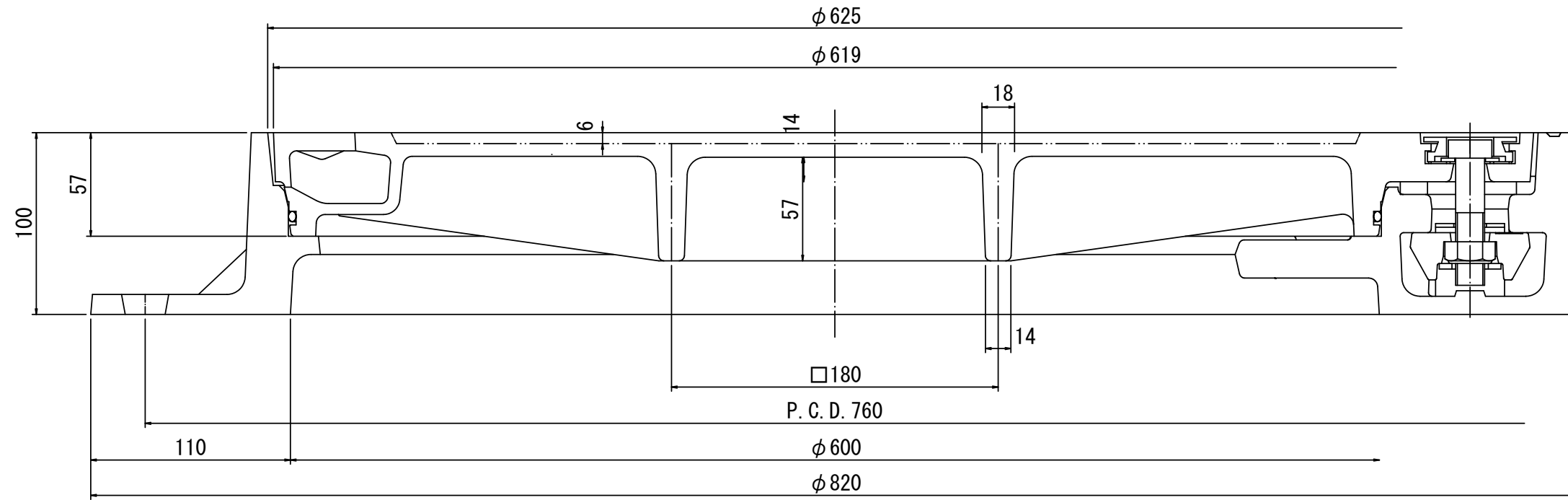


蝶番金物詳細

特記事項

材質	蓋FCD700 受枠FCD600
載荷重	T-14 i=0.4

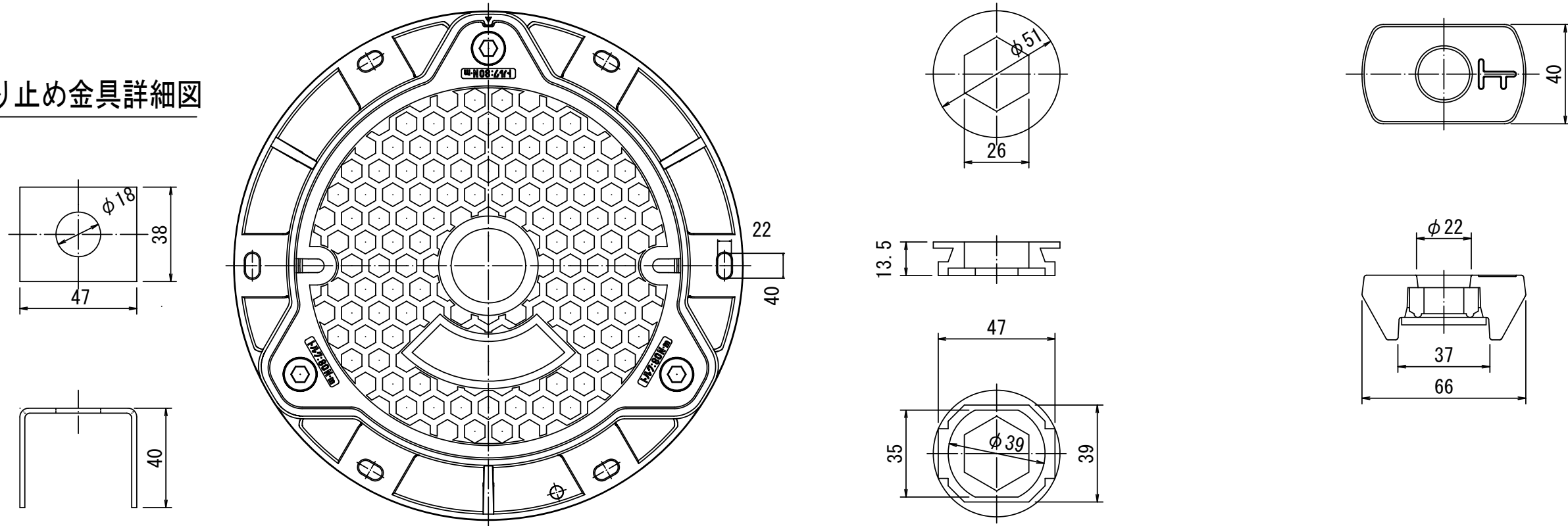
人孔ダクタイル蓋構造図
(φ600mm)カラー化粧用



ゴムキャップ詳細図

浮上り防止金具詳細図

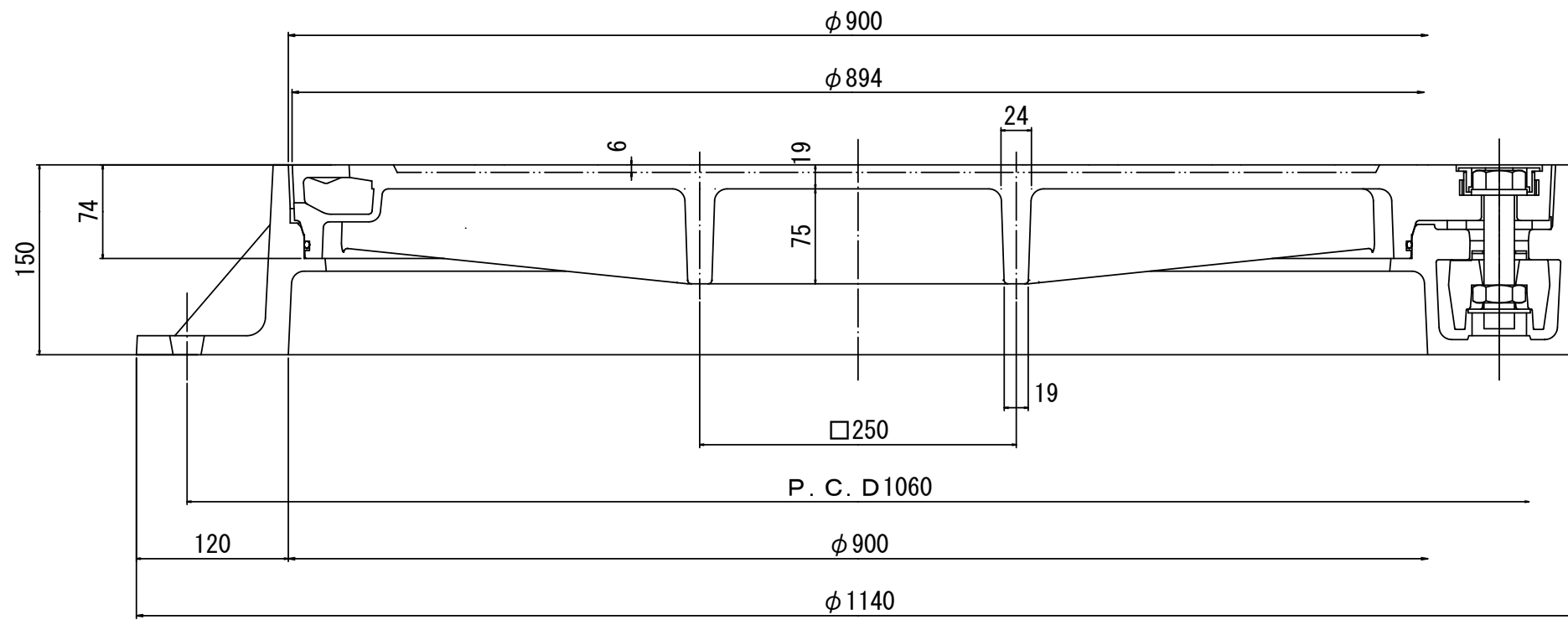
回り止め金具詳細図



特記事項

材質	蓋FCD700 受枠FCD600	内圧	0.4MPa (4.0kgf/cm ²)
載荷量	T-25 i=0.4	質量	109.7kg

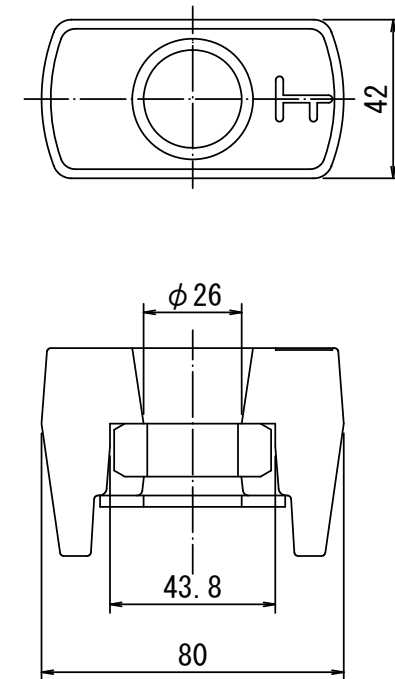
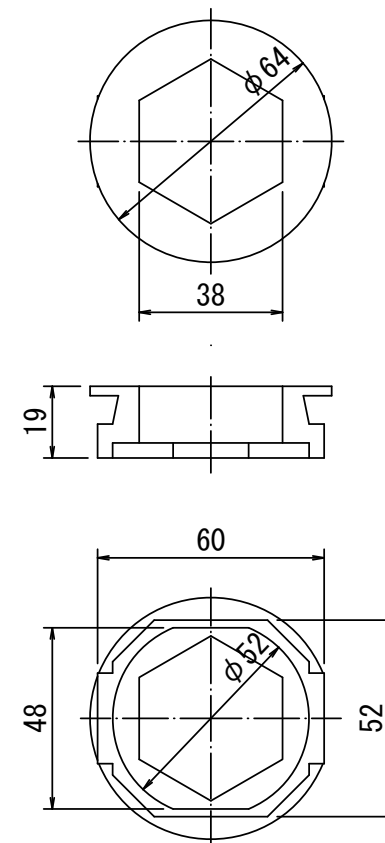
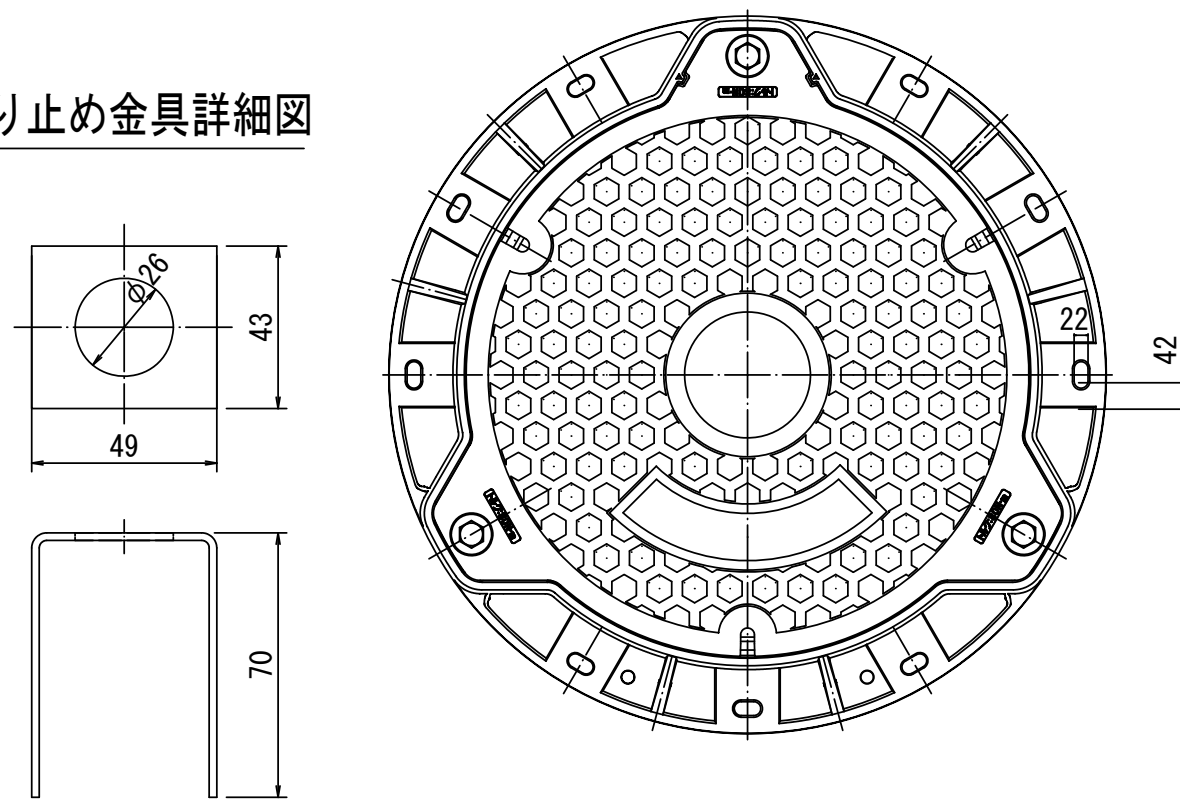
人孔グケタイル密閉蓋構造図
(φ600mm、4.0kg/cm²対応)



ゴムキャップ詳細図

浮上り防止金具詳細図

回り止め金具詳細図

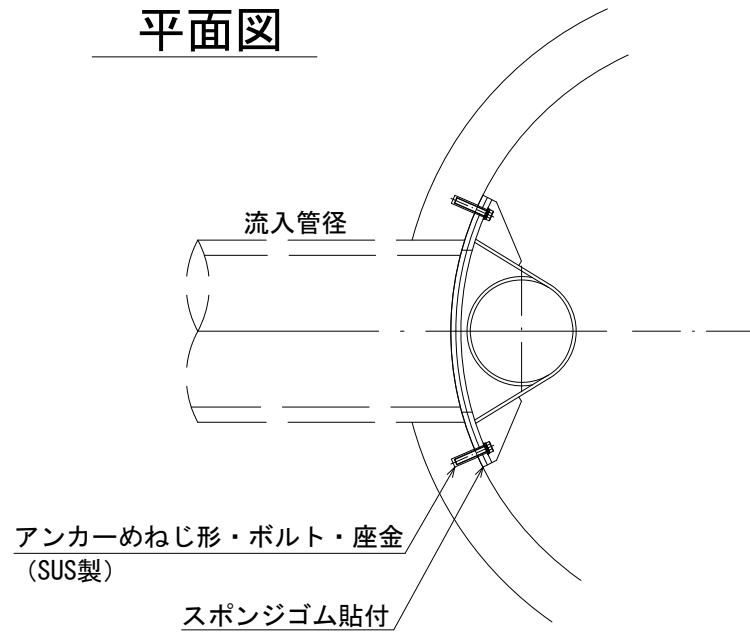


特記事項

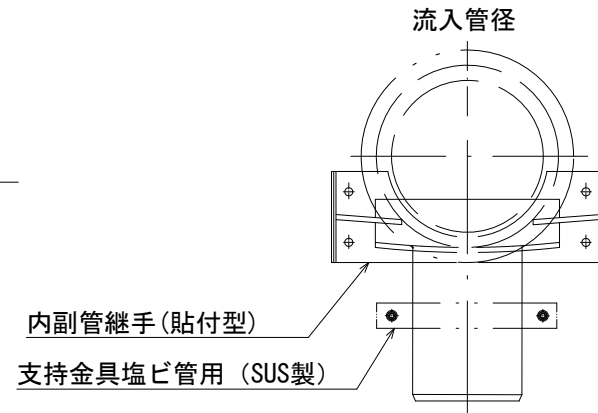
材質	蓋FCD700 受枠FCD600	内圧	0.4MPa (4.0kgf/cm ²)
載荷量	T-25 i=0.4	質量	271.4kg

人孔グクタイル密閉蓋構造図
(φ900mm、4.0kg/cm²対応)

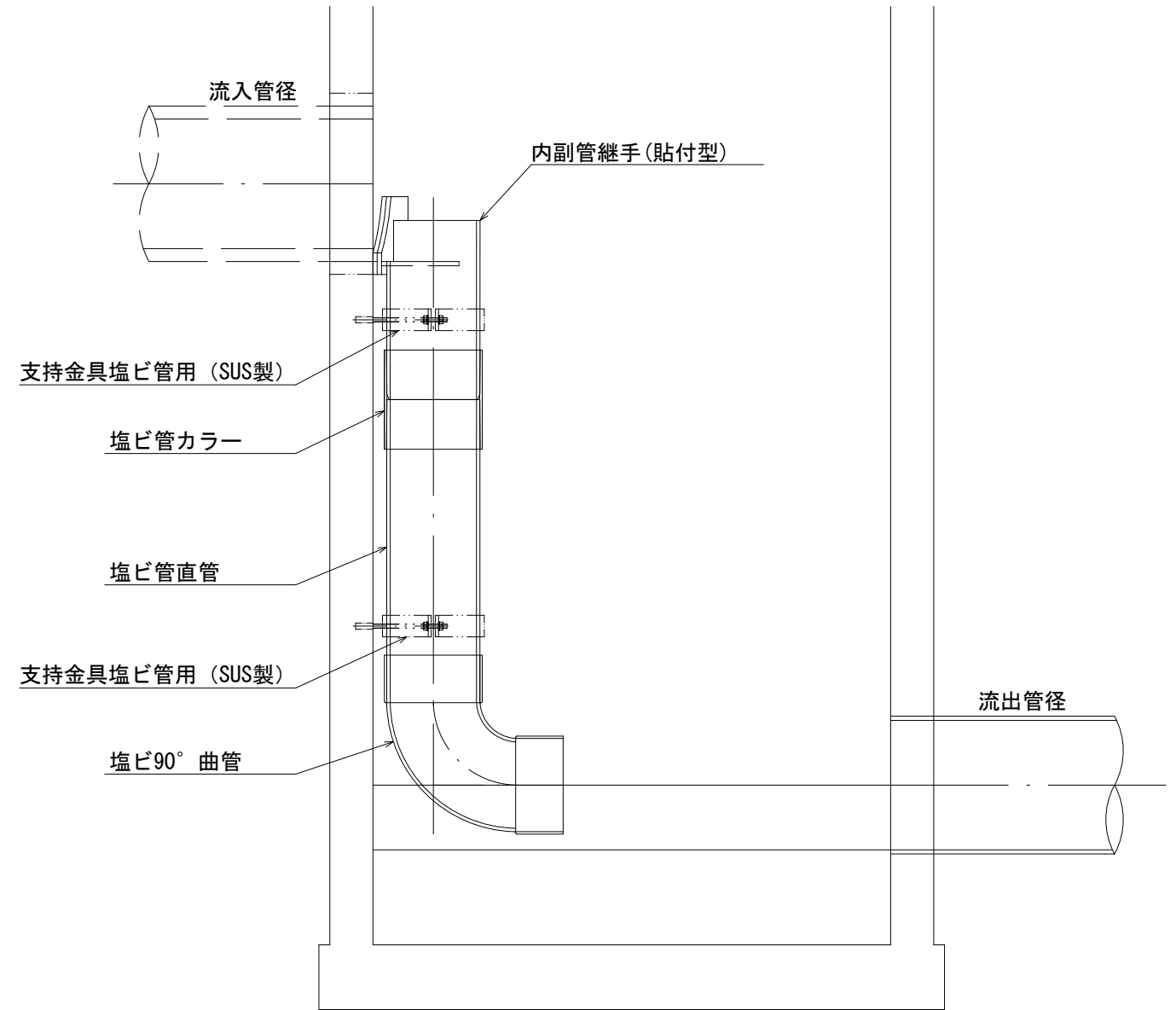
平面図



断面図(1)



断面図(2)



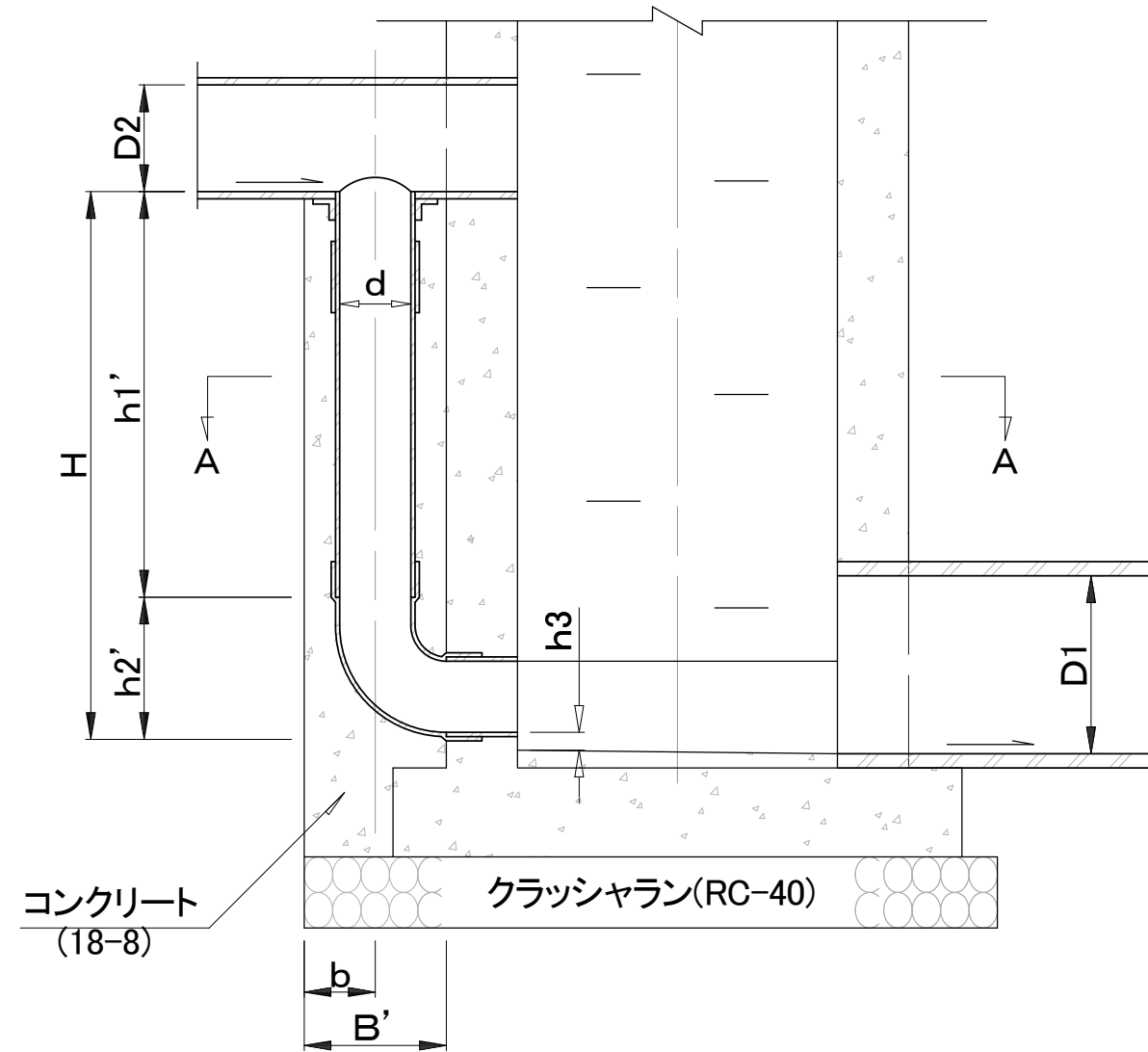
副管の長さ	支持金具の数	副管の支持間隔
1.5m以下	2	1.5m以下
1.5m超～3.0m以下	3	
3.0m超～4.5m以下	4	
4.5m超～3.0m以下	5	
6.0m超～7.5m以下	6	
7.5m超～9.0m以下	7	

特記事項

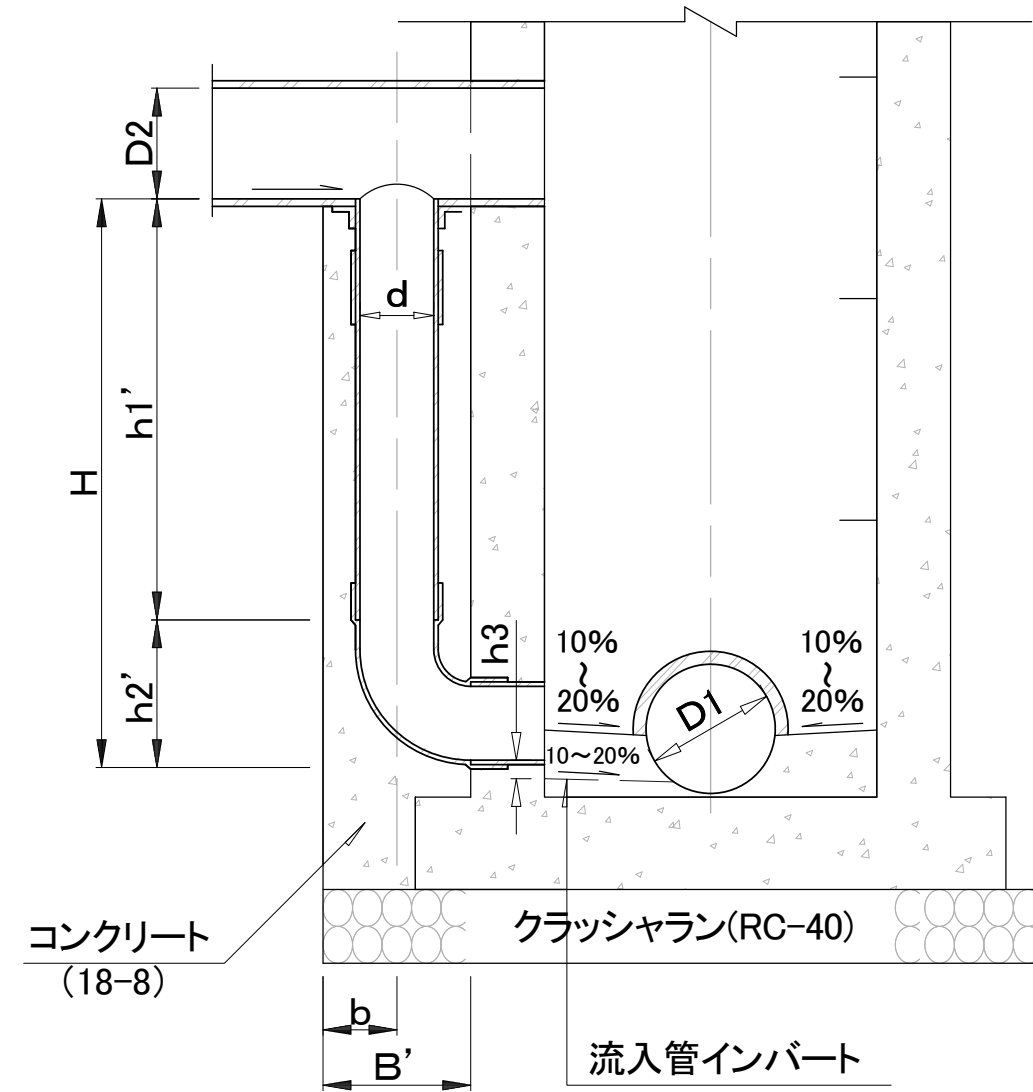
副管をマンホール内に搬入する際、足掛金物やその他施設に干渉しない直径550mmのスペースが必要となります。
 支持金具の固定位置は、施工条件等を考慮して決定します。
 支持金具のボルトは副管重量を支える強度はありません。

人孔副管[硬質塩化ビニル管]
 内副管構造図(省スペース型)

断面図(1)



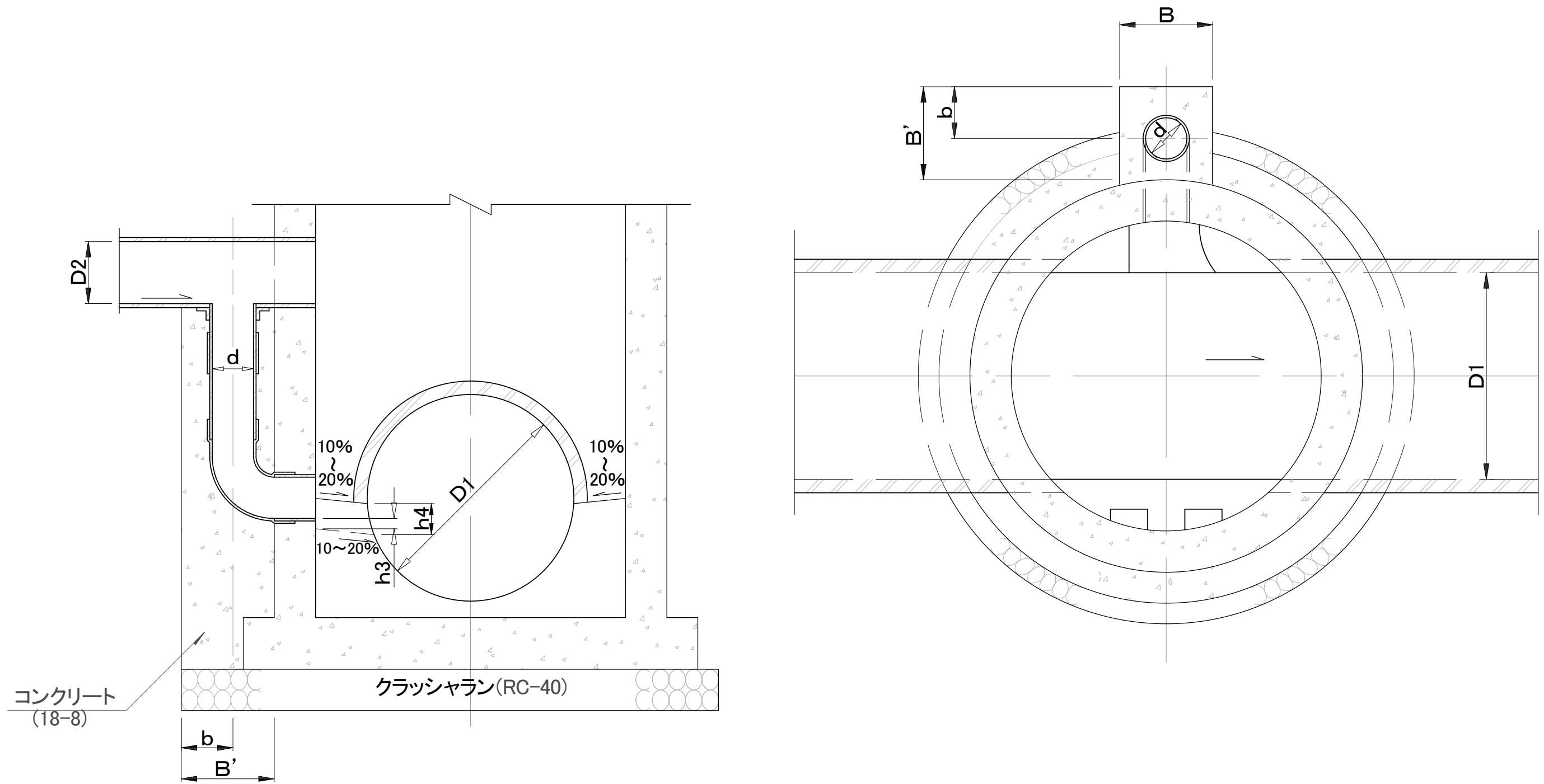
断面図(2)



特記事項

h3 は5cmの段差を確保する。但し、段差が5cm以上確保できる場合は、副管管頂とインバート天端を一致させる。

人孔副管[硬質塩化ビニル管]
構造図(1)



特記事項

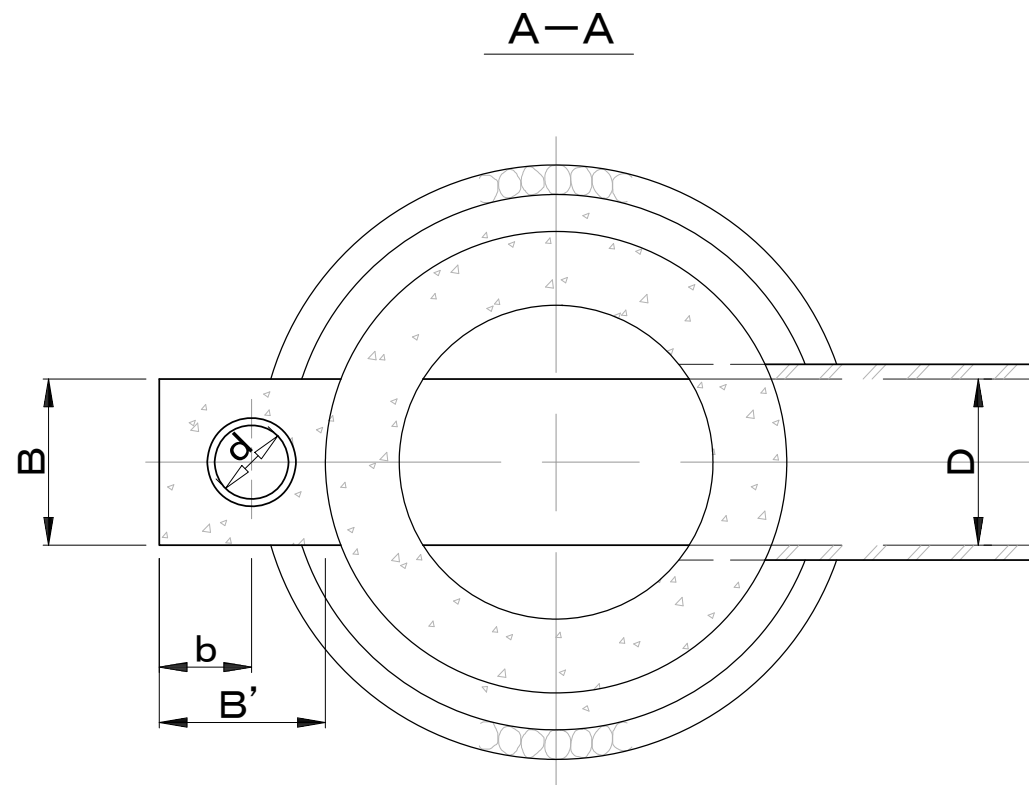
1. h_4 は流入管径 D_2 の1/2とする。
2. インバート天端と上流管底の差が、60cm以上の場合に副管をつける。
3. h_3 は5cmの段差を確保する。但し、段差が5cm以上確保できる場合は、副管頂とインバート天端を一致させる。

人孔副管[大口径管用]
構造図(2)

副管断面選定基準

(単位:mm)

本管の内径	副管径d
φ200以下	150
φ250~φ350	200
φ400~φ500	250
φ600以上	300



寸法表

(単位:mm)

副管径d	B	B'	b	h2'
150	400	400	200	295
200	450	450	250	346
250	500	500	275	400
300	550	550	300	450

材料表

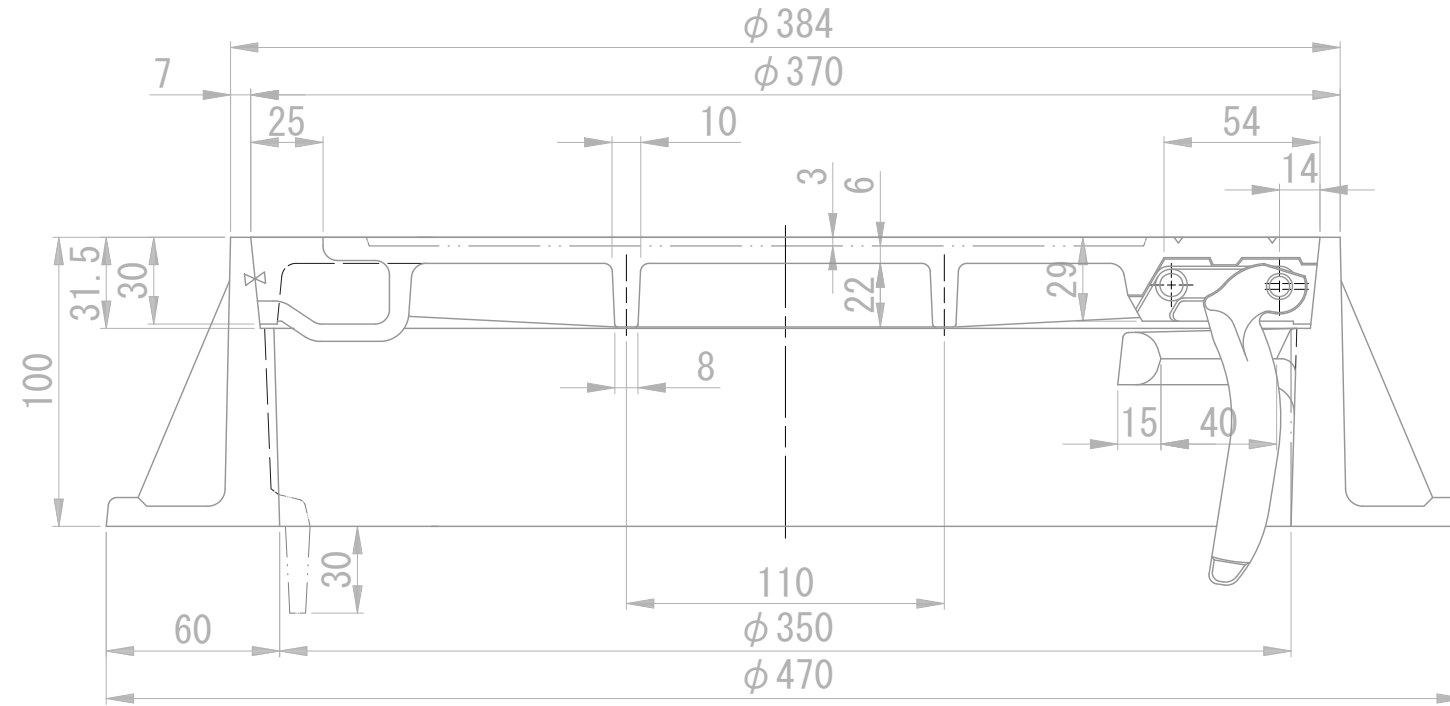
(1箇所当り)

種 別	副 管 管 種				
	硬質塩化ビニル管				
	150	200	250	300	
クラッシュラン(RC-40) (m ³)	0.016	0.023	0.028	0.033	
コンクリート(m ³) (18-8)	曲管部 h2'	0.066	0.093	0.124	0.160
	直管部 h1' (1.0m当り)	0.139	0.166	0.194	0.223
型 枠 (m ²)	曲管部 h2'	0.579	0.730	0.900	1.080
	直管部 h1' (1.0m当り)	1.200	1.350	1.500	1.650

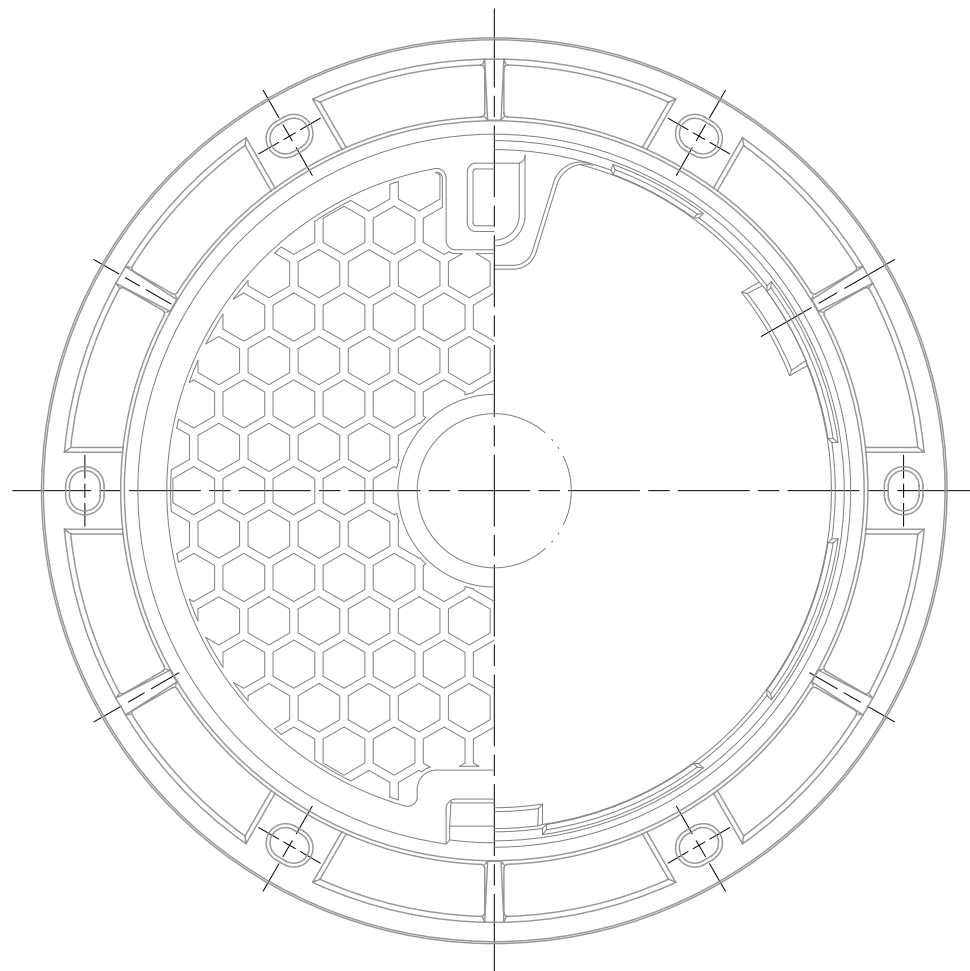
特記事項

人孔副管構造図(3)

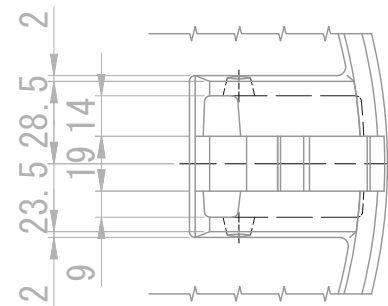
断面



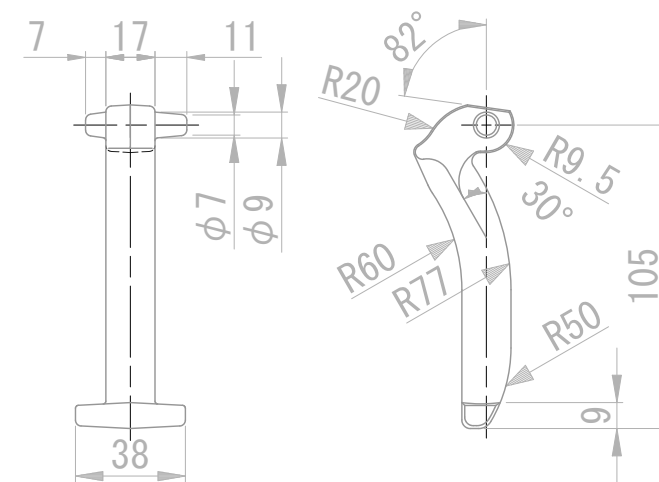
平面



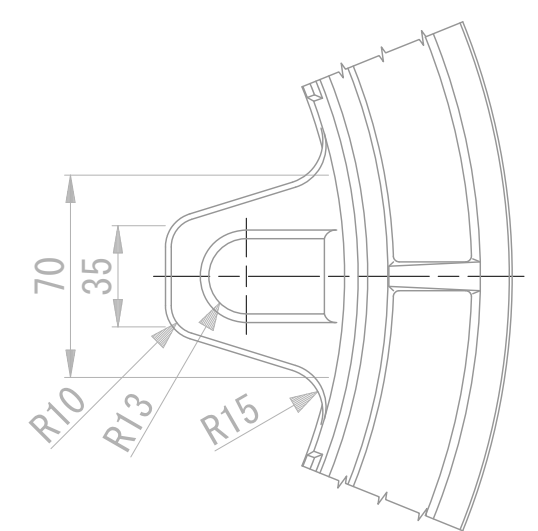
蓋裏蝶番部詳細



蝶番金物詳細



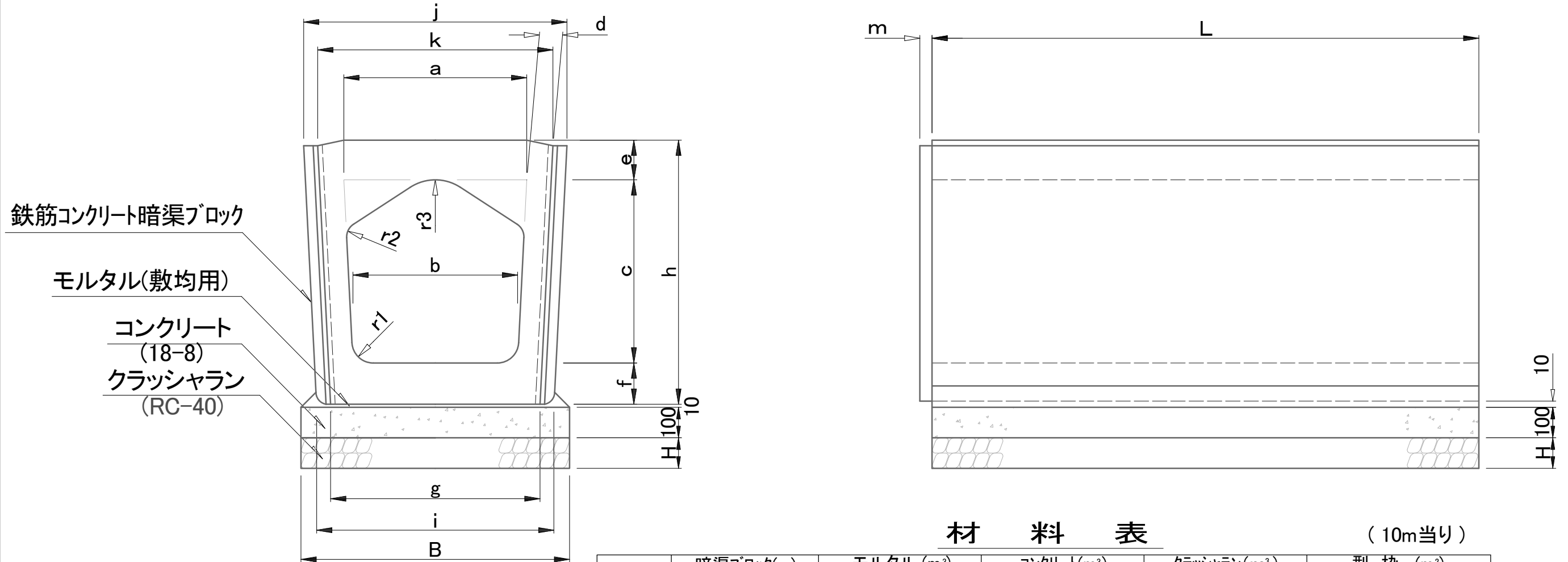
受枠蝶番部詳細



特記事項

材質	蓋FCD600 受枠FCD600
載荷重	T-14 i=0.4

タイプ1, 7接続柵
ダクタイトイル蓋構造図
($\phi 450\text{mm}$ 用)



材 料 表 (10m当り)

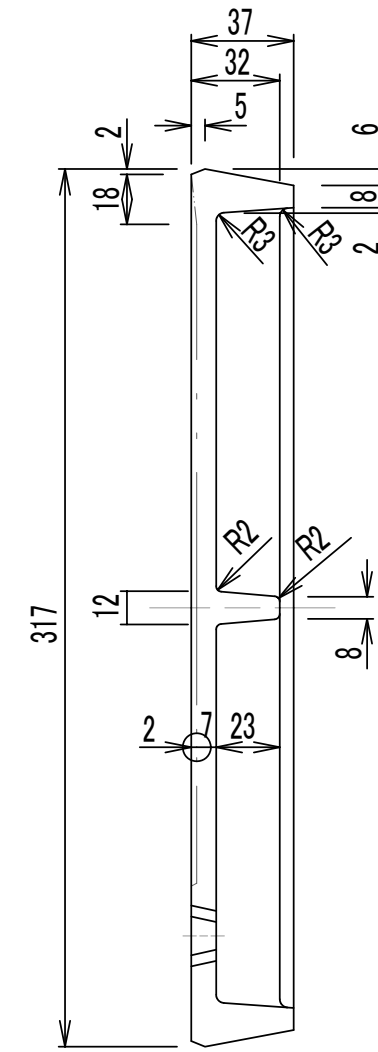
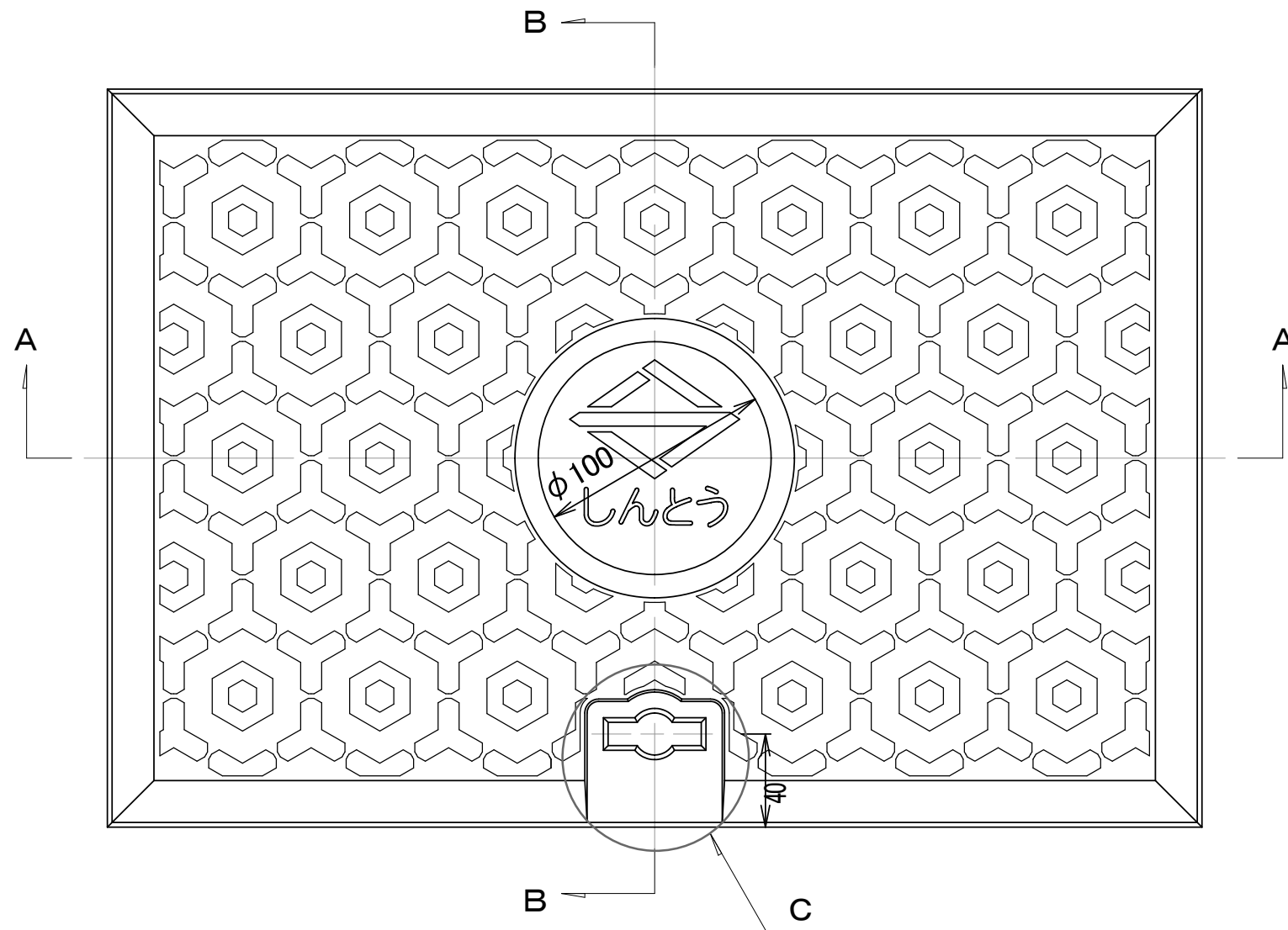
呼び名	暗渠ブロック(m)	モルタル (m ³) 敷均用	コンクリート(m ³) (18-8)	クラッシュラン(m ³) (RC-40)	型 枠 (m ²) 均し型枠
600	10.000	0.103	0.880	0.880	2.000

寸 法 表 (単位:mm)

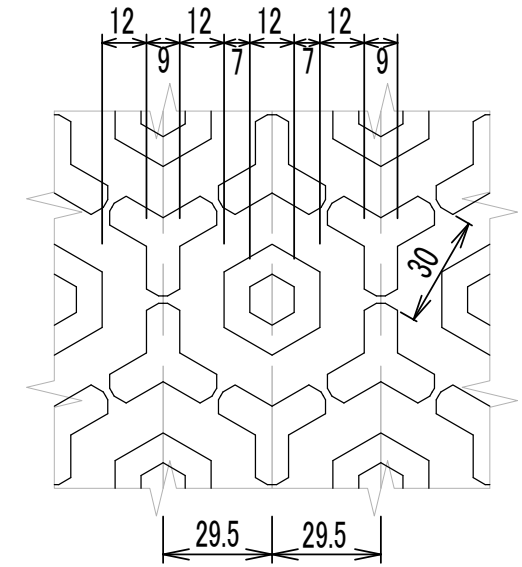
呼び名	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	L	m	r1	r2	r3	B	H	参考質量(kg)
600	600	540	600	80	130	135	690	865	775	865	772	1000	20	70	50	150	880	100	780

特記事項

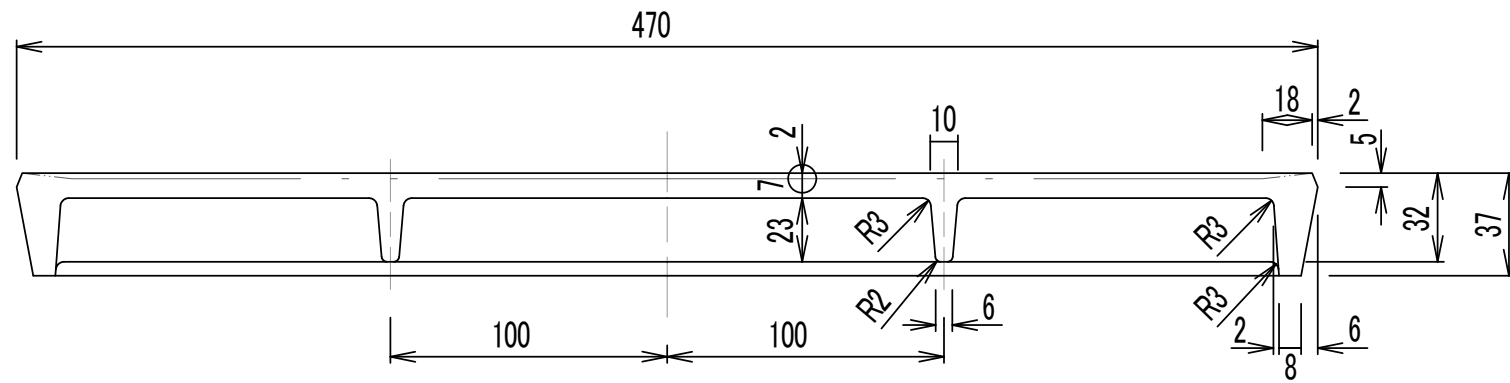
横断暗渠布設図T-14
(神奈川県コンクリート製品
共同組合型 TYPE II・呼び名600)



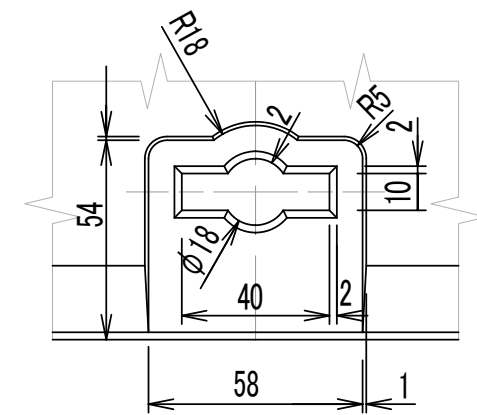
B-B断面図



模様詳細図



A-A断面図



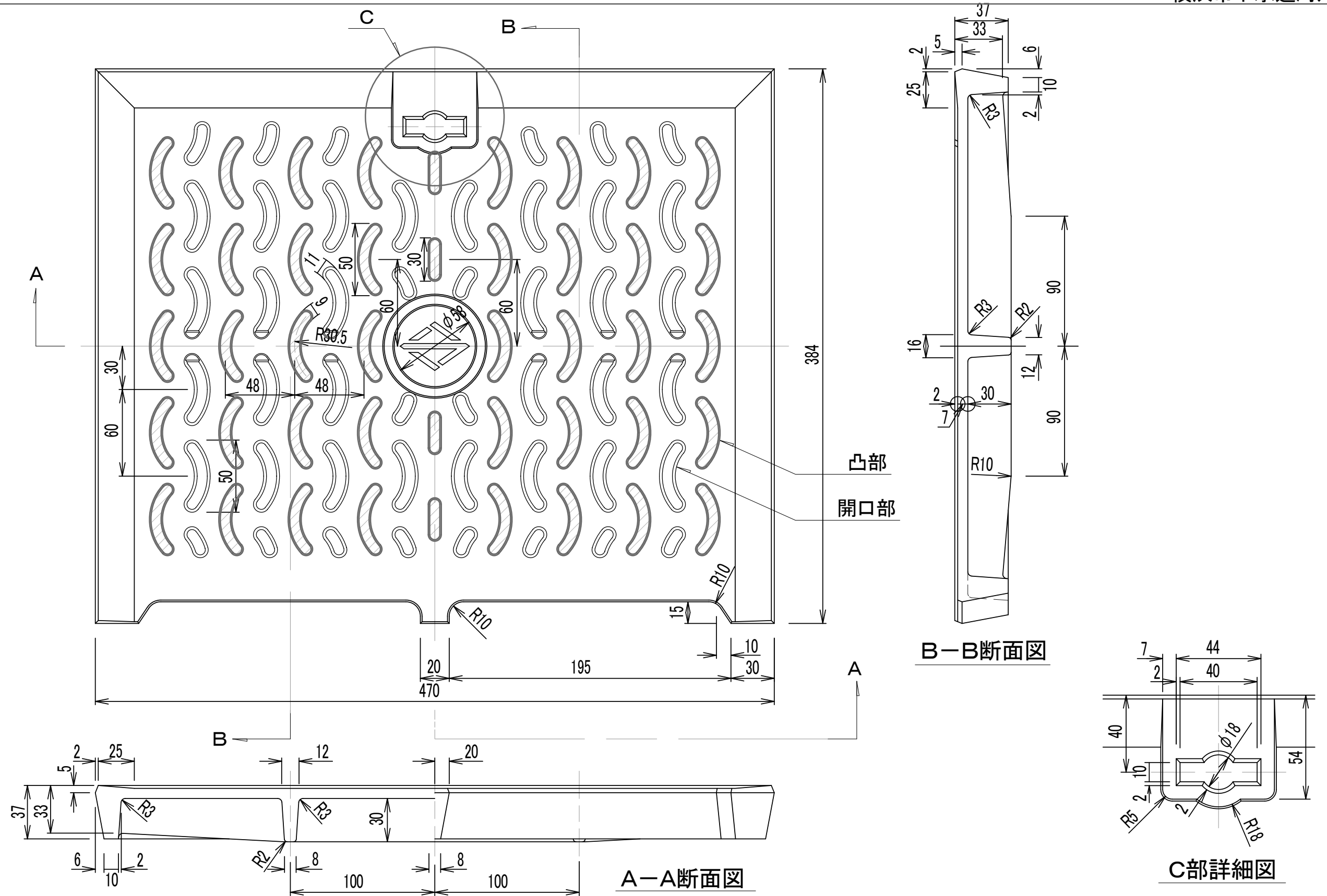
C部詳細図

特記事項

注) 蓋裏にメーカー名、製造年、材質を記入する。

材質	FCD600
載荷重	T-14 i=0.4

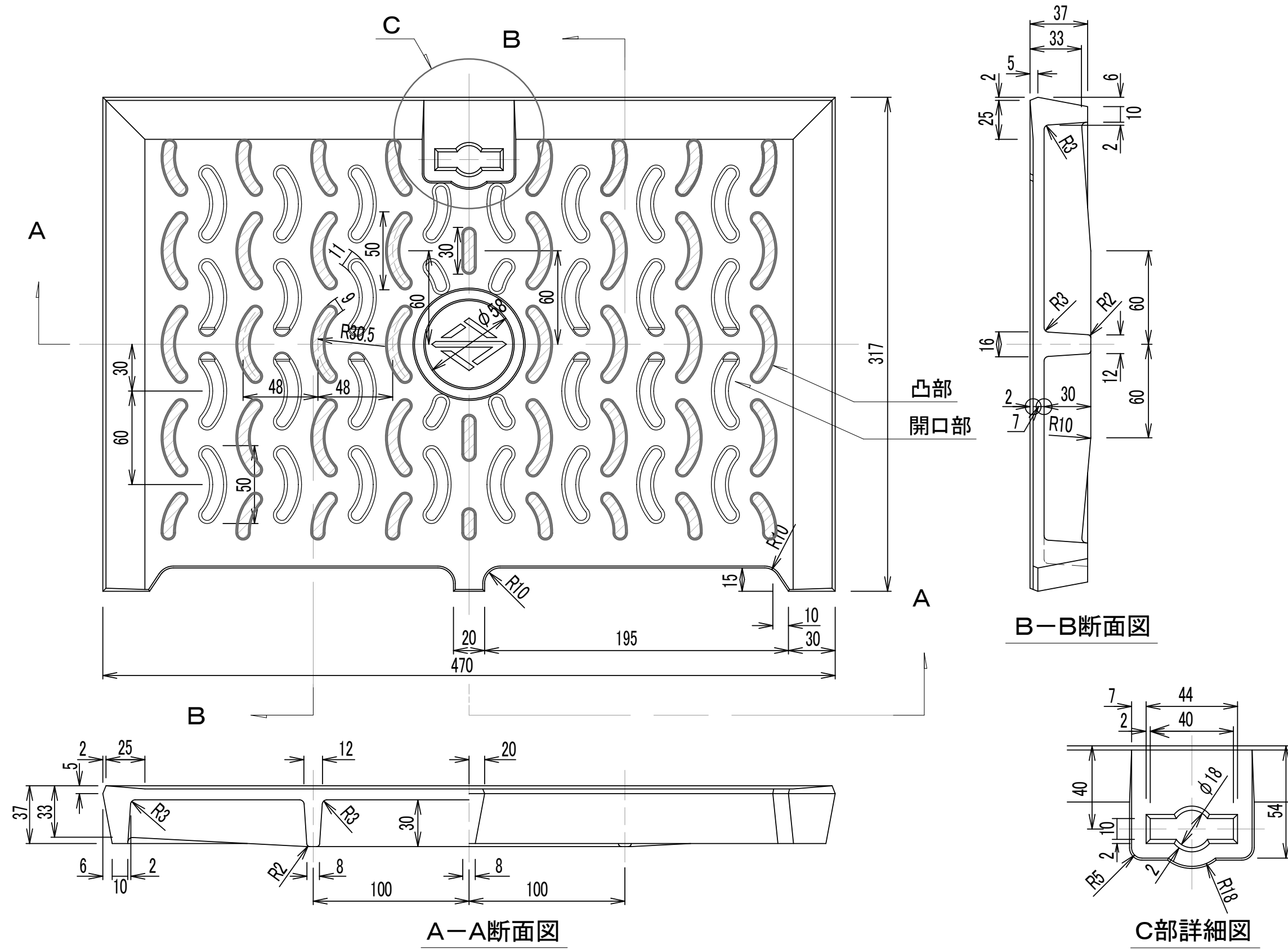
雨水浸透柵蓋構造図



特記事項 注) 蓋裏にメーカー名、製造年、材質を記入する。

材質	FCD600
載荷重	T-20 i=0.4

雨水柵蓋(タイプ1用)構造図



凸部
開口部

B-B断面図

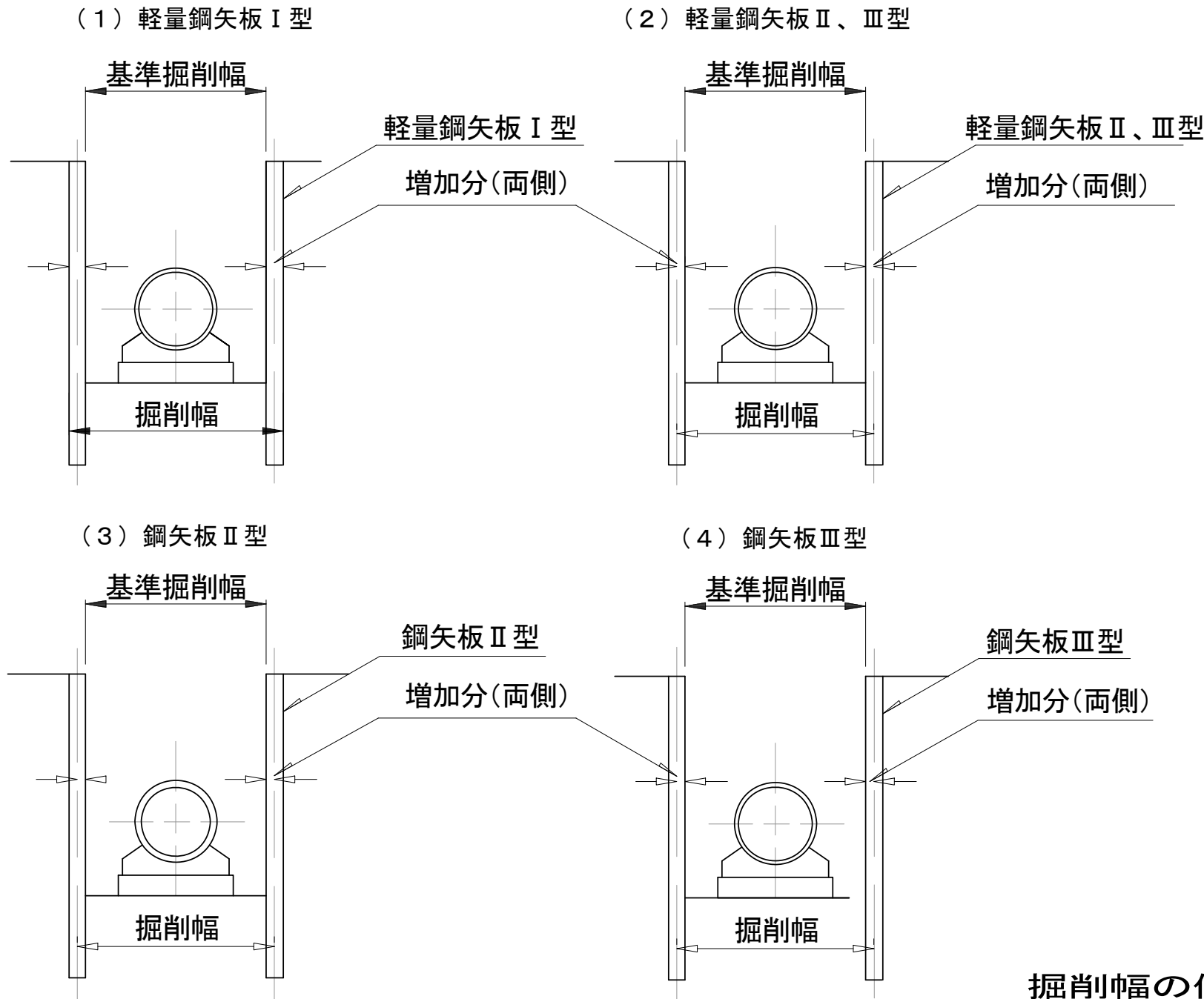
A-A断面図

C部詳細図

特記事項 注) 蓋裏にメーカー名、製造年、材質を記入する。

材質	FCD600
載荷重	T-20 i=0.4

雨水柵蓋(タイプ2用)構造図



基準掘削幅

(単位:mm)

管径	ヒューム管(B,C,NB,NC)				塩ビ管 強プラ管
	碎石基礎	90°基礎	120°基礎	180°基礎	
200	850	900	900	950	800
250	900	950	950	1100	850
300	950	1000	1000	1200	900
350	1000	1100	1100	1250	950
400	1050	1150	1150	1300	1000
450	1100	1200	1300	1400	1050
500	1200	1250	1350	1450	1100
600	1300	1400	1500	1600	1250
700	1400	1650	1650	1850	1350
800	1550	1750	1750	2000	1450
900	1650	1900	1900	2150	1550
1000	1750	2050	2050	2300	1650
1100	1850	2150	2150	2550	1750
1200	2000	2300	2400	2650	1850
1350	2150	2450	2550	2850	2000
1500	2400	2650	2750	3150	2150
1650	2550	2950	2950	3350	2300
1800	2700	3100	3100	3550	2450

機械基準掘削幅

(単位:mm)

掘削幅の修正

(単位:mm)

仮設種類	掘削幅(両側)
軽量鋼矢板 I	基準掘削幅 +100
軽量鋼矢板 II、III	〃 +100
鋼矢板 II	〃 +200
鋼矢板 III	〃 +250

掘削機械	掘削機械		掘削幅
	平積	山積	
バックホウ	0.06m ³	0.08m ³	650
〃	0.10m ³	0.13m ³	750
〃	0.20m ³	0.28m ³	900
〃	0.35m ³	0.45m ³	1050
〃	0.60m ³	0.80m ³	1300

特記事項

注) 1, 掘削幅の修正(掘削幅は仮設種類により修正した値とする。)
 ① 軽量鋼矢板 I 型 ---掘削幅は矢板の外側間とする。
 ② 軽量鋼矢板 II, III型, 鋼矢板 II, III型 ---掘削幅は矢板の中心間とする。
 2, 梯子胴木基礎は碎石基礎と同じ掘削幅とする。

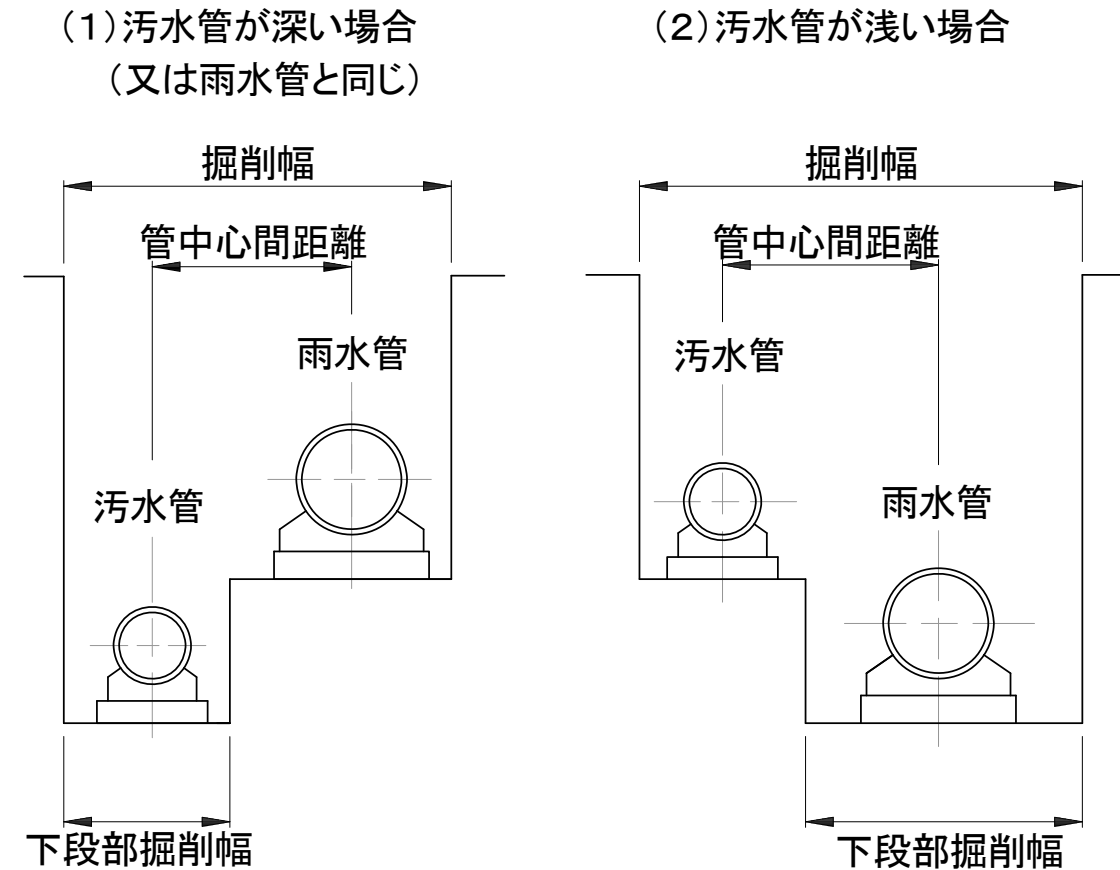
単条管掘削幅

污水管がヒューム管の場合

- 污水管(φ200mm～φ350mm)
 - 管種－ヒューム管
 - 基礎－砕石、コンクリート90°、120°180°、360° 基礎
 - 梯子胴木基礎
 - 人孔－円形人孔(中間人孔)
- 雨水管(φ250mm～φ1800mm)
 - 管種－ヒューム管
 - 基礎－砕石、コンクリート90°、120°180°、360° 基礎
 - 梯子胴木基礎
 - 人孔－円形人孔(中間人孔)
 - 管種－塩ビ管、強プラ管
 - 基礎－改良土(砂)基礎
 - 人孔－円形人孔(中間人孔)

污水管が塩ビ管、強プラ管の場合

- 污水管(φ200mm～φ350mm)
 - 管種－塩ビ管、強プラ管
 - 基礎－改良土(砂)基礎
 - 人孔－円形人孔(中間人孔)
- 雨水管(φ250mm～φ1800mm)
 - 管種－ヒューム管
 - 基礎－砕石、コンクリート90°、120°180°、360° 基礎
 - 梯子胴木基礎
 - 人孔－円形人孔(中間人孔)
 - 管種－塩ビ管、強プラ管
 - 基礎－改良土(砂)基礎
 - 人孔－円形人孔(中間人孔)



掘削幅の修正 (単位:mm)

仮設種類	掘削幅(片側)
軽量鋼矢板Ⅰ	基準掘削幅 +50
軽量鋼矢板Ⅱ、Ⅲ	〃 +50
鋼矢板Ⅱ	〃 +100
鋼矢板Ⅲ	〃 +125

特記事項

注) 1, 掘削幅の修正(掘削幅は仮設種類により修正した値とする。)
 ① 軽量鋼矢板Ⅰ型 ---掘削幅は矢板の外側間とする。
 ② 軽量鋼矢板Ⅱ, Ⅲ型, 鋼矢板Ⅱ, Ⅲ型 ---掘削幅は矢板の中心間とする。
 2, 梯子胴木基礎は砕石, コンクリート90°基礎と同じ掘削幅とする。

二条管掘削幅(1)

●汚水管 ヒューム管 管径250mm 砕石基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	φ250	800	1,700	800	1,700	800	1,700	800	1,800	800	1,800
	φ300	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,900	850	1,950
	φ400	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	φ500	950	2,000	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150
	φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	φ700	1,050	2,200	1,050	2,300	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,450
	φ800	1,150	2,350	1,150	2,450	1,150	2,450	1,100	2,550	1,100	2,650
	φ900	1,200	2,450	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,700	1,200	2,800
	φ1000	1,250	2,550	1,250	2,700	1,250	2,700	1,250	2,850	1,250	2,950
φ1100	1,350	2,700	1,350	2,850	1,350	2,850	1,350	3,050	1,350	3,100	
φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,150	1,400	3,200	
φ1350	1,500	3,000	1,500	3,150	1,500	3,200	1,500	3,350	1,500	3,400	
NC形	φ1500	1,500	3,150	1,500	3,250	1,500	3,300	1,600	3,600	1,600	3,600
	φ1650	1,550	3,250	1,550	3,450	1,550	3,450	1,700	3,800	1,700	3,800
	φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,000	1,800	4,000

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心距離	基準掘削幅
塩ビ管	φ250	800	1,650
	φ300	800	1,700
	φ350	800	1,700
	φ400	850	1,800
	φ450	850	1,800
	φ500	900	1,900
強プラ管	φ600	950	2,000
	φ700	1,000	2,100
	φ800	1,050	2,200
	φ900	1,100	2,300
	φ1000	1,150	2,400
	φ1100	1,200	2,500
	φ1200	1,350	2,700
	φ1350	1,350	2,800
φ1500	1,400	2,900	
φ1650	1,550	3,150	
φ1800	1,600	3,250	

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(2)

●汚水管 ヒューム管 管径300mm 砕石基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ250	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,800	800	1,800
	φ300	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	φ500	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	φ700	1,050	2,200	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,550	1,100	2,650
	φ900	1,200	2,500	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,850
	φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,850	1,250	2,950
φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150	
φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,200	1,400	3,250	
φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450	
NC形	φ1500	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	φ1650	1,600	3,350	1,600	3,550	1,600	3,550	1,700	3,850	1,700	3,850
	φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ250	800	1,700
	φ300	800	1,700
	φ350	800	1,750
	φ400	850	1,800
	φ450	850	1,850
	φ500	900	1,900
	φ600	950	2,050
強プラ管	φ700	1,000	2,150
	φ800	1,050	2,250
	φ900	1,100	2,350
	φ1000	1,150	2,450
	φ1100	1,200	2,550
	φ1200	1,400	2,800
	φ1350	1,400	2,850
φ1500	1,400	2,950	
φ1650	1,600	3,200	
φ1800	1,600	3,300	

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(3)

●汚水管 ヒューム管 管径350mm 砕石基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ 250	850	1,800	850	1,800	850	1,800	850	1,900	850	1,900
	φ 300	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	1,950
	φ 350	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	φ 400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,050
	φ 450	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150
	φ 500	950	2,050	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	φ 600	1,000	2,150	1,000	2,200	1,000	2,250	950	2,250	950	2,350
	φ 700	1,050	2,250	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	φ 800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,600	1,100	2,700
	φ 900	1,200	2,500	1,200	2,650	1,200	2,650	1,200	2,750	1,200	2,850
NC形	φ 1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,900	1,250	3,000
	φ 1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	φ 1200	1,400	2,900	1,400	3,050	1,400	3,100	1,400	3,200	1,400	3,250
	φ 1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450
NC形	φ 1500	1,500	3,200	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	φ 1650	1,600	3,350	1,600	3,550	1,600	3,550	1,700	3,850	1,700	3,850
	φ 1800	1,650	3,500	1,650	3,700	1,650	3,700	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心	基準掘削幅
塩ビ管	φ 250	850	1,750
	φ 300	850	1,800
	φ 350	850	1,800
	φ 400	850	1,850
	φ 450	850	1,850
	φ 500	900	1,950
	φ 600	950	2,050
強プラ管	φ 700	1,000	2,150
	φ 800	1,050	2,250
	φ 900	1,100	2,350
	φ 1000	1,200	2,500
	φ 1100	1,200	2,550
	φ 1200	1,400	2,800
	φ 1350	1,400	2,900
	φ 1500	1,400	2,950
φ 1650	1,600	3,250	
φ 1800	1,600	3,300	

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(4)

●汚水管 ヒューム管 管径250mm 90° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ250	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,800	800	1,800
	φ300	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	φ500	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	φ700	1,050	2,200	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,550	1,100	2,650
	φ900	1,200	2,500	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,850
NC形	φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,850	1,250	2,950
	φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,200	1,400	3,250
	φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450
	φ1500	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	φ1650	1,550	3,300	1,550	3,500	1,550	3,500	1,700	3,850	1,700	3,850
	φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ250	800	1,700
	φ300	800	1,700
	φ350	800	1,750
	φ400	850	1,800
	φ450	850	1,850
	φ500	900	1,900
強プラ管	φ600	950	2,050
	φ700	1,000	2,150
	φ800	1,050	2,250
	φ900	1,100	2,350
	φ1000	1,150	2,450
	φ1100	1,200	2,550
	φ1200	1,350	2,750
	φ1350	1,350	2,800
φ1500	1,400	2,950	
φ1650	1,550	3,150	
φ1800	1,600	3,300	

特記事項 上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(5)

●汚水管 ヒューム管 管径300mm 90° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ250	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ300	800	1,750	800	1,800	800	1,800	800	1,900	800	1,900
	φ350	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,050
	φ450	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150
	φ500	950	2,050	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	φ600	1,000	2,150	1,000	2,200	1,000	2,250	950	2,250	950	2,350
	φ700	1,050	2,250	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,600	1,100	2,700
	φ900	1,200	2,500	1,200	2,650	1,200	2,650	1,200	2,750	1,200	2,850
	φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,900	1,250	3,000
	φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
φ1200	1,400	2,900	1,400	3,050	1,400	3,100	1,400	3,200	1,400	3,250	
φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450	
NC形	φ1500	1,500	3,200	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	φ1650	1,600	3,350	1,600	3,550	1,600	3,550	1,700	3,850	1,700	3,850
	φ1800	1,650	3,500	1,650	3,700	1,650	3,700	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ250	800	1,700
	φ300	800	1,750
	φ350	800	1,750
	φ400	850	1,850
	φ450	850	1,850
	φ500	900	1,950
	φ600	950	2,050
強プラ管	φ700	1,000	2,150
	φ800	1,050	2,250
	φ900	1,100	2,350
	φ1000	1,150	2,450
	φ1100	1,200	2,550
	φ1200	1,400	2,800
	φ1350	1,400	2,900
	φ1500	1,400	2,950
φ1650	1,600	3,250	
φ1800	1,600	3,300	

特記事項 上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(6)

●汚水管 ヒューム管 管径350mm 90° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管 B形	φ250	850	1,850	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	1,950
	φ300	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,000
	φ350	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,000	850	2,050
	φ400	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,100
	φ450	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200
	φ500	950	2,100	950	2,100	950	2,150	950	2,200	950	2,250
	φ600	1,000	2,200	1,000	2,250	1,000	2,300	950	2,300	950	2,400
	φ700	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,400	1,050	2,500	1,050	2,550
	φ800	1,150	2,450	1,150	2,550	1,150	2,550	1,100	2,650	1,100	2,750
	φ900	1,200	2,550	1,200	2,700	1,200	2,700	1,200	2,800	1,200	2,900
	φ1000	1,250	2,650	1,250	2,800	1,250	2,800	1,250	2,950	1,250	3,050
φ1100	1,350	2,800	1,350	2,950	1,350	2,950	1,350	3,150	1,350	3,200	
φ1200	1,400	2,950	1,400	3,100	1,400	3,150	1,400	3,250	1,400	3,300	
φ1350	1,500	3,100	1,500	3,250	1,500	3,300	1,500	3,450	1,500	3,500	
NC形	φ1500	1,500	3,250	1,500	3,350	1,500	3,400	1,600	3,700	1,600	3,700
	φ1650	1,600	3,400	1,600	3,600	1,600	3,600	1,700	3,900	1,700	3,900
	φ1800	1,650	3,550	1,650	3,750	1,650	3,750	1,800	4,100	1,800	4,100

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心距離	基準掘削幅
塩ビ管	φ250	850	1,800
	φ300	850	1,850
	φ350	850	1,850
	φ400	850	1,900
	φ450	850	1,900
	φ500	900	2,000
強プラ管	φ600	950	2,100
	φ700	1,000	2,200
	φ800	1,050	2,300
	φ900	1,100	2,400
	φ1000	1,200	2,550
	φ1100	1,200	2,600
	φ1200	1,400	2,850
	φ1350	1,400	2,950
φ1500	1,400	3,000	
φ1650	1,600	3,300	
φ1800	1,600	3,350	

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(7)

●汚水管 ヒューム管 管径250mm 120° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ 250	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,800	800	1,800
	φ 300	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ 350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	φ 400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	φ 450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	φ 500	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	φ 600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	φ 700	1,050	2,200	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	φ 800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,550	1,100	2,650
	φ 900	1,200	2,500	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,850
	φ 1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,850	1,250	2,950
	φ 1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	φ 1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,200	1,400	3,250
φ 1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450	
NC形	φ 1500	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	φ 1650	1,550	3,300	1,550	3,500	1,550	3,500	1,700	3,850	1,700	3,850
	φ 1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ 250	800	1,700
	φ 300	800	1,700
	φ 350	800	1,750
	φ 400	850	1,800
	φ 450	850	1,850
	φ 500	900	1,900
	φ 600	950	2,050
強プラ管	φ 700	1,000	2,150
	φ 800	1,050	2,250
	φ 900	1,100	2,350
	φ 1000	1,150	2,450
	φ 1100	1,200	2,550
	φ 1200	1,350	2,750
	φ 1350	1,350	2,800
	φ 1500	1,400	2,950
φ 1650	1,550	3,150	
φ 1800	1,600	3,300	

特記事項 上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(8)

●汚水管 ヒューム管 管径300mm 120° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ250	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ300	800	1,750	800	1,800	800	1,800	800	1,900	800	1,900
	φ350	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,050
	φ450	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150
	φ500	950	2,050	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	φ600	1,000	2,150	1,000	2,200	1,000	2,250	950	2,250	950	2,350
	φ700	1,050	2,250	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,600	1,100	2,700
	φ900	1,200	2,500	1,200	2,650	1,200	2,650	1,200	2,750	1,200	2,850
	φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,900	1,250	3,000
	φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	φ1200	1,400	2,900	1,400	3,050	1,400	3,100	1,400	3,200	1,400	3,250
φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450	
NC形	φ1500	1,500	3,200	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	φ1650	1,600	3,350	1,600	3,550	1,600	3,550	1,700	3,850	1,700	3,850
	φ1800	1,650	3,500	1,650	3,700	1,650	3,700	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ250	800	1,700
	φ300	800	1,750
	φ350	800	1,750
	φ400	850	1,850
	φ450	850	1,850
	φ500	900	1,950
	φ600	950	2,050
強プラ管	φ700	1,000	2,150
	φ800	1,050	2,250
	φ900	1,100	2,350
	φ1000	1,150	2,450
	φ1100	1,200	2,550
	φ1200	1,400	2,800
	φ1350	1,400	2,900
	φ1500	1,400	2,950
φ1650	1,600	3,250	
φ1800	1,600	3,300	

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(9)

●汚水管 ヒューム管 管径350mm 120° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管B形	φ250	850	1,850	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	1,950
	φ300	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,000
	φ350	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,000	850	2,050
	φ400	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,100
	φ450	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200
	φ500	950	2,100	950	2,100	950	2,150	950	2,200	950	2,250
	φ600	1,000	2,200	1,000	2,250	1,000	2,300	950	2,300	950	2,400
	φ700	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,400	1,050	2,500	1,050	2,550
	φ800	1,150	2,450	1,150	2,550	1,150	2,550	1,100	2,650	1,100	2,750
	φ900	1,200	2,550	1,200	2,700	1,200	2,700	1,200	2,800	1,200	2,900
	φ1000	1,250	2,650	1,250	2,800	1,250	2,800	1,250	2,950	1,250	3,050
	φ1100	1,350	2,800	1,350	2,950	1,350	2,950	1,350	3,150	1,350	3,200
	φ1200	1,400	2,950	1,400	3,100	1,400	3,150	1,400	3,250	1,400	3,300
φ1350	1,500	3,100	1,500	3,250	1,500	3,300	1,500	3,450	1,500	3,500	
NC形	φ1500	1,500	3,250	1,500	3,350	1,500	3,400	1,600	3,700	1,600	3,700
	φ1650	1,600	3,400	1,600	3,600	1,600	3,600	1,700	3,900	1,700	3,900
	φ1800	1,650	3,550	1,650	3,750	1,650	3,750	1,800	4,100	1,800	4,100

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ250	850	1,800
	φ300	850	1,850
	φ350	850	1,850
	φ400	850	1,900
	φ450	850	1,900
	φ500	900	2,000
	φ600	950	2,100
強プラ管	φ700	1,000	2,200
	φ800	1,050	2,300
	φ900	1,100	2,400
	φ1000	1,200	2,550
	φ1100	1,200	2,600
	φ1200	1,400	2,850
	φ1350	1,400	2,950
φ1500	1,400	3,000	
φ1650	1,600	3,300	
φ1800	1,600	3,350	

特記事項 上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(10)

●汚水管 ヒューム管 管径250mm 180° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ 250	800	1,800	800	1,800	800	1,800	800	1,900	800	1,900
	φ 300	800	1,800	800	1,850	800	1,850	800	1,950	800	1,950
	φ 350	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,000	850	2,050
	φ 400	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,100
	φ 450	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200
	φ 500	950	2,100	950	2,100	950	2,150	950	2,200	950	2,250
	φ 600	1,000	2,200	1,000	2,250	1,000	2,300	950	2,300	950	2,400
	φ 700	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,400	1,050	2,500	1,050	2,550
	φ 800	1,150	2,450	1,150	2,550	1,150	2,550	1,100	2,650	1,100	2,750
	φ 900	1,200	2,550	1,200	2,700	1,200	2,700	1,200	2,800	1,200	2,900
	φ 1000	1,250	2,650	1,250	2,800	1,250	2,800	1,250	2,950	1,250	3,050
	φ 1100	1,350	2,800	1,350	2,950	1,350	2,950	1,350	3,150	1,350	3,200
	φ 1200	1,400	2,950	1,400	3,100	1,400	3,150	1,400	3,250	1,400	3,300
φ 1350	1,500	3,100	1,500	3,250	1,500	3,300	1,500	3,450	1,500	3,500	
NC形	φ 1500	1,500	3,250	1,500	3,350	1,500	3,400	1,600	3,700	1,600	3,700
	φ 1650	1,600	3,400	1,600	3,600	1,600	3,600	1,700	3,900	1,700	3,900
	φ 1800	1,650	3,550	1,650	3,750	1,650	3,750	1,800	4,100	1,800	4,100

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ 250	800	1,750
	φ 300	800	1,800
	φ 350	800	1,800
	φ 400	850	1,900
	φ 450	850	1,900
	φ 500	900	2,000
	φ 600	950	2,100
強プラ管	φ 700	1,000	2,200
	φ 800	1,050	2,300
	φ 900	1,100	2,400
	φ 1000	1,150	2,500
	φ 1100	1,200	2,600
	φ 1200	1,400	2,850
	φ 1350	1,400	2,950
φ 1500	1,400	3,000	
φ 1650	1,600	3,300	
φ 1800	1,600	3,350	

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(11)

●汚水管 ヒューム管 管径300mm 180° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ250	850	1,900	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,000
	φ300	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,050
	φ350	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,050	850	2,100
	φ400	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,100	850	2,150
	φ450	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200	900	2,250
	φ500	950	2,150	950	2,150	950	2,200	950	2,250	950	2,300
	φ600	1,000	2,250	1,000	2,300	1,000	2,350	950	2,350	950	2,450
	φ700	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,450	1,050	2,550	1,050	2,600
	φ800	1,150	2,500	1,150	2,600	1,150	2,600	1,100	2,700	1,100	2,800
	φ900	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,750	1,200	2,850	1,200	2,950
	φ1000	1,250	2,700	1,250	2,850	1,250	2,850	1,250	3,000	1,250	3,100
	φ1100	1,350	2,850	1,350	3,000	1,350	3,000	1,350	3,200	1,350	3,250
	φ1200	1,400	3,000	1,400	3,150	1,400	3,200	1,400	3,300	1,400	3,350
NC形	φ1350	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,500	3,500	1,500	3,550
	φ1500	1,500	3,300	1,500	3,400	1,500	3,450	1,600	3,750	1,600	3,750
	φ1650	1,600	3,450	1,600	3,650	1,600	3,650	1,700	3,950	1,700	3,950
	φ1800	1,650	3,600	1,650	3,800	1,650	3,800	1,800	4,150	1,800	4,150

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ250	850	1,850
	φ300	850	1,900
	φ350	850	1,900
	φ400	850	1,950
	φ450	850	1,950
	φ500	900	2,050
	φ600	950	2,150
強プラ管	φ700	1,000	2,250
	φ800	1,050	2,350
	φ900	1,100	2,450
	φ1000	1,200	2,600
	φ1100	1,200	2,650
	φ1200	1,400	2,900
	φ1350	1,400	3,000
	φ1500	1,400	3,050
	φ1650	1,600	3,350
	φ1800	1,600	3,400

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(12)

●汚水管 ヒューム管 管径350mm 180° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	φ 250	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,000	850	2,000
	φ 300	850	1,950	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,050
	φ 350	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,100	850	2,150
	φ 400	850	2,000	850	2,050	850	2,050	850	2,100	850	2,150
	φ 450	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200	900	2,250
	φ 500	950	2,150	950	2,200	950	2,250	950	2,300	950	2,350
	φ 600	1,000	2,250	1,000	2,300	1,000	2,350	950	2,350	950	2,450
	φ 700	1,050	2,350	1,050	2,500	1,050	2,500	1,050	2,600	1,050	2,650
	φ 800	1,150	2,550	1,150	2,650	1,150	2,650	1,100	2,700	1,100	2,800
	φ 900	1,200	2,650	1,200	2,750	1,200	2,750	1,200	2,900	1,200	3,000
	φ 1000	1,250	2,750	1,250	2,900	1,250	2,900	1,250	3,000	1,250	3,100
	φ 1100	1,350	2,900	1,350	3,050	1,350	3,050	1,350	3,250	1,350	3,300
φ 1200	1,450	3,050	1,450	3,200	1,450	3,250	1,450	3,400	1,450	3,450	
φ 1350	1,500	3,200	1,500	3,350	1,500	3,400	1,500	3,550	1,500	3,600	
NC形	φ 1500	1,500	3,300	1,500	3,450	1,500	3,500	1,600	3,800	1,600	3,800
	φ 1650	1,650	3,550	1,650	3,750	1,650	3,750	1,700	4,000	1,700	4,000
	φ 1800	1,650	3,600	1,650	3,800	1,650	3,800	1,800	4,200	1,800	4,200

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心距離	基準掘削幅
塩ビ管	φ 250	850	1,900
	φ 300	850	1,900
	φ 350	850	1,950
	φ 400	850	1,950
	φ 450	850	2,000
	φ 500	900	2,050
	φ 600	950	2,200
強プラ管	φ 700	1,050	2,350
	φ 800	1,050	2,400
	φ 900	1,100	2,500
	φ 1000	1,200	2,650
	φ 1100	1,200	2,700
	φ 1200	1,450	3,000
	φ 1350	1,450	3,050
	φ 1500	1,450	3,150
φ 1650	1,650	3,400	
φ 1800	1,650	3,500	

特記事項 上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(13)

●汚水管 ヒューム管 管径250mm 360° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ 250	800	1,800	800	1,800	800	1,800	800	1,900	800	1,900
	φ 300	800	1,800	800	1,850	800	1,850	800	1,950	800	1,950
	φ 350	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,000	850	2,050
	φ 400	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,100
	φ 450	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200
	φ 500	950	2,100	950	2,100	950	2,150	950	2,200	950	2,250
	φ 600	1,000	2,200	1,000	2,250	1,000	2,300	950	2,300	950	2,400
	φ 700	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,400	1,050	2,500	1,050	2,550
	φ 800	1,150	2,450	1,150	2,550	1,150	2,550	1,100	2,650	1,100	2,750
	φ 900	1,200	2,550	1,200	2,700	1,200	2,700	1,200	2,800	1,200	2,900
	φ 1000	1,250	2,650	1,250	2,800	1,250	2,800	1,250	2,950	1,250	3,050
	φ 1100	1,350	2,800	1,350	2,950	1,350	2,950	1,350	3,150	1,350	3,200
φ 1200	1,400	2,950	1,400	3,100	1,400	3,150	1,400	3,250	1,400	3,300	
φ 1350	1,500	3,100	1,500	3,250	1,500	3,300	1,500	3,450	1,500	3,500	
NC形	φ 1500	1,500	3,250	1,500	3,350	1,500	3,400	1,600	3,700	1,600	3,700
	φ 1650	1,600	3,400	1,600	3,600	1,600	3,600	1,700	3,900	1,700	3,900
	φ 1800	1,650	3,550	1,650	3,750	1,650	3,750	1,800	4,100	1,800	4,100

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ 250	800	1,750
	φ 300	800	1,800
	φ 350	800	1,800
	φ 400	850	1,900
	φ 450	850	1,900
	φ 500	900	2,000
	φ 600	950	2,100
強プラ管	φ 700	1,000	2,200
	φ 800	1,050	2,300
	φ 900	1,100	2,400
	φ 1000	1,150	2,500
	φ 1100	1,200	2,600
	φ 1200	1,400	2,850
	φ 1350	1,400	2,950
	φ 1500	1,400	3,000
φ 1650	1,600	3,300	
φ 1800	1,600	3,350	

特記事項 上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(14)

●汚水管 ヒューム管 管径300mm 360° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ250	850	1,900	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,000
	φ300	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,050
	φ350	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,050	850	2,100
	φ400	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,100	850	2,150
	φ450	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200	900	2,250
	φ500	950	2,150	950	2,150	950	2,200	950	2,250	950	2,300
	φ600	1,000	2,250	1,000	2,300	1,000	2,350	950	2,350	950	2,450
	φ700	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,450	1,050	2,550	1,050	2,600
	φ800	1,150	2,500	1,150	2,600	1,150	2,600	1,100	2,700	1,100	2,800
	φ900	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,750	1,200	2,850	1,200	2,950
	φ1000	1,250	2,700	1,250	2,850	1,250	2,850	1,250	3,000	1,250	3,100
	φ1100	1,350	2,850	1,350	3,000	1,350	3,000	1,350	3,200	1,350	3,250
	φ1200	1,400	3,000	1,400	3,150	1,400	3,200	1,400	3,300	1,400	3,350
φ1350	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,500	3,500	1,500	3,550	
NC形	φ1500	1,500	3,300	1,500	3,400	1,500	3,450	1,600	3,750	1,600	3,750
	φ1650	1,600	3,450	1,600	3,650	1,600	3,650	1,700	3,950	1,700	3,950
	φ1800	1,650	3,600	1,650	3,800	1,650	3,800	1,800	4,150	1,800	4,150

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ250	850	1,850
	φ300	850	1,900
	φ350	850	1,900
	φ400	850	1,950
	φ450	850	1,950
	φ500	900	2,050
	φ600	950	2,150
強プラ管	φ700	1,000	2,250
	φ800	1,050	2,350
	φ900	1,100	2,450
	φ1000	1,200	2,600
	φ1100	1,200	2,650
	φ1200	1,400	2,900
	φ1350	1,400	3,000
φ1500	1,400	3,050	
φ1650	1,600	3,350	
φ1800	1,600	3,400	

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(15)

●汚水管 ヒューム管 管径350mm 360° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ 250	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,050	850	2,050
	φ 300	850	2,000	850	2,000	850	2,000	850	2,100	850	2,100
	φ 350	850	2,000	850	2,050	850	2,050	850	2,150	850	2,200
	φ 400	850	2,050	850	2,100	850	2,100	850	2,150	850	2,200
	φ 450	900	2,100	900	2,150	900	2,200	900	2,250	900	2,300
	φ 500	950	2,200	950	2,250	950	2,300	950	2,350	950	2,400
	φ 600	1,000	2,300	1,000	2,350	1,000	2,400	950	2,400	950	2,500
	φ 700	1,050	2,400	1,050	2,550	1,050	2,550	1,050	2,650	1,050	2,700
	φ 800	1,150	2,600	1,150	2,700	1,150	2,700	1,100	2,750	1,100	2,850
	φ 900	1,200	2,700	1,200	2,800	1,200	2,800	1,200	2,950	1,200	3,050
	φ 1000	1,250	2,800	1,250	2,950	1,250	2,950	1,250	3,050	1,250	3,150
	φ 1100	1,350	2,950	1,350	3,100	1,350	3,100	1,350	3,300	1,350	3,350
	φ 1200	1,450	3,100	1,450	3,250	1,450	3,300	1,450	3,450	1,450	3,500
φ 1350	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450	1,500	3,600	1,500	3,650	
NC形	φ 1500	1,500	3,350	1,500	3,500	1,500	3,550	1,600	3,850	1,600	3,850
	φ 1650	1,650	3,600	1,650	3,800	1,650	3,800	1,700	4,050	1,700	4,050
	φ 1800	1,650	3,650	1,650	3,850	1,650	3,850	1,800	4,250	1,800	4,250

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ 250	850	1,950
	φ 300	850	1,950
	φ 350	850	2,000
	φ 400	850	2,000
	φ 450	850	2,050
	φ 500	900	2,100
	φ 600	950	2,250
強プラ管	φ 700	1,050	2,400
	φ 800	1,050	2,450
	φ 900	1,100	2,550
	φ 1000	1,200	2,700
	φ 1100	1,200	2,750
	φ 1200	1,450	3,050
	φ 1350	1,450	3,100
φ 1500	1,450	3,200	
φ 1650	1,650	3,450	
φ 1800	1,650	3,550	

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(16)

●汚水管 塩ビ管 管径250mm 砂・改良土基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ 250	800	1,650	800	1,700	800	1,700	800	1,750	800	1,750
	φ 300	800	1,700	800	1,700	800	1,700	800	1,800	800	1,800
	φ 350	850	1,750	850	1,800	850	1,800	850	1,900	850	1,950
	φ 400	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,900	850	1,950
	φ 450	900	1,850	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050
	φ 500	950	1,950	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150
	φ 600	1,000	2,050	1,000	2,100	1,000	2,150	950	2,150	950	2,250
	φ 700	1,050	2,150	1,050	2,300	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,450
	φ 800	1,150	2,350	1,150	2,450	1,150	2,450	1,100	2,500	1,100	2,600
	φ 900	1,200	2,450	1,200	2,550	1,200	2,550	1,200	2,700	1,200	2,800
	φ 1000	1,250	2,550	1,250	2,700	1,250	2,700	1,250	2,800	1,250	2,900
	φ 1100	1,350	2,700	1,350	2,850	1,350	2,850	1,350	3,050	1,350	3,100
	φ 1200	1,400	2,800	1,400	2,950	1,400	3,000	1,400	3,150	1,400	3,200
φ 1350	1,500	3,000	1,500	3,150	1,500	3,200	1,500	3,350	1,500	3,400	
NC形	φ 1500	1,500	3,100	1,500	3,250	1,500	3,300	1,600	3,600	1,600	3,600
	φ 1650	1,550	3,250	1,550	3,450	1,550	3,450	1,700	3,800	1,700	3,800
	φ 1800	1,650	3,400	1,650	3,600	1,650	3,600	1,800	4,000	1,800	4,000

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ 250	750	1,600
	φ 300	800	1,650
	φ 350	800	1,700
	φ 400	850	1,750
	φ 450	850	1,800
	φ 500	900	1,850
	φ 600	950	2,000
強プラ管	φ 700	1,000	2,100
	φ 800	1,050	2,200
	φ 900	1,100	2,300
	φ 1000	1,150	2,400
	φ 1100	1,200	2,500
	φ 1200	1,350	2,700
	φ 1350	1,350	2,750
	φ 1500	1,400	2,900
φ 1650	1,550	3,100	
φ 1800	1,600	3,250	

特記事項 上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(17)

●汚水管 塩ビ管 管径300mm 砂・改良土基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管 B形	φ250	800	1,700	800	1,700	800	1,700	800	1,800	800	1,800
	φ300	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,900	850	1,950
	φ400	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	φ500	950	2,000	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150
	φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	φ700	1,050	2,200	1,050	2,300	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,450
	φ800	1,150	2,350	1,150	2,450	1,150	2,450	1,100	2,550	1,100	2,650
	φ900	1,200	2,450	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,700	1,200	2,800
	φ1000	1,250	2,550	1,250	2,700	1,250	2,700	1,250	2,850	1,250	2,950
	φ1100	1,350	2,700	1,350	2,850	1,350	2,850	1,350	3,050	1,350	3,100
φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,150	1,400	3,200	
φ1350	1,500	3,000	1,500	3,150	1,500	3,200	1,500	3,350	1,500	3,400	
NC形	φ1500	1,500	3,150	1,500	3,250	1,500	3,300	1,600	3,600	1,600	3,600
	φ1650	1,550	3,250	1,550	3,450	1,550	3,450	1,700	3,800	1,700	3,800
	φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,000	1,800	4,000

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心距離	基準掘削幅
塩ビ管	φ250	800	1,650
	φ300	800	1,700
	φ350	800	1,700
	φ400	850	1,800
	φ450	850	1,800
	φ500	900	1,900
	φ600	950	2,000
強プラ管	φ700	1,000	2,100
	φ800	1,050	2,200
	φ900	1,100	2,300
	φ1000	1,150	2,400
	φ1100	1,200	2,500
	φ1200	1,350	2,700
	φ1350	1,350	2,800
	φ1500	1,400	2,900
φ1650	1,550	3,150	
φ1800	1,600	3,250	

特記事項 上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(18)

●汚水管 塩ビ管 管径350mm 砂・改良土基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

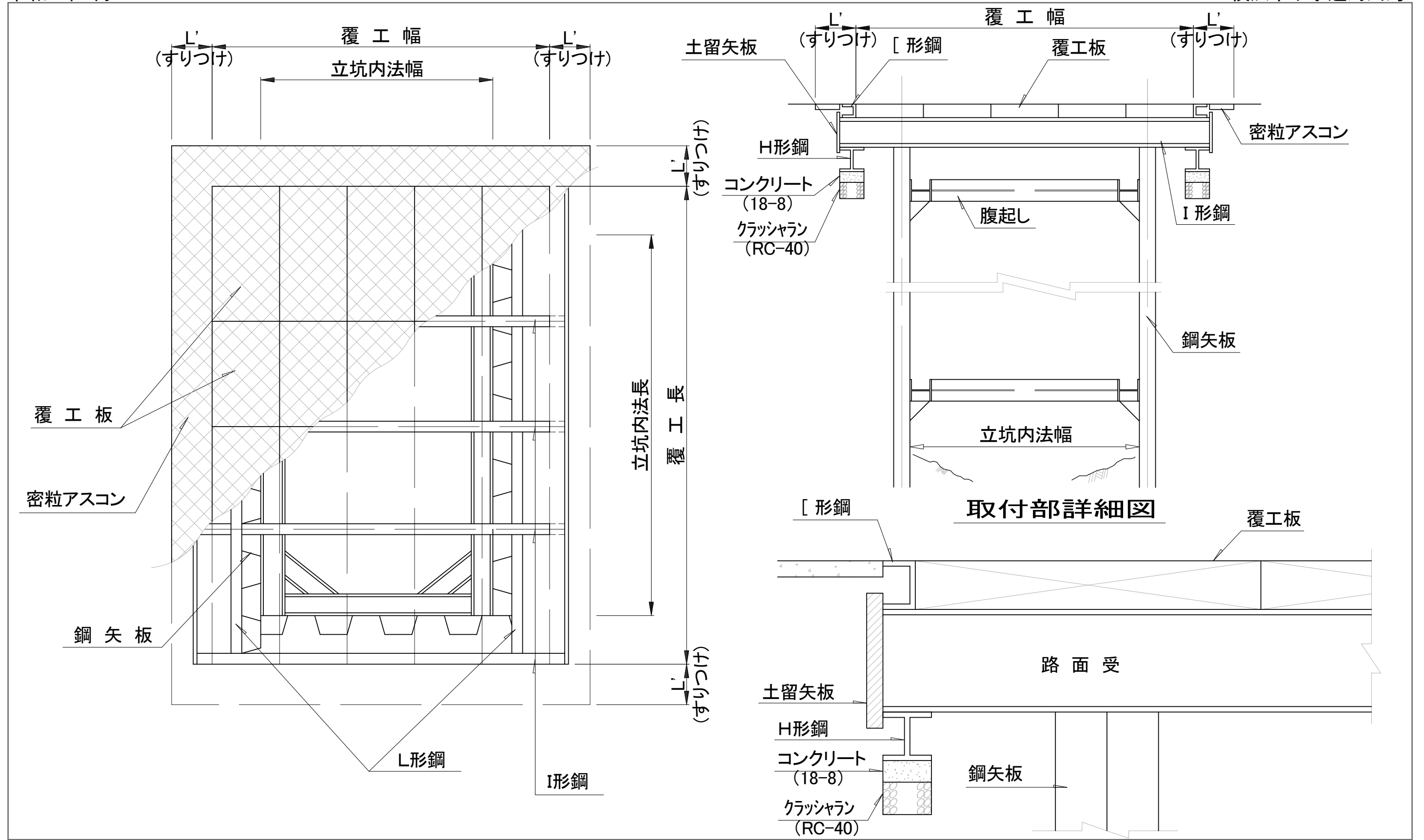
管種	管径	雨水管基礎種類									
		砕石基礎		90° コンクリート基礎		120° コンクリート基礎		180° コンクリート基礎		360° コンクリート基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅	管中心 距離	基準 掘削幅
ヒューム管 B形	φ250	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,800	800	1,800
	φ300	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	φ500	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	φ700	1,050	2,200	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,550	1,100	2,650
	φ900	1,200	2,500	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,850
	φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,850	1,250	2,950
	φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,200	1,400	3,250
φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450	
NC形	φ1500	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	φ1650	1,600	3,350	1,600	3,550	1,600	3,550	1,700	3,850	1,700	3,850
	φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心 距離	基準 掘削幅
塩ビ管	φ250	800	1,700
	φ300	800	1,700
	φ350	800	1,750
	φ400	850	1,800
	φ450	850	1,850
	φ500	900	1,900
	φ600	950	2,050
強プラ管	φ700	1,000	2,150
	φ800	1,050	2,250
	φ900	1,100	2,350
	φ1000	1,150	2,450
	φ1100	1,200	2,550
	φ1200	1,400	2,800
	φ1350	1,400	2,850
	φ1500	1,400	2,950
φ1650	1,600	3,200	
φ1800	1,600	3,300	

特記事項 上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(19)



特記事項

立坑部覆工図

参考図5-1